

目黒区美術館 年報 平成 10 年度

目黒区美術館 年報
平成10年度

目次

I. 展覧会	4
II. 教育普及	62
III. 入館状況	69
IV. 作品収集	70
V. 作品等貸出	71
VI. 刊行	72
VII. 区民ギャラリー	73
VIII. ボランティア	75
IX. 美術館実習	76
X. 名簿	77
XI. 施設	78
XII. 沿革	79
XIII. 案内	80

I. 展覧会

第35回記念 朝日陶芸展

会期：1998（平成10）年4月11日～4月26日（14日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館、朝日新聞社

担当学芸員：楠根圭子

巡回スケジュール：1997年 9月 4日～ 9月 9日

1997年 9月13日～10月12日

1997年10月15日～11月30日

1997年12月12日～1998年1月25日

1998年 2月28日～ 3月15日

1998年 4月11日～ 4月26日

1998年 4月29日～ 5月17日

名古屋 丸栄スカイル

滋賀 陶芸の森 信楽産業展示室 信楽伝統産業会館

福井 福井県陶芸館

三重 四日市市立博物館

岐阜 セラトピア土岐

東京 目黒区美術館

静岡 富士市文化会館（ロゼシアター）

新人陶芸家の登竜門として昭和38年に創設された朝日陶芸展は、今回で35回目を迎えた。過去最高の681点もの応募作品の中から、「朝日グランプリ」をはじめとする入賞作品9点と入選作品100点、また第35回記念として歴代グランプリ作家の新作ならびに陶芸家審査員の作品を展示した。

●カタログ

寸法：29.7×21.0

ページ数：100ページ

内容：ごあいさつ（朝日新聞社）／第35回記念朝日陶芸展の審査を終えて（審査委員長 加藤清之）／審査員／審査委員審査所感、プロフィール／図版／第35回記念朝日陶芸展入選者リスト／第35回朝日陶芸展応募表、第35回記念朝日陶芸展応募一覧表／第35回記念歴代グランプリ受賞作家新作展／歴代グランプリ受賞作品（※新作展出品以外の作品）／第35回朝日陶芸展陶芸家審査員作品展／「朝日陶芸展」歴代入賞者一覧（第1回～第34回）

●ポスター

サイズ：A3

●チラシ

サイズ：A4

●主要関連記事

- ・井上隆夫「第35回記念朝日陶芸展 土と火の美の重奏」朝日新聞1998年4月7日（夕刊）



A3ポスター

出品リスト

No.	作家名	作品名	寸法 (cm)
1	栢野紀文	clay ball	20×140×140
2	若尾 経	滴の殻	25×150×100
3	大竹 直	作品 97	72×65×60
4	森 克徳	四つの燻化された作品	27×230×47
5	小峰美省	ポ・ポ・ポ	98×140×105
6	小山耕一	浸金彩石蒔文皿	4.5×52×52
7	荻野萬寿子	練上大輪華	14.5×54.2×54.2
8	村越昭夫	break through	52×62×62
9	加古勝己	倭刻陶	110×40×40
10	都丸俊夫	土なり	22×180×40
11	餘吾ひろこ	貴婦人達	50×125×50
12	仲田 宏	「Torso・沈黙のあまりに長き…」	74×54×32
13	神戸義憲	線文壺	37×46×46
14	山口重信	宇宙のリズム No.2	17×72×72
15	神戸保明	線文壺	54×46×26
16	森岡裕介	灰釉象嵌花器	64×42×44
17	河村拓典	空間のあるかたち	67×48×12
18	鈴木弘藏	面取螺旋紋象嵌壺	36.5×40.5×40.5
19	水谷俊雄	Body	60×42×30
20	前田 剛	指の巢	44×79×68
21	梅村拓生	彫文器	34×46×40
22	東 正之	青釉鉢	30×50×50
23	吉川幸寿	均窯大皿	8×63×63
24	加藤永司	織部流文大皿	6×52×52
25	若尾圭介	うちなるかたち・梁	35×65×39
26	加藤保幸	OASIS	41×62×26
27	塚本治彦	WING	25×93×33
28	田中一正	潮騒	33×50×50
29	櫻田恭子	FLOWERING-土として咲く-	25×250×40
30	伊藤憲一	月白均窯鉢	8.5×48.5×48.5
31	奥村繁豊	灰釉杏子彫文大皿	5.5×60.5×60.5
32	谷口輝己	前兆	13×133×47
33	曾根芳之	織部鉢	8×56×56
34	加藤 佑	作品 '97- 1	23×60×60
35	橋川充雄	練上鉢「創世」	8.5×55×55
36	木村将人	白瓷 輪花鉢	11×45×45
37	恒岡光興	伊賀釉組紐文大皿	6×58×58
38	長沢和仁	静かな記憶	31×59.5×39
39	朝山隆吉	風	77.5×49×65.5
40	松林亜子	花卉文様叩き壺	60×40×40
41	あずさ クリステル シャルトー	L'APPEL (よびごえ)	17×35×29
42	前川幸一	萌	50×60×60
43	大谷智子	opus.2	20×150×80
44	青木 拳	三角と亀裂による構成	20×180×180
45	塚田光弘	風遊ぶ	36×75×33
46	野中さだ子	彩色線模様鉢	40×40×40
47	安永里仙	信楽火色丸つぼ	47×44×44
48	米山 央	銀彩器	10×49×47
49	北出幸絹	初夏の兆し…パステルロマン	11×54×54
50	小野寺恵美	土の波紋	42×100×62
51	谷口勇三	時跡相	110×120×25
52	石嶋哲彦	古代雲	67×55×25
53	鈴木幸雄	象嵌扁壺	75×62.5×33.5
54	加藤益男	象嵌壺	41.5×51×51
55	菅野広志	黙示録	20×60×60

No.	作家名	作品名	寸法 (cm)
56	高江洲広志	かかし	63×30×8
57	柳橋 進	波紋	50×82×30
58	大村美土里	凹凸のある白い鉢・P-I	19×45×45
59	迎 泰夫	陶彩緑葉文大鉢	59×59×59
60	大高正希	意識は時の中に生きる	60×52×35
61	矢作 薫	彩泥器	37×56×22
62	辻 重利	RECUERDO～思い出～	120×110×45
63	黒瀬収紀	刷毛目載泥花器	44×40×41
64	高田三平	渦巻くものの中にみえるもの	43×110×43
65	高山典子	鱗型連 IKI II	60×100×133
66	村山恵子	彩泥彩夢 ('97-5)	56×35×28
67	坂井輝夫	青磁壺	38×42×42
68	谷 健治	染付さくらんぼ文大皿	10.5×48×48
69	木村彰弘	海の星	30×54×45
70	市川博一	森に	39×44×43
71	原みさ枝	土の譜	36×89×16
72	重松康夫	FLICKER SPACE	35×38×74
73	藤野さち子	囿	63×75×20
74	浅野 哲	月を見る人	158×50×27
75	清水 篤	出でたるモノ	61×44×43
76	三村和弘	練込市松文角大皿	6.5×47×47
77	岩田亜希子	流転	40×150×45
78	船井廣子	黒化粧刷毛目模様器	57×36×36
79	植田雅夫	灰釉鉢	15×53×53
80	上田順康	神獣 I	57×70×43
81	鍛治ゆう子	亜球体	60×130×60
82	岩本幾久子	アトポーシス-死から始まる生	120×120×50
83	市野英一	網目文鉢	11×48×48
84	窪田健一	蒼想器	49×36×37
85	川西幹雄	ドグマティックマザー	63×30×32
86	藤森 寛	灰釉大鉢	21.5×49.3×48
87	藤原 和	備前たゞき目大壺	41.2×39.4×39.4
88	岩本孝志	備前細口壺	40×38.5×38.5
89	中尾 晃	備前四方面取壺	43×38×38
90	松嶋 弘	備前梅鉢	12.5×50.5×56
91	脇本博之	備前扁壺	42.5×34×34
92	松村拓夫	萩六角反り鉢	11.5×56.5×47
93	川崎 珠	掻き落し数珠玉紋皿	6×50×50
94	中垣忠夫	魚文大皿	8×54×54
95	河端一海	青白磁蓼草文組皿	5×27×27
96	吉沢恵介	鈍色の器	65×22×22
97	田中光謙	粉青瓷深鉢	21×50×50
98	上谷協三	線文大皿	8.5×47×47
99	和田 潮	岳映	51×55×22
100	相沢正樹	夜想曲	50×70×35
101	山根宏造	灰釉鉢	12.5×52.5×52.5
102	川崎修二	覚醒する形態	55×60×80
103	山口 淀	墨彩器	51.5×64×12.5
104	藤井一範	峰破	33×102×32
105	小畑裕司	白磁広口面取壺	23×42×42
106	小野隆治	釉象嵌鉢	8×49×49
107	長野恵之輔	線彫黒呉須象嵌深鉢むぎ	40×35×35
108	山口春利	白磁面取五方壺	28×41×41
109	坪山 進	垢誌	57×41×29

歴代グランプリ受賞作家新作展

*歴代のグランプリ受賞作家による新作を展示

作家名 [受賞した回]	作品名	寸法 (cm)
浅井礼二郎 [第1回展]	未開の器	52×50×50
加藤清之 [第2・3回展]	97-8A	58×28×94
鈴木五郎 [第4回展]	焼きメ「椅子」	119×44×40
神谷英介 [第5回展]	波状文の器 (I)	30×48×24
神谷英介 [第5回展]	波状文の器 (II)	25×50×24
加藤幸兵衛 [第6回・第12回展]	天魁構	41×20×18.5
加藤幸兵衛 [第6回・第12回展]	天雲渾	46×34×20
沢田重雄 [第8回展]	陶景97-4	54×34×24
沢田重雄 [第8回展]	斜景97-5	56×66×22
加藤達次 [第10回展]	搔落割附紋水指	18.5×16.5×16.5
加藤達次 [第10回展]	搔落割附紋壺	22.5×27×27
加藤整治 [第11回展]	流	45×27×28
加藤整治 [第11回展]	青瓷壺	36×32×32
玉置 健・郡市光男〈グループ白〉 [第16回展]	白磁紋文様大盤	3×100×49
中村 豊 [第17回展]	天道「あーした・てんきに なーれ」	33×43×22
中村 豊 [第17回展]	ラッピング花器	21×18×18
山田耕作 [第18回展]	街	57.5×32×15
山田耕作 [第18回展]	ウォール	32×83×15
吉川正道 [第19回展]	宙考 (I)	20×20×20
吉川正道 [第19回展]	宙考 (II)	20×17×9
寺田康雄 [第20回記念展]	火・木・土の風 (I)	65×50×22
寺田康雄 [第20回記念展]	火・木・土の風 (II)	65×34×21
清水征博 [第21回・第24回展]	TRANSFORMATION-96	38×77×38
清水征博 [第21回・第24回展]	Variation of Cubu 97-A	38×37×35.5
水野佐紀 [第22回展]	転 (遺作)	40×33×70
岸 英子 [第23回展]	彩石象嵌壺	39×36×28
岸 英子 [第23回展]	彩石象嵌鉢	31×41×38
赤尾ふさこ [第25回展]	VESSEL OF WIND (I)	31×64×34.5
赤尾ふさこ [第25回展]	VESSEL OF WIND (II)	40×57×40
古田英晶 [第26回展]	星峰	43.5×60×35.5
磯部 晃 [第27回展]	エスパシオ (秋の月)	13×66×66
斎木 勲 [第28回展]	蓼文水指	20×17×17
斎木 勲 [第28回展]	作品「ウイング」	19×135×50
長江重和 [第30回記念展]	反るかたち「阿」	16.4×58.3×37
長江重和 [第30回記念展]	反るかたち「吽」	20.9×44.2×43.8
林 香君 [第31回展]	0の軌跡	56×56×25
林 香君 [第31回展]	0の軌跡	56×56×25
神田和弘 [第32回展]	宙 (I)	69×49×16
神田和弘 [第32回展]	宙 (II)	59×53×20
戸田守宣 [第33回展]	無題 (土の塊より)	40×50×40
戸田守宣 [第33回展]	無題	91.5×67.5×6
塚本治彦 [第34回展]	織部流紋鉢	19.5×54×55
塚本治彦 [第34回展]	織部組板皿	9×51×30

歴代グランプリ受賞作品展

*新作展出品以外の作品を展示

作家名	作品名	寸法 (cm)	展覧会・受賞歴
粟木達介	あおい作品	37×65×41	第7回展 朝日陶芸賞
粟木達介	積まれた五つの形	50×50×164	第9回展 朝日陶芸賞
加藤丈平	翔	80×85×40	第14回展 朝日陶芸大賞
粟木達介	銀緑彩文の作品	40×59×34	第15回展 朝日陶芸大賞
北原則子	COMBINATION TOWN	54×55×10.5	第29回展 朝日陶芸グランプリ

第35回記念朝日陶芸展陶芸家審査員作品展

作家名	作品名	寸法 (cm)
加藤卓男	三彩四方鉢「玻璃光」	20×42×42
加藤清之	97-8B	52×20×94
鯉江良二	ブラボール	28.5×34.5×34.5
鈴木 治	泥象馬「群馬」	48.5×29.5×19
鈴木 治	泥象馬「母子像」	48.7×43×34.5
坪井明日香	唐織追想	69×60×30
藤原 雄	線文播座水差	19×19×20

第8回 染・清流展

会期：1998（平成10）年5月2日～6月7日（32日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー ワークショップ エントランスホール

主催：目黒区美術館、清流会

後援：毎日新聞社

協賛：大松株式会社

担当：福永重樹（館長）・山田敦雄

巡回スケジュール：1998年3月31日～4月5日 京都市美術館

清流会は染色の中心地・京都を舞台に活躍する染色作家から例年40人前後を選抜して展覧会を開催、作品の収集を続けている。京都展は1991（平成3）年から京都市美術館で開催され、目黒区美術館では前年に続いて2回目の開催。本展では長老的な巨匠から気鋭の新進作家まで39作家による52作品で、伝統に立脚しつつ革新と拡張を続ける染色の最前線の姿を紹介した。

●カタログ

寸法：29.7×21.0

ページ数：96ページ

内容：ごあいさつ（美術評論家・木村重信、大松株式会社社長・小澤淳二）／第8回染・清流展によせて（京都市立芸術大学芸術資料館学芸員・大須賀潔）／図版（作品解説=作家）／作家略歴／出品目録

●ポスター

サイズ：A3

●チラシ

サイズ：A4



A3ポスター

出品リスト

No.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)
1	上野真知子	無題	バルブ、植、サイザル麻、アバカ、竹、陶土、木、麻布/独自技法	各140×45×200 (6本組)
2	麻田脩二	WORK T-1	木綿、ピグメント/ステンシル	190×282
3	伊砂利彦	方	和紙、型絵染	240×240
4	伊砂新雄	雪の朝	雪肌麻紙、顔料、墨、植物染料/型絵染、ステンシル	各175×180 (二曲一雙)
5	石田杜人	それから	綿布、反応性染料/蠟染、ステンシル	165×400
6	市村富美夫	彷徨する時空の方位	綿布、酸性染料、顔料/スクリーン捺染	180×540
7	大久保直丸	そこは、いつかの日	木綿布、プロシオン染料(ソーダー灰固着)/蠟染	184×310
8	春日井路子	時空の彩(朝光)	インド木綿、プロシオン染料、金箔/型絵染	162×236
9	兼先恵子	GOOD-BY MOTHER AND PRINCESS	綿布、反応性染料/糊型染、ステンシル技法	180×360
10	河田孝郎	記録	シルクウール、天然染料、酸性染料/のり防染、ろう防染	175×240
11	喜多川七重	春を俟つ	綿布、植物染料、酸性染料、CMC/ろうけつ染、捺染	158×428
12	来野月乙	弦楽四重奏	宣紙、顔料/騰緞	168×340 (四曲一雙)
13	木村菜穂子	はくのラッパは超いい調子	綿麻混紡布、顔料/ステンシル	170×320
14	草間詰雄	WINDSCAPE 8	綿/反応性染料	100×200
15		WINDSCAPE 9	綿/反応性染料	110×250
16	栗原知枝	巡礼	麻/ろう染、エッチング	104×270
17	黒田 暢	春(洛西平野の夜桜)	木綿地、レマゾール染料/型染	150×140
18		秋(唐津曳山)	木綿地、レマゾール染料/型染	150×140
19	澁谷和子	WHITE SQUARE	木綿、ポリエステル/糊防染型染、再加工デジタルプリント、コラーージュ	225×450
20	新道弘之	麻白地藍染亀甲模様飾布(I)	麻/独自技法による藍染	250×90
21		麻白地藍染亀甲模様飾布(II)	麻/独自技法による藍染	250×90
22		麻白地藍染亀甲模様飾布(III)	麻/独自技法による藍染	250×90
23	高谷光雄	地の塩	信州紬、酸性染料、三度黒/ろうけつ染、エッチング	170×170
24		捕獲された神話	信州紬、酸性染料、三度黒/ろうけつ染、ろうエッチング、ステンシル	170×170
25	田島征彦	樹窟 2	木綿、顔料、反応性染料/型染	240×210
26	寺石正作	加悦谷の朝	木綿、墨、ベンガラ、銀泥/蠟染	163×280
27	内藤英治	竹林の下で	木綿布/藍型染、藍染	172×244
28	中井貞次	樹性	麻布/蠟防染による藍(すくも藍)の浸染を繰り返し、他に植物染料の黄色(渋木エキス)をかけ合わせ染色	172×172
29	長尾紀壽	沖繩の祭祀空間	和紙/型染、糊防染、ステンシル、ドローイング	180×360
30	柳楽 剛	造山運動 II	綿・麻混布、反応性染料、顔料/蠟染、ステンシル	160×200
31		二つの座点(震)	綿・麻混布、反応性染料、顔料/蠟染、ステンシル	154×184
32	西嶋武司	日月無二	白山紬、アンストラゾール染料/型糊防染、二度染、スレン染	各175×376 (六曲一雙)
33	福本繁樹	青の気色(けしき)	トルファン綿布、レマゾール染料/ろう染め(紐打ち技法、孔版・撒きろう技法、押捺版使用)	113×113
34		朱の気色(けしき)	トルファン綿布、レマゾール染料/ろう染め(紐打ち技法、孔版・撒きろう技法、押捺版使用)	113×113
35		紫の気色(けしき)	トルファン綿布、レマゾール染料/ろう染め(紐打ち技法、孔版・撒きろう技法、押捺版使用)	113×113
36		緑の気色(けしき)	トルファン綿布、レマゾール染料/ろう染め(紐打ち技法、孔版・撒きろう技法、押捺版使用)	113×113
37	福本潮子	星座'98-S	トルファン綿、和紙/藍染、絞り	160×380
38	藤本哲夫	WORK '98-I	麻布、ポリエステル糸、不織布/植物染料(ログウッド-鉄媒染)	170×385×15
39	本田昌史	VM-Resist S	ポリエステル布、木綿布/スクリーンプリント、インクジェットプリント	220×400
40	三浦景生	布象篋・漆標	白山紬(絹)/布象篋、ステンシル、コラーージュ、ドローイング	各160×140 (二曲一雙)
41	三橋 遼	月からの舟	木、ステンレスワイヤー、シルクオーガンジー、真中線、糸、石、竹/酸性染料によるぼかし染	430×200×180
42	皆川泰蔵	COPTIC MUSEUM	麻、墨、プロシオン染料、顔料、純金箔、青金箔、白金箔、本銀箔、玉虫箔、/ろう染	163×152
43	室田 泉	VIEW No1	綿布、反応性染料、アクリル系顔料/シルクスクリーン捺染	180×250
44		VIEW No2	綿布、反応性染料、アクリル系顔料/シルクスクリーン捺染	180×250
45	八幡はるみ	縞と格子の形	コットンドリル、反応性染料、顔料、エンプロイダグリーナー、糸、和紙/スクリーンプリントで染色作業を終え、その後、顔料でプリントを加えたり、和紙をコラーージュしたり、ミシンでステッチワークなどをする	220×700 (7枚組)
46	山口通恵	ギャラクシー9802純粋	フランス綾スービマ(木綿)/ (反応性染料による) ステンシル技法、シアノタイププロセス	230×468
47	中山清恵	時の産物	綿布、反応性染料/ろう防染、型染	240×455
48	山本唯与志	染壁掛「樹景」98	紗シルク生地/ローケツシルクスクリーンにローケツ手描染併用	200×222
49		四曲屏風「樹映幻視」	シルク白山紬生地/ローケツシルクスクリーンにローケツ絞り染併用	180×320
50	吉田晃良	感触の次元・滲み・染みA	和紙、竹、綿ひも/刷毛染め、縫い	102×115×3
51		感触の次元・滲み・染みB	和紙、竹、綿ひも/刷毛染め、縫い	102×115×3
52		感触の次元・滲み・染みC	和紙、竹、綿ひも/刷毛染め、縫い	102×115×3

染めの詩—三浦景生展

会期：1998（平成10）年6月13日～7月12日（26日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー ワークショップ エントランスホール

主催：目黒区美術館

後援：毎日新聞社

協力：清流会

協賛：大松株式会社

担当：福永重樹（館長）・山田敦雄

三浦景生は1916（大正5）年、京都生まれ。小合友之助に師事し、1947（昭和22）年からは染色作家に専念し同年の日展に初入選。その後、佐野猛夫・皆川泰蔵らと「匠会」を結成したほか、京展などを舞台に、新たな工芸の方向性を意欲的に探求し続け、1969（昭和44）年の日展では『朧』で特選・北斗賞を受賞。別々に染められた布をカットして、さまざまなかたちの色面として別の布に埋め込む独創的な技法「布象嵌」を考案。身近な野菜などから生まれた暖かみの中にも純度の高いかたちと、幾何学的な色面による構成の妙は、大家の域にあってなお探求を続けるこの作家のユニークな個性となっている。初の大規模な個展となった本展は、近年手がけている焼き物をまじえた代表作多数を展示、芸術選奨・文部大臣賞（1999年3月）受賞の対象となった。

関連催事：染色ワークショップ シルクスクリーンで染める—色彩とかたちの饗宴

●カタログ

サイズ：22.0×25.0

ページ数：80ページ

内容：開催のことは（福永重樹）／三浦氏の描く「寂光」（梅原猛）／
ごあいさつ（三浦景生）／図版／略歴／出品目録

●ポスター

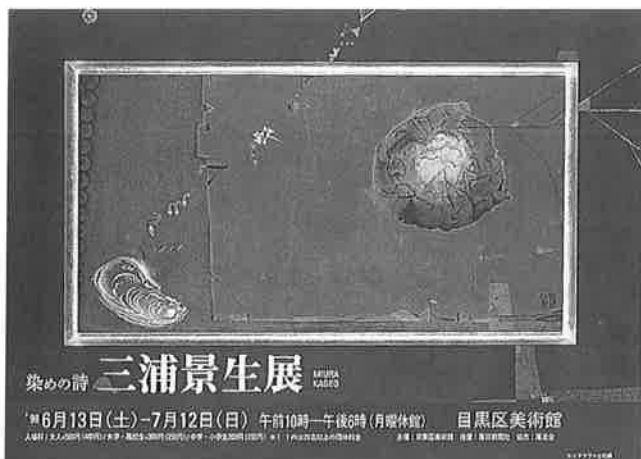
サイズ：B2

●チラシ

サイズ：A4



会場風景



三浦景生展



会場風景

出品目録

No.	作品名	制作年	初出展覧会等	所蔵
1	運河	1954	第6回京展	
2	朧	1959	第2回新日展	
3	青い風景	1962	第1回現代工芸美術展	東京国立近代美術館蔵
4	形象	1964	三浦景生個展(京都・山田画廊)	
5	赤イ貌	1966	五東衛(清水九兵衛)・三浦景生展(東京・養清堂画廊)	清流会蔵
6	青イ貌	1966	五東衛(清水九兵衛)・三浦景生展(東京・養清堂画廊)	清流会蔵
7	古風な話	1966	第9回新日展	
8	塔	1967	第19回京展	清流会蔵
9	去来	1967	第10回新日展	京都府蔵(京都文化博物館管理)
10	海	1968		
11	万華鏡	1968	現代工芸近畿会展	
12	風水	1970	第2回改組日展	
13	緑の式部	1971	第3回改組日展	国立国際美術館蔵
14	末摘花	1972	第4回改組日展	京都国立近代美術館蔵
15	土器と干し果実達	1972	第11回日本現代工芸美術展	京都国立近代美術館蔵
16	土器とめろんと鳥	1973	第25回京展	京都国立近代美術館蔵
17	農(牡丹)	1973	第5回改組日展	
18	はぼたん譜	1974	第6回改組日展	京都府蔵(京都文化博物館管理)
19	珠果熟す	1976	第8回改組日展	
20	晩夏図	1977	第9回改組日展	国立国際美術館蔵
21	牡丹之図	1979	第11回改組日展	
22	柳之図	1980	第2回新日本工芸展	
23	花菖蒲	1980	第12回改組日展	京都市美術館蔵
24	蓮文	1981	第13回改組日展	京都市立芸術大学芸術資料館蔵
25	まつのみどり	1983	第5回新日本工芸展	
26	菜根譚	1984	京都府企画三浦景生展	
27	菜根譚	1984	京都府企画三浦景生展	清流会蔵
28	らっかせい	1984	『染織a』10月号表紙絵	清流会蔵
29	わらびとぜんまい	1985	『染織a』2月号表紙絵	清流会蔵
30	なしとすだち	1985	『染織a』9月号表紙絵	清流会蔵
31	そらまめとえのきだけ	1986	『染織a』4月号表紙絵	清流会蔵
32	花菖蒲	1986	『染織a』6月号表紙絵	清流会蔵
33	まつかさときりのみ	1986	『染織a』12月号表紙絵	清流会蔵
34	ほし柿とうめほし	1987	『染織a』1月号表紙絵	清流会蔵
35	つくし	1987	『染織a』3月号表紙絵	清流会蔵
36	はす	1987	『染織a』11月号表紙絵	清流会蔵
37	ねぎのなえ	1987	『染織a』12月号表紙絵	清流会蔵
38	れんこんとにんじん・くわい	1988	『染織a』1月号表紙絵	清流会蔵
39	らっきょうのめ	1988	『染織a』3月号表紙絵	清流会蔵
40	ぜんまい	1988	『染織a』4月号表紙絵	清流会蔵
41	きゃべつ島の虹	1987	第9回新日本工芸展	清流会蔵
42	たけのこ島の虹	1987	第19回改組日展	清流会蔵
43	花菖蒲島の虹	1988	第10回日本新工芸展	
44	れんこんのめ	1990	染の世界三浦景生展(京都・高島屋)	清流会蔵
45	たらのめ	1990	染の世界三浦景生展(京都・高島屋)	
46	ふきのとうと虹	1990	第12回日本新工芸展	清流会蔵
47	うどのたいほく	1991	第13回日本新工芸展	
48	芥子	1991	Moving京都展(京都・大丸)	
49	かりふらわーとあか貝	1992	陶と染 三浦景生展(京都祇園・正観堂)	
50	ねぎ	1992	陶と染 三浦景生展(京都祇園・正観堂)	
51	ばら	1992	陶と染 三浦景生展(京都祇園・正観堂)	
52	白牡丹	1992	第24回改組日展	
53	芋四題	1993	第3回染・清流展	清流会蔵
54	セロリ・しめじ図	1993	第25回改組日展	

No.	作品名	制作年	初出展覧会等	所蔵
55	しんしょうが、しめじ	1994	第4回染・清流展	
56	洋梨	1994	無量会 藤平伸・三浦景生展(京都祇園・正観堂)	
57	ほね貝とメロン	1994	無量会 藤平伸・三浦景生展(京都祇園・正観堂)	
58	メロン	1994	現代の染め－四人展(国立国際美術館)	
59	らでいっしゅとほねがい	1994	現代の染め－四人展(国立国際美術館)	
60	葉根の詩	1996	第6回染・清流展	清流会蔵
61	志貴皇子歌	1996	梅原猛・藤平伸・三浦景生展(東京・日本橋高島屋)	清流会蔵
62	柿本朗巨人磨歌	1997	梅原猛・藤平伸・三浦景生展(名古屋・松坂屋本店)	
63	嬉遊曲	1997	第29回改組日展	
64	滯標	1998	第8回染・清流展	
65	着物 うどとしめじ	1998		
66	着物 虹の川	1998		
67	着物 松のみどり	1998		
68	カリフラワーと牡蠣	1998		
69	ぶどーとほねがい	1998		
70	ほたん	1998		
71	いとぎく	1998		
72	洋梨	1998		
73	陶筥			
73-1	対話	1993		
73-2	青い鳥	1993		
73-3	春風秋雨	1996		
74	陶筥下絵			
75	陶額			
76	陶額下絵			
77	茶碗			
78	オブジェ みのむし礼賛	1976	衣展(京都・ギャラリー16)	

第3回 昭和シェル石油現代美術賞展

会期：1998（平成10）年7月8日～7月26日（17日間）

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、昭和シェル石油株式会社

担当：福永重樹（館長）、柴田好夫（副館長）

昭和シェル石油現代美術賞は埋もれた新進作家を発掘し、将来性ある才能を美術界に送り込むことを目的に創設され、毎年、一般公募して優秀作品に賞を授与し、受賞作品、入選作品を展示紹介している。

目黒区美術館区民ギャラリーでの展覧会開催は初めてであるが、本展では、グランプリ作品1点、審査員賞3点、入選作品57点を展示、紹介した。

●カタログ

寸法：21×25.7

ページ数：23ページ

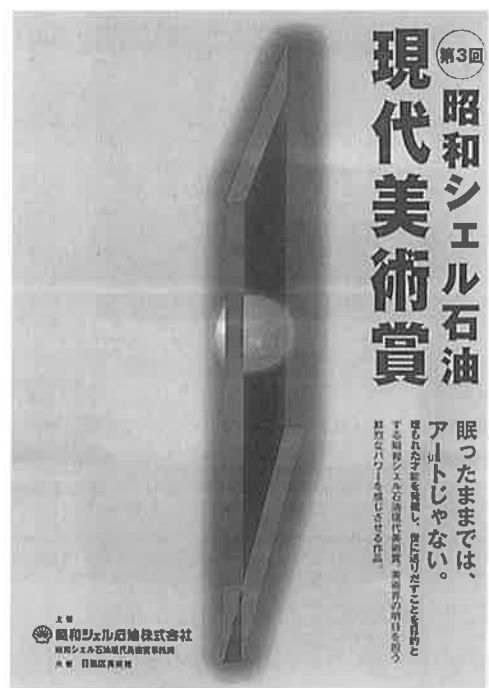
内容：審査所感（目黒区美術館館長 福永 重樹、多摩美術大学教授 本江 邦夫、フランス美術評論家連盟 岡部 あおみ）／図版／第3回昭和シェル石油現代美術賞入選者リスト

●ポスター

サイズ：B2



会場風景



B2ポスター

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
1	伴 美里	空間	1998	キャンバス 油彩	145×112
2	木村嘉子	JHD5-7-2	1998	キャンバス アクリル	145×98
3	佐藤律子	トブヒトラ	1998	キャンバス ミクストメディア	145×145
4	永田武亮	V a g u e - 1	1998	パネル綿布 アクリル	145×145
5	星岡ポッチ	マイクロ・コスモス	1998	アクリル樹脂	145×145
6	松橋 孝	空間の表層	1998	麻布 岩絵具 膠	145×126
7	高橋 光	蜃気楼	1998	板に油彩 テンペラ	145×145
8	西本正憲	Horizon-Vertical No-10	1998	キャンバス 油彩	145×145
9	上出隆敏	Selection No.7	1998	キャンバス 紙 アクリル	145×145
10	中島葉子	ROUND'98-4	1998	キャンバス 布 アクリル	145×145
11	小澤さよ子	L I V E	1998	パネル キャンバス 油彩	146×113
12	加納隆三	雨の降る日	1998	キャンバス 油彩	146×110
13	オバガフチ タマダ	白い格子 (ニューヨークメモリー) より	1998	油彩	112×145
14	須藤昭夫	Yellow Snow	1998	油彩	112×145
15	加賀城健	JABOT	1998	オックスフォード 綿布 染料	112×145
16	鉢呂祐二	心のひだ	1998	キャンバス 写真	103×145
17	大藪弘治	鳴き鳥	1998	ミクストメディア	115×145
18	星川忠資	Across-9811	1998	麻紙に墨 顔料 薄楮紙	112×145
19	吉田有紀	澱み	1998	パネル 顔料 合成樹脂 銀	145×115
20	寺崎裕二	ドローイング	1998	アクリル	95×127
21	前川知美	進化上の孤児	1997	油彩	120×120
22	沢田英治	Portrait	1998	合板 アクリル絵具 蛍光管	92×119
23	福田寛之	育む	1998	アクリル	117×91
24	川上由香	共存地帯	1998	ベニ板 和室用壁材 アクリル絵具 油彩	130×130
25	青木トシイ	SOMETHING GREAT	1998	キャンバス 油彩	145×112
26	福田博英	blue 980611	1998	キャンバス 油彩	112×145
27	上田真生	ダイヤ	1998	キャンバス 油彩	145×145
28	河本 豊	作品98-5B	1998	布 アクリル	145×145
29	鈴木伸子	兆 候	1998	キャンバス 油彩	145×97
30	川口美奈子	静かな部屋	1998	キャンバス 油彩	130×130
31	川口福代	海が消える (博多湾風景)	1998	キャンバス 油彩	112×145
32	村松美紗	Existence II	1998	パネル 油彩	145×97
33	堀由樹子	Dimlight	1998	キャンバス 油彩	145×112
34	窪田義和	みんな原点のなか	1998	パネル 油彩 テンペラ	145×112
35	平野牧子	蕨の軌道	1998	キャンバス 油彩	145×112
36	渡部一也	によき	1998	水彩紙 アクリル 岩絵具	145×91
37	山本 晶	ききめ	1998	キャンバス 油彩	112×145
38	松尾藤代	TOTAL LOSS ROOM	1998	綿布 オイル	130×101
39	小林加代	気配	1998	キャンバス 油彩	145×112
40	松野洋子	地	1998	キャンバス オイル 木炭 アクリル	116×116
41	福田多恵	果て	1998	パネル 透明水彩 パステル	126×96
42	石崎雅人	少年の背中	1998	キャンバス アクリル	92×116
43	羽賀洋子	色彩の植物	1998	和紙にパステル	130×130
44	篠田絵里子	和音 No 4	1998	アクリル パステル	112×145
45	日下 芝	痕跡 II	1998	パネル 綿布 アクリル	112×145
46	丹 敬子	はじめ はじまり(1)	1998	キャンバス アクリル	112×145
47	玉木之子	恐れおののきながらも その者の顔をはっきりと見る	1998	キャンバス 油彩	112×145
48	船橋明裕	"Adam"	1998	油彩 クレヨン 鉛筆	109×145
49	桑田 覚	Zn note green	1998	鉄板 インク	140×140
50	吉田亜希	風をつくる線	1998	油彩	145×145
51	小川泰生	トロンティシユー	1998	パラフィンワックス 水彩	109×143
52	門馬則雄	untitled-011	1998	キャンバス アクリル シルクスクリーン	130×130
53	山内崇嗣	そのオレンジのチェックは そのオレンジのチェックである	1998	布 油彩	145×112
54	黒田洋子	門司の夕暮れ	1998	水彩 和紙	145×112
55	矢野幸彦	COLOUR PENCILS	1998	キャンバス 油彩	112×145

No. 作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
56 伊藤達矢	水平の考察より	1998	ミクストメディア	145×112
57 半田敬史郎	風の色	1998	アクリル コラージュ	121×144
58 加藤悦郎	Rain or shine-63	1998	和紙 墨 顔彩	145×112
59 福地英臣	国道1号線	1998	リキテックス	145×145
60 湯浅龍平	"T. R. 5. 1"	1998	キャンバス アクリル 油彩	122×113
61 倉田セリ子	カラー・カルキュレーター	1998	キャンバス 油彩	117×91

手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒—静かな光の余韻」

会期：1998（平成10）年8月1日～9月15日（69日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー ワークショップ エントランスホール

主催：目黒区美術館、目黒区教育委員会

助成：芸術文化振興基金、財団法人地域創造（ジャンボ宝くじ助成事業）

協賛：コダック株式会社、ホルベイン工業株式会社

担当学芸員：降旗千賀子

「青」「赤」とシリーズで続けてきた「色の博物誌」の企画第3弾として、「白と黒」をとりあげた。色であって色でないともいわれる「白と黒」は、光の明暗を表す両極に位置し、日本の文化の中で独特な精神性を備えた奥深い意味を持っている。そうした色の意味や具体的な存在を、「白と黒」の色材の多様性から導入し、その文化的美術的な利用をふりかえり、現代の記号化され過ぎている色の意味を問い直すとともに、かつての人々が持っていた色へのデリケートな感性の再確認を試みた。展示と同時に「白と黒」を幅広く体験するワークショップも開催した。ワークショップについてはp.62参照。

●カタログ

寸法：22.5×28.1 A4版変形

ページ数：102ページ

デザイン：大石一義

内容：謝辞／ごあいさつ（福永重樹）／目次／白いキャンバスと黒いキャンバス（森田恒之）／絵画のアルファとオメガ—表面と拡がり（小林康夫）／図版・解説／色彩を超えて—白と黒の在りか／作家解説・出品リスト／参考図書／ワークショップ「白と黒」白黒探偵団がゆく（榎本寿紀）

B2ポスター



●ポスター

B2版、B3版

デザイン 大石一義

●チラシ

A4版

デザイン 大石一義

●子供用チラシ

A4版

イラスト・構成 大田垣晴子

●主要関連記事

- ・ 紀文から現代美術まで 色の博物誌・白と黒
草薙奈津子のウィークエンドアート 1998年8月7日
信濃毎日新聞
- ・ 「色の博物誌・白と黒」展評・美術館 鷹見明彦
1998年11月号 美術手帖

展示風景



■凡例：出品番号はⅠ部とⅡ部にわけて付した。

考古、民俗資料、素材等については、出品番号、資料名、出土地・産地・製作地、年代、寸法（長辺・単位cm）、所蔵の順に記載し、特記事項には*を付した。

平面・立体の美術・工芸作品については、基本的に、出品番号、作品名、作家名、制作年、技法・材質、寸法（縦×横×高・単位cm）、所蔵（無記名は個人蔵）の順に記載した。

第一部 白と黒の文化史—色材をめぐる

1. 人々が最初に出会った白と黒の素材

I-1 (1~6)

貝輪

-1, 天神台貝塚 8.0,7.0

-3, 埼玉県岩槻市柏崎真福寺遺跡 8.0,7.8

-5, 大田区田園調布下沼部貝塚 6.5

-6, 神奈川県鶴見区別所貝塚 10.0

縄文時代晚期

国学院大学考古学資料館

I-2 (1~5)

貝刃

千葉県市川市加曾利南貝塚

縄文時代

8.6~6.2

国学院大学考古学資料館

I-3 (1~3)

岩版

縄文時代晚期

-1, 10.6

-2, (楕円) 7.9

-3, 9.6

国学院大学考古学資料館

I-4

鹿角

大田区下沼部貝塚

縄文時代

34.5

国学院大学考古学資料館

I-5 (1,2)

骨器装身具

-1, 横浜市金沢区釜利谷西青が台貝塚 3.0

-2, 福島県いわき市泉崎 5.0

縄文時代

国学院大学考古学資料館

I-6 (1,2)

骨器耳飾り

縄文時代

東京他出土

-3, 径2.1,

-4, 径2.1

国学院大学考古学資料館

I-7 (1~5)

骨器 (実用品)

宮城県気仙沼松島湾宮中島ほか

縄文時代

11.8~7.1

国学院大学考古学資料館

I-8

白色粘土貼付け土器片

千葉県安房郡丸山町加茂遺跡

縄文時代前~中期

5.8

国学院大学考古学資料館

I-9

白色粘土装飾の土偶

多摩ニュータウンNo.471遺跡

縄文時代中期

高18.0

東京都埋蔵文化財センター

I-10 (1,2)

黒漆塗り耳飾り (-2.復元品)

多摩ニュータウンNo.201遺跡

縄文時代前期

4.0

東京都埋蔵文化財センター

I-11

石核 (黒曜石) と剥片石器

北海道置戸町、紋別郡湧別町サロマ湖畔

旧石器時代

国学院大学考古学資料館

I-12

注口土器

多摩ニュータウンNo.194遺跡

縄文時代後期

径9.5 高17.8

東京都埋蔵文化財センター

I-13

注口土器

目黒区東山遺跡

縄文時代後期

径16.0 高14.5

目黒区教育委員会管理

I-14

舟形土器

目黒区東山遺跡

径20.0 高12.0

目黒区教育委員会管理

I-15 (1~5)

木炭、自然木炭

杉並区方南町峯泉南遺跡、奈良県橿原市新沢

弥生式竪穴、鹿児島県矢野町小田代林道断崖

火山層下2m、山梨県精進登山道

弥生時代

国学院大学考古学資料館

I-16 (1,2)

内黒の土師器

多摩ニュータウンNo.107遺跡

奈良~平安時代 (8世紀後半~9世紀初)

径15.0 高6.0, 径12.5 高3.5

東京都埋蔵文化財センター

2. 絵を描く色材としての白と黒

I-17 (1~14)

白の色材

-1. 白土, -2. 鉛白, -3. 貝胡粉, -4. 雲母, -5. チ

タニウムホワイト, -6. ジンクホワイト, -7. 白

亜, -8. 石膏

黒の色材

-9. 墨, -10. ランプブラック (油煙), -11. バイ

ンブラック (葡萄黒), -12. アイボリーブラック

(象牙黒), -13. ピーチブラック (桃種黒),

-14. 鉱物黒 (軟マンガン鉱)

3. 白の表現—「色」と「明」と「具」

●胡粉「色」としての白、「具」としての白

I-18 (1~10)

貝胡粉 (イタボ蠣殻)

-1. イタボ蠣殻 蓋、身

-2. 粗砕きした蠣殻

-3. 胴突で細かく砕いたもの

-4. 杉板に流して乾燥させたもの

-5. 胡粉のいろいろ

-6. 胡粉の製造行程写真パネル

-7. 蠣殻買入帳

-8. 賣渡し證

-9. 商品名ステンシル、その他ステンシル

-10. 御通 (帳面) 蠣殻の仕分け日計表

ナカガワ胡粉絵具株式会社

I-19 (1~3)

貝胡粉 (蛤)

-1. 宮崎産蛤

-2. メキシコ産蛤

-3. 胡粉

ホルベイン工業株式会社

I - 20 (1~5)

郷土玩具

1. 三春張り子 (三春)
2. 会津張り子 (会津若松)
3. 鳩笛 (弘前)
4. 玉うさぎ (春日部)
5. 鯛抱き童子 (青森)

武蔵野美術大学美術資料図書館郷土資料室

I - 21

這い這い

江戸時代後期

I - 22

御所人形

江戸時代後期

東京国立博物館

I - 23

御所人形

江戸時代後期

東京国立博物館

I - 24

御所人形

江戸時代後期

東京国立博物館

I - 25

御所人形

江戸時代後期

東京国立博物館

I - 26

すわり童児

江戸時代後期

高20.0

吉徳これくしょん

I - 27

岩槻人形頭のいろいろ

昭和時代

ナカガワ胡粉絵具株式会社

I - 28

市松人形の材料

吉徳これくしょん

I - 29

新古今和歌集 巻第5

本阿弥光悦

江戸時代初期

紙本著色

33.4×47.8

I - 30

雪中白鷺図

森周峯

江戸時代中期

紙本金地著色 二曲一隻

153.0×179.0

I - 31

桐菊流水図屏風

酒井道一

明治時代

紙本金地著色 二曲一双

171.8×172.6

板橋区立美術館

I - 32

源氏物語絵手箱

桃山時代

27.5×36.6×27.0

I - 33

大和絵 碁筒 一对

江戸時代中期

径14.8 高9.8

I - 34

春芳

上村松園

1940 (昭和15) 年

絹本著色 一幅

71.5×86.8

山種美術館

I - 35

つれづれ

上村松園

1941 (昭和16) 年

絹本著色 一幅

65.0×72.0

山種美術館

I - 36

平牀

土田麦僊

1933 (昭和8) 年

絹本著色

153.0×209.0

京都市美術館

●鉛白「色」としての白、「明」としての白

I - 37

鉛片に付着させた鉛白

修復研究所

I - 38

重要文化財

三聖人像 (旧長崎奉行所保管)

桃山-江戸時代 16-17c

油彩/キャンバス

150.2×107.2

東京国立博物館

I - 39

重要文化財

模写 三聖人像 (旧長崎奉行所保管)

桃山-江戸時代 16-17c

油彩/キャンバス

146.9×101.7

東京国立博物館

I - 40

ピエタ

フランチェスコ・コツツァ

1650年代

49.2×35.3

4. 「色」としての黒、「表現」としての黒

●漆の世界

I - 41

漆原木と材料

I - 42

漆桶

江戸時代

I - 43

螺鈿漆徳利

桃山時代

径10.2 高19.9

I - 44 (1~4)

漆碗断片

江戸時代

丸の内三丁目遺跡

東京都埋蔵文化財センター

I - 45

黒漆合鹿椀

江戸時代

石川県輪島市柳田村

径13.0 高9.0

I - 46 (1~4)

湯島聖堂積焚器

-1. 黒漆簞

安永4年 (1775) 加藤泰侯献納

方12.4 高22.1

-2. 黒漆簞

安永4年 (1775) 加藤泰侯献納

径13.5 高22.1

-3. 黒漆豆

安永4年(1775)加藤泰侯献納

径18.8 高19.7

-4. 黒漆俎

江戸時代 18c

26.1×56.7×37.6

東京国立博物館

I - 47

草花鶉蒔絵額

日本蒔絵合資会社

明治時代

87.3×38.5

東京国立博物館

*明治26(1893)年シカゴ万国博覧会出品

●墨の世界

I - 48 (1~4)

墨の原料

-1. なたね油、煤(植物性油煙)

-2. 胡麻油、煤(植物性油煙)

-3. 赤松、煤(植物性油煙)

-4. 石油、煤(動物性油煙)

進誠堂墨館

I - 49 (1~8)

鈴鹿墨

昭和20年代

-1. 真正油煙墨

-2. 御墨

-3. 学習墨

明治時代

-4. 天禄永昌

-5. 勢国

-6. 天壤無窮

-7. 一寸金

-8. 藤嶋常三郎

鈴鹿市伝統産業会館

参考資料 墨制作行程の写真パネル

古梅園蔵

I - 50 (1~7)

古墨

-1. 八卦墨 明 12.8×12.8

-2. 百壽図断片 明~清 径12.8

-3. 百子図断片 明~清 径12.8

-4. 古歎程氏選煙 明 14.8×6.5

-5. 有虞虞十二章 明 8.8

-6. 五百斤油 7.8×2.0

-7. 金巻 黒松使者(古梅園)宝暦5
(1755)年寒製 10.6×3.9

5. 概念としての白と黒—ハレとケ

●「素」・「シラ」としての白

I - 51 (1,2)

自然の素材

-1. 江戸時代末期の越前奉書紙

-2. 絹の原料 繭

I - 52

小忌衣(梅柳文山藍摺)

昭和時代

裾75.7、丈81.7

東京国立博物館

I - 53

浄衣

大正時代

裾94.5、丈152.0

東京国立博物館

*大正4年即位大礼に着用

I - 54 (1~7)

花祭りの白

愛知県北設楽郡東栄町

-1. 湯蓋(中設楽) 50.0×50.0×70.0

-2. 湯蓋(中設楽) 41.0×41.0×62.0

-3. 湯蓋(中設楽) 41.0×41.0×69.0

-4. 天文幣(布川) 75.0

-5. 天狗の幣(小林) 48.0

-6. 真の御幣(中設楽)

-7. 湯衣

武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室

I - 55

御幣

岡山県小田郡美星町

74.0

武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室

I - 56

ザゼチ

愛知県北設楽郡東栄町、

武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室

I - 57

オカザリ

宮城県栗原郡志波姫町

武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室

I - 58

セワ(ウィルタ オロッコの守り神)

北海道北部

高14.0、径16.0

武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室

*参考写真

禁中御産屏風

原在中

江戸時代後期

紙本胡粉画 六曲一双

各167.0×362.0

京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)

I - 59 (1,2)

押桶

径25.0 高24.5

京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)

I - 60

栄花物語図屏風(左隻)

土佐光祐

江戸時代 17c末-18c初

紙本著色 六曲一双

155.9×361.6

東京国立博物館

I - 61

「産所法式 伊勢流」写し

昭和2(1765)年

順天堂大学医学部医史学研究室山崎文庫

I - 62

天児

江戸時代後期

高51.0

吉徳これくしょん

I - 63

這子

江戸時代後期

高55.0

吉徳これくしょん

I - 64

岩田帯

武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室

●黒に対する概念

I - 65

模写 伝源頼朝像

林功

1978(昭和53)年

絹本著色 一幅

141.5×113.2

国(文化庁保管)

*原品:伝藤原隆信作、鎌倉時代13c

I - 66

黒袍(輪無唐草文)

昭和時代

丈152.4

- 東京国立博物館
- I - 67
カラスうちわ
大國魂神社(府中市)
31.0
武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室
- I - 68
からす扇
大國魂神社(府中市)
25.0
武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室
- I - 69 (1~5)
かしわ面(仙台張子)
宮城県仙台市
21.0~17.0
武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室
- I - 70 (1~5)
絵馬
-1 八咫烏絵馬 新熊野神社
-2 狐
-3 なまず
-4 へび
-5 馬
武蔵野美術大学美術資料図書館民俗資料室
- 6. 文化の中の白と黒**
●化粧
- I - 71
白粉包み「つやぼたん(和泉屋)」
明治時代
17.9×9.9
ポーラ文化研究所
- I - 72
白粉包み「雲井香」
明治時代
13.7×9.1
ポーラ文化研究所
- I - 73
白粉包み「麝香入り 薄雲」
明治時代
15.4×9.1
ポーラ文化研究所
- I - 74
白粉包み「小町香(紅屋平兵衛)」
明治時代
12.8×8.2
ポーラ文化研究所
- I - 75
無鉛白粉「柳屋ぼつちり白粉」
昭和時代
3.6×3.0×1.8, 外箱16.0×10.0
ポーラ文化研究所
- I - 76
軽粉 伊勢白粉
三重県松阪市射和町
- I - 77
花模様白粉三段重
江戸時代後期
径7.7 高12.0
ポーラ文化研究所
- I - 78
花模様白粉三段重
江戸時代後期
径8.2 高9.0 (赤)
ポーラ文化研究所
- I - 79 (1~5)
白粉刷毛
江戸時代後期-昭和時代
-1. 板刷毛 7.0
-2. 水刷毛 径2.5長6.8
-3. 水刷毛 径4.0長8.1
-4. 鼻叩き刷毛 径3.0長5.6
-5. 牡丹刷毛 径7.5長6.1
ポーラ文化研究所
- I - 80 (1~4)
水白粉
明治時代-大正時代
-1. 水晶おしろい
-2. クラブ白粉
-3. 御園水白粉
-4. 御園の月
- I - 81 (1~4)
練白粉
明治時代-大正時代
-1. ちござくら
-2. レート白粉
-3. クラブ白粉
-4. 濃化粧用おしろい「御園のつぼみ」
- I - 82
復刻 集女八景洞庭秋月
五渡亭国貞
江戸時代
大判錦絵
ポーラ文化研究所
- I - 83
名筆浮世絵鑑
五渡亭国貞
江戸時代
大判錦絵
ポーラ文化研究所
- I - 84
美艷仙女香という
溪斎英泉
江戸時代(文政期) 1818-30
大判錦絵
ポーラ文化研究所
- I - 85
浮世風俗美女鏡
溪斎英泉
江戸時代(文政期) 1818-30
大判錦絵
千葉市美術館
- I - 86
新美人十二姿 おしろい
伊東深水
大正12(1923)年
木版多色刷/和紙
40.8×24.5
千葉市美術館
- I - 87
化粧の女
橋口五葉
大正7(1918)年
木版多色刷/和紙
51.3×36.5
千葉市美術館
- I - 88
手毬
島 成園
大正時代
絹本着色 一幅
42.7×51.2
星野画廊
- I - 89
手鏡
増原宗一
大正時代末
絹本着色 一幅
50.5×49.3
星野画廊
- I - 90
燈芯

鳥居道枝
大正時代後期
絹本着色 一幅
154.8×50.0
星野画廊

I - 91 (1~9)
お歯黒道具一式
1~7 (橘唐草紋蒔絵婚礼化粧道具)
江戸時代後期

- 1 耳盥 径27.5 高17.7
- 2 歯黒筆 長15.2
- 3 かねつぎ 江戸時代後期 径7.8 高6.5
- 4 潼子 江戸時代後期 径6.2 高4.3
- 5 渡し金 江戸時代後期 6.7×36.7
- 6 五倍子箱 6.5×6.5×7.0
- 7 五倍子箱 6.0×6.0×6.7
- 8 小舟模様うがい茶碗 径15.3 高6.3
- 9 越前焼お歯黒壺 径9.4 高14.5

ポーラ文化研究所

I - 92
べんりおはぐる「ぬれからす」
江戸時代後期~明治時代
9.3×6.8

ポーラ文化研究所

I - 93
べんりおはぐる「かめおし」
江戸時代後期~明治時代
9.8×6.7

ポーラ文化研究所

I - 94
きわ墨 (よし町よしや製)
江戸時代~大正時代
13.2×8.7

ポーラ文化研究所

I - 95
香料
麝香、丁香
ポーラ文化研究所

I - 96
「都風俗化粧伝」 一冊
佐山半七丸著、速見春暁画
江戸時代 文化10 (1813) 年
ポーラ文化研究所

I - 97
復刻 「人倫訓蒙図彙」 一冊
1978年 日本古典全集 現代思潮社
原本：著者不詳、蒔絵師源三郎画
江戸時代 元禄3 (1690) 年

ポーラ文化研究所

I - 98
復刻 「絵本十寸鏡」 一冊
1979年 臨川書店発行
原本：西川祐信
江戸時代 寛延1 (1748) 年
ポーラ文化研究所

●染織

I - 99
白綸子桐籬模様小袖
江戸時代 18c末~19c初
裱64.0 丈153.5

I - 100
白麻地松鉄線鶴模様帷子
江戸時代 元禄期 17c-18c
裱57.0 丈156.5

I - 101
黒麻地流水椿模様帷子
江戸時代 元禄期 17c-18c
裱59.5 丈154.0

I - 102
黒綸子地遠州模様小袖
江戸時代 19c
裱68.0 丈165.0
東京国立博物館

I - 103
黒縮緬地花鳥模様振袖
大正時代
裱62.0 丈150.0

I - 104
白黒染分綸子地小花模様小袖裂
江戸時代 17c
58.2×31.8
東京国立博物館

I - 105
黒綸子地青海波鶴亀松竹模様小袖裂
江戸時代 17c
58.2×31.8
東京国立博物館

I - 106
黒綸子地星形御所車小花籬模様小袖裂
江戸時代 17c
58.2×31.8
東京国立博物館

I - 107 (1~6)

黒色系の植物染料

- 1 五倍子
- 2 椽
- 3 矢車
- 4 柘榴
- 5 檳榔子
- 6 栗

●白磁

I - 108
白磁壺
李朝中期
口径7.9 胴径14.0 高11.3

I - 109
伊万里白磁鉢
江戸時代中期
口径26.2 高11.0

I - 110
白磁壺
李朝
径16.3 高14.7

●浮世絵にみる白と黒の表現

—「きめ出し」・「空摺」・「にかわ摺」・「漆絵」

I - 111
朝顔を持つ遊女と禿
喜多川歌麿
江戸時代 寛政年間 (1789-1801) 中期
91.6×31.1
絹本着色 一幅
千葉市美術館

I - 112
花魁図
菊川英山
江戸時代 文化年間 (1804-18)
101.0×37.5
絹本着色 一幅
千葉市美術館

I - 113
文読み美人図
歌川国貞
江戸時代 天保年間 (1830-44) 後期
96.4×32.8
絹本着色 一幅
板橋区立美術館

I - 114
沢村宗十郎 曾我十郎
二代鳥居清倍
江戸時代 1700年前半-中半
細判漆絵 (31.7×15.0)

千葉市美術館

I - 115

二代目三条勘太郎の蟬丸みだいなを姫
奥村利信
江戸時代 享保期 (1716-36)
細判漆絵 (31.0×16.0)
千葉市美術館

I - 116

蚊帳の母子
鈴木春信
江戸時代 明和4 (1767) 年頃
中判錦絵
千葉市美術館

I - 117

鞠と男女
鈴木春信
江戸時代 明和4 (1767) 年頃
中判錦絵
千葉市美術館

I - 118

馬尽 駒菖蒲 (摺物)
葛飾北斎
江戸時代 文政5 (1822) 年
色紙判 (20.7×18.0)
千葉市美術館

I - 119

東都名物合 墨田川 (摺物)
抱亭五清
江戸時代 文政8-9 (1811-12) 年頃
色紙判 (21.0×18.5)
千葉市美術館

I - 120 (1,2)

東海道五捨三次の内 蒲原 夜之雪
歌川広重
江戸時代 天保4 (1833) 年頃
横大判錦絵揃物 (25.2×37.1)
-1, 静岡県立美術館
-2, 千葉市美術館

第二部 美術表現の白と黒

1. 白と黒の奥行き一黒の諧調

●墨による表現

II - 1

白描源氏物語歌合絵巻
室町時代
紙本墨画 一卷
15.5×931.3

II - 2

白鷺
俵屋宗達
江戸時代初期
紙本墨画 一幅
102.5×50.0

II - 3

蘆雁
俵屋宗達
江戸時代初期
紙本墨画 一幅
89.2×47.3

II - 4

蓮
俵屋宗達
江戸時代初期
紙本墨画 一幅
102.0×44.9

II - 5

許由巢父図、松に孔雀図襖
曾我蕭白
1767 (明和4) 年頃
紙本墨画 襖四面一双
各171.5×86.0
三重県立美術館

II - 6

乗興舟
伊藤若冲
1767 (明和4) 年頃
木拓本摺画 一卷
28.1×1157.4
千葉市美術館

II - 7

模写 観音猿鶴図 (牧谿)
横山大観
1985 (明治28) 年
絹本墨画 三幅
各171.9×96.5
東京国立博物館

II - 8

月四題
菱田春草
1909-10 (明治42-43) 年
絹本墨画淡彩 四幅
各106.8×41.4
山種美術館

II - 9

月の出
平井樗仙
大正時代
紙本墨画 一幅
136.3×31.4
星野画廊

II - 10

太公望図
平福百穂
1927 (昭和2) 年
紙本墨画淡彩 一幅
170.8×51.0
三重県立美術館

II - 11

蘆雁
平福百穂
1932 (昭和7) 年
絹本墨画彩色 一幅
140.2×43.8
山種美術館

II - 12

華曲 (右隻)
川端龍子
1928 (昭和3) 年
紙本墨画著色 二曲一双
172.0×171.6
山種美術館

II - 13

蓬萊山
横山大観
1938 (昭和14) 年
絹本墨画著色 一幅
55.0×72.0
山種美術館

II - 14

南海之図
不染鉄
1955 (昭和30) 年頃
紙本墨画 一幅
174.3×93.5
星野画廊

●木炭・鉛筆による表現

II - 15

静物写生

川村清雄

1875 (明治8) 年

鉛筆/紙

33.1×51.5

静岡県立美術館

II - 16

水差し

川村清雄

1875 (明治8) 年

鉛筆/紙

29.5×48.0

目黒区美術館

II - 17

幼児石膏習作

川村清雄

1873-81 (明治6-14) 年

コンテ/紙

12.0×11.8

目黒区美術館

II - 18

男子裸体

安井曾太郎

1908 (明治41) 年頃

木炭/紙

62.4×47.7

学校法人高澤学園

II - 19

裸婦

安井曾太郎

1908 (明治41) 年頃

木炭/紙

62.4×47.8

学校法人高澤学園

II - 20

男子裸体

安井曾太郎

1908 (明治41) 年

木炭/紙

62.4×47.6

学校法人高澤学園

II - 21

裸婦

安井曾太郎

1908 (明治41) 年頃

木炭/紙

63.0×47.8

学校法人高澤学園

II - 22

人物素描

国吉康雄

1912 (明治45) 年

木炭/紙

62.3×47.6

目黒区美術館

II - 23

人物素描

国吉康雄

1912 (明治45) 年

木炭/紙

62.3×47.6

目黒区美術館

2. 白と黒の表現

II - 24

雪の朝

太田喜二郎

1908-13 (明治41-大正2) 年

油彩/キャンバス

74.2×50.0

目黒区美術館

II - 25

雪景

黒田清輝

1919 (大正8) 年

油彩/キャンバス

26.0×34.8

三重県立美術館

II - 26

雪景

里見勝三

1925 (大正14) 年

油彩/キャンバス

65.4×80.6

目黒区美術館

II - 27

横たわる裸婦

藤田嗣治

1927 (昭和2) 年

油彩/麻布

81.0×100.0

茨城県近代美術館

II - 28

時

岡田謙三

1954-55 (昭和29-30) 年

油彩/キャンバス

222.0×234.0

静岡県立美術館

II - 29

間隔

岡田謙三

1958 (昭和33) 年

油彩/キャンバス

202.0×172.0

目黒区美術館

II - 30

鳥の目レンズ

清原啓子

1978 (昭和53) 年

エッチング/アクアチント/紙

32.7×44.4

目黒区美術館

II - 31

コップのダリア

長谷川潔

1930 (昭和5) 年

メゾチント/紙

23.8×18.7

目黒区美術館

II - 32

サン・ポール・ド・ヴァンスの村

長谷川潔

1929 (昭和4) 年

メゾチント/紙

13.7×17.8

目黒区美術館

3. 白と黒の精神性—色彩を超えて

II - 33

作品

浅野弥衛

1960 (昭和35) 年

油彩/キャンバス

90.5×116.0

三重県立美術館

II - 34

無題

浅野弥衛

1966 (昭和41) 年

油彩/キャンバス

72.7×90.9

目黒区美術館

II - 35

黒い太陽

- 今井俊満
1956 (昭和31) 年
油彩／キャンバス
60.1×92.3
目黒区美術館
- II - 36
黒い手帖
菅井汲
1963 (昭和38) 年
油彩／キャンバス
100.0×81.6
目黒区美術館
- II - 37
Work C-308
山田正亮
1966 (昭和41) 年
油彩／キャンバス
162.0×130.0
千葉市美術館
- II - 38
無題
村上友晴
1980-82 (昭和55-57) 年
油彩／キャンバス
162.0×130.0
目黒区美術館
- II - 39
無題
村上友晴
1985-87 (昭和60-62) 年
油彩／キャンバス
162.0×130.0
目黒区美術館
- II - 40
黒の中に立って
"Stehende in Schwarz"
イケムラレイコ
1997 (平成9) 年
油彩／キャンバス
60.0×60.0
- II - 41
夜景
"Nachtbild(Stehend)"
イケムラレイコ
1997 (平成9) 年
油彩／キャンバス
70.0×70.0
作家蔵
- II - 42
黒の中に青いミコと
"Mit Blauer Miko in Schwarz"
イケムラレイコ
1997 (平成9) 年
油彩／キャンバス
80.0×80.0
作家蔵
- II - 43
カンバスの正方形の上に書き満たす
Writing Over Squares on Canvas
小野皓一
1976 (昭和51) 年
木／布／顔料／アクリル
125.3×105.0×5.0
作家蔵
- II - 44
カンバスの正方形の上に書き満たす
Writing Over Squares on Canvas
小野皓一
1976 (昭和51) 年
木／布／顔料／アクリル
125.3×105.4×5.0
作家蔵
- II - 45
カンバスの正方形の上に書き満たす
Writing Over Squares on Canvas
小野皓一
1976 (昭和51) 年
木／布／顔料／アクリル
125.3×105.2×5.0
作家蔵
- II - 46
カンバス上の崩壊する長方形
Destroying Rectangles on Canvas
小野皓一
1977 (昭和52) 年
木／布／顔料／黒鉛
各30.0×33.0×3.2
秋山画廊
- II - 47
MAO-4100698
芝章文
1998 (平成10) 年
油彩／綿布
240.0×180.0×4.0
作家蔵
- II - 48
MAO-4110698
- 芝章文
1998 (平成10) 年
240.0×180.0×4.0
油彩／綿布
作家蔵
- II - 49
未然
浅見貴子
1997 (平成9) 年
墨／銀泥／膠／雲肌麻紙
8.0×32.0
作家蔵
- II - 50
起
浅見貴子
1998 (平成10) 年
墨／銀泥／膠／雲肌麻紙
183.0×229.0
作家蔵
- II - 51
無題
西川勝人
1986-87 (昭和61-62) 年
木／プラスター／彩色
28.0×28.0×60.5
作家蔵
- II - 52
無題
西川勝人
1988 (昭和63) 年
木／プラスター／彩色
32.0×32.0×168.0
作家蔵
- II - 53
無題
西川勝人
1988 (昭和63) 年
木／プラスター／彩色
20.5×23.0×289.0
作家蔵
- II - 54
無題
西川勝人
1988-89 (昭和63-64) 年
24.0×24.0×70.5
ブロンズ／彩色
作家蔵

ファルーク・ホスニ展 アレキサンドリアの記憶

会期：1998(平成10)年9月22日～10月4日(12日間)

会場：展示室A B C 展示ロビー

主催：目黒区美術館／日本テレビ放送網

後援：目黒区国際交流協会 企画協力：早稲田大学古代エジプト調査室

担当学芸員：山田敦雄

現職のエジプト文化省の大臣をつとめながら現代エジプトにおける最も傑出した画家の一人として活躍中のファルーク・ホスニを初めて紹介。アレキサンドリア生まれのホスニは、風景画家として頭角をあらわした後、文化行政にたずさわりながらパリやローマに長く滞在し、独自の心地よい情感あふれた抽象絵画を展開した。本展に出品のアクрил作品45点は、1997年暮れからパリで開催された「フランス＝エジプト週間」の一部として開催された最新の個展出品作に最新作を加えたもの。

●リーフレット

寸法：29.7×21.0

ページ数：16ページ

内容：開催にあたって（目黒区美術館館長 福永重樹）／親愛なる日本のみなさまへ（エジプト・アラブ共和国文化大臣 ファルーク・ホスニ）／ファルーク・ホスニ展によせて（早稲田大学教授 吉村作治）／（エッセー）（ミシェル・ヌリツァニ）／（エッセー）（山田敦雄）／略歴

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：A4

B3ポスター



●出品目録

○作品名は付されていない
○No.15 は出品キャンセルのため欠

No.	材質/技法	寸法 (cm)	制作年
1	アクリル・キャンバス	177×242	1992
2	アクリル・キャンバス	108×208	1992
3	アクリル・キャンバス	122×122	1996
4	アクリル・キャンバス	122×122	1997
5	アクリル・キャンバス	102×102	1995
6	アクリル・キャンバス	102×102	1995
7	アクリル・キャンバス	102×102	1996
8	アクリル・キャンバス	82×82	1996
9	アクリル・キャンバス	82×82	1997
10	アクリル・キャンバス	82×82	1997
11	アクリル・キャンバス	72×102	1997
12	アクリル・キャンバス	152×202	1997
13	アクリル・キャンバス	152×202	1997
14	アクリル・キャンバス	82×82	1997
16	アクリル・キャンバス	82×82	1996
17	アクリル・キャンバス	60×60	1984
18	アクリル・キャンバス	60×60	1984
19	アクリル・キャンバス	60×60	1984
20	アクリル・キャンバス	82×102	1997
21	アクリル・キャンバス	117×97	1977
22	アクリル・キャンバス	82×122	1997
23	アクリル・キャンバス	82×122	1997
24	アクリル・キャンバス	82×102	1997
25	アクリル・キャンバス	82×102	1997
26	アクリル・キャンバス	202×202	1992
27	アクリル・キャンバス	202×202	1992
28	アクリル・キャンバス	101×102	1998
29	アクリル・キャンバス	101×102	1998
30	アクリル・キャンバス	102×152	1998
31	アクリル・紙	54×73	1997
32	アクリル・紙	54×73	1997
33	アクリル・紙	56×75	1994
34	アクリル・紙	55×75	1995
35	アクリル・紙	48×68	1998
36	アクリル・紙	48×68	1982
37	アクリル・紙	39×49	1996
38	アクリル・紙	35×50	1998
39	アクリル・紙	35×50	1998
40	アクリル・紙	50×64	1998
41	アクリル・紙	55×75	1998
42	アクリル・紙	55×75	1998
43	アクリル・紙	48×64	1991
44	アクリル・紙	48×64	1991
45	アクリル・紙	47×68	1991
46	アクリル・紙	47×68	1991

日韓現代美術展—自己と他者の間

会期：1998（平成10）年10月15日～11月23日（35日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー ワークショップ エントランスホール 区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、社団法人国際芸術文化振興会、韓日美術交流振興会

後援：外務省、文化庁、大韓民国文化観光部海外文化弘報院、駐日大韓民国大使館韓国文化院、2002年FIFAワールドカップ日本組織委員会

助成：芸術文化振興基金

協賛：株式会社資生堂、廣濟堂印刷株式会社、三共株式会社、東京電力株式会社、株式会社東芝、トヨタ自動車株式会社、日本電気株式会社、東レ株式会社

協力：中外写真薬品株式会社、旭硝子株式会社、サントリー株式会社、日本精蠟株式会社

担当学芸員：家村珠代

巡回スケジュール：1999年4月8日～5月16日 国立国際美術館

1999年6月7日～6月28日 韓国文化藝術振興院美術會館（韓国）

本展の目的のひとつは、日本と韓国の戦後美術そして現在の美術に、20世紀の西欧モダニズムがもたらしたもののうち、何が共通し、何が異なっているのかの検証をおこなうこと、また、もうひとつは、そうした西欧の影響下にありながら両国がどのように独自の美術を生みだそうとしたかを探ることにあつた。そこで、日韓の双方で、それぞれ現代美術の先駆者にして現役である作家2名、新世代の作家4名（ないし4組）を選び、旧世代の4名については、彼らがその様式を確立した過去の作品と最近の作品とを同時に展示することで、両国の現代美術の歴史の一端を示すとともに、対比をも試みた。日本からは、斎藤義重、草間彌生、小沢剛、須田悦弘、平田五郎、やなぎみわ、韓国からは朴栖甫、徐世鉦、林永善、曹龍信&尹愛永、崔正花、バイロン・キムの作品57点で構成した。

関連催事

- ①基調講演「韓国の近現代美術における近代と反近代との相反」
- ②シンポジウム1「日韓現代美術展—自己と他者の間—」
- ③シンポジウム2「日韓ハブニング今昔」
- ④小沢剛によるパフォーマンス

●カタログ

寸法：22.0×29.8

デザイン：下田理恵

ページ数：124ページ

内容：謝辞/ごあいさつ（主催者）/メッセージ（大韓民国文化観光部長官 申樂均、元内閣総理大臣 社団法人国際芸術文化振興会会長 海部俊樹、駐日本国大韓民国特命全権大使 金爽圭）/目次/「巷の孤児としての美術—日本、そして韓国」（千葉成夫）/「自己と他者の間—韓国現代美術におけるふたつの断層—」（金英順）/作家略歴/作家解説/図版1/「ドリーム・プラン」（家村珠代）/出品作品リスト/図版2 目黒区美術館での展示風景

●ポスター

サイズ：B2

デザイン：下田理恵

●主要関連記事

- ・田中三蔵 '98回顧美術 朝日新聞1998年12月2日（夕刊）
- ・無署名 イム・ヨンソンの七重人面伝説 日韓現代美術展より 芸術新潮 1998年12月号
- ・無署名 アート・ファイル 警官が見守る観音 VS ダッチワイフ 週刊新潮 1998年12月3日号
- ・千葉成夫 『日韓現代美術展』を終えて 世代つなぐ「どこか必死の遊び」 統一日報 1998年11月25日
- ・YOKO HARUHARA Navigating new straits of postwar art THE JAPAN TIMES 1998年10月3日
- ・千葉成夫 「西欧との対抗」に共通項 東洋経済日報 1998年9月4日
- ・菅原教夫 韓国が日本文化解放決定 美術界既に活発な交流 若い世代に国境なし 読売新聞 1998年10月21日（夕刊）
- ・三田晴夫 現代アート考 「異文化」から「個の重視」へ 海外展の変容 毎日新聞 1998年10月29日
- ・油谷一人 フォトニュース タイムリーな日韓美術展 新美術新聞 1998年11月1日号
- ・李美那 展評 美術手帖 1999年1月号



会場風景



B2ポスター

出品リスト

作家名	No.作品名	制作年	素材	サイズ(W×H×D) 単位cm	所蔵	
斉藤義重	1 カラカラ	1936/1973 (再制作)	ラッカー、ナイロン糸、木	90×78	横浜美術館	
	2 トロウッド	1938/1973 (再制作)	ラッカー、合板レリーフ	100×120	個人蔵	
	3 トロウッド	1938/1973 (再制作)	ラッカー、合板レリーフ	120×100	横浜美術館	
	4 トロウッド	1938/1973 (再制作)	ラッカー、合板レリーフ	120×100	個人蔵	
	5 トロウッド	1939/1973 (再制作)	ラッカー、合板レリーフ	120×100	横浜美術館	
	6 トロウッド	1940/1993 (再制作)	ラッカー、合板レリーフ	103×130	(株) まつもと	
	7 作品	1940/1973 (再制作)	ラッカー、合板レリーフ	145×120	横浜美術館	
	8 作品	1940/41/1973 (再制作)	ラッカー、合板レリーフ	120×100	個人蔵	
	9 複合体101	1983	ラッカー、木、ボルト	395×405×470	千葉市美術館	
草間彌生	10 ネット・アキュミレーション	1958	油彩、カンバス	162×390 (3点組)	国立国際美術館	
	11 NO. N.2	1961	油彩、カンバス	125×178	後町幸枝	
	12 無限の網B	1964	アクリル、カンバス	194×390 (3点組)	目黒区美術館	
小沢 剛	13 生命 (レベティティブ・ヴィジョン)	1998	ミクストメディア	160×500×500	作家蔵	
	14 たそがれ地蔵建立1996年11月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	15 たそがれ地蔵建立1997年1月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	16 たそがれ地蔵建立1997年2月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	17 たそがれ地蔵建立1997年3月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	18 たそがれ地蔵建立1997年4月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	19 たそがれ地蔵建立1997年5月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	20 たそがれ地蔵建立1997年6月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	21 たそがれ地蔵建立1997年7月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	22 たそがれ地蔵建立1997年8月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	23 たそがれ地蔵建立1997年9月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	24 たそがれ地蔵建立1997年11月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	25 たそがれ地蔵建立1997年12月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
平田五郎	26 たそがれ地蔵建立1998年1月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	27 たそがれ地蔵建立1998年4月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	28 たそがれ地蔵建立1998年5月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	29 たそがれ地蔵建立1998年6月	1998	印画紙に調色	85×180	作家蔵	
	30 マインド・スペース-空を飛ぶ夢	1998	パラフィン・ワックス、綿布	テント約400×670×470 家305×130×120	作家蔵	
	やなぎみわ	31 東の間の世界 1F/2F/3F	1997	ダイレクトプリント	各90×120 (3点組)	柏原孝昭
		32 案内嬢の部屋 B3	1997	ダイレクトプリント	180×450	北田治
		33 案内嬢の部屋 3F	1998	ダイレクトプリント	180×213	作家蔵
		34 パラダイス・ストレスパッサー I	1998	ダイレクトプリント	360×180	作家蔵
		35 パラダイス・ストレスパッサー II	1998	ダイレクトプリント	180φ円形	作家蔵
36 チューリップ		1998	木に着彩		作家蔵	
須田悦弘	37 点の変奏	1957	墨、韓紙	197×130	作家蔵	
	徐世銓	38 雲が消える空間	1962	墨、韓紙	173×140	作家蔵
		39 ビーブル	1996	墨、韓紙	272×173	作家蔵
		40 ビーブル	1997	墨、韓紙	272×173	作家蔵
		41 ビーブル	1997	墨、韓紙	173×272	作家蔵
		42 ビーブル	1997	墨、韓紙	173×138	作家蔵
朴栖甫	43 原形質 No.62-3	1962	油彩、カンバス	162×130	ハンファグループ	
	44 原形質 No.63-4	1963	油彩、カンバス	162×130	作家蔵	
	45 描法 No.980403	1998	ミクストメディア、韓紙	228×330	作家蔵	
	46 描法 No.980416	1998	ミクストメディア、韓紙	228×330	作家蔵	
	47 描法 No.980522	1998	ミクストメディア、韓紙	228×330	作家蔵	
	48 描法 No.980703	1998	ミクストメディア、韓紙	260×200	作家蔵	
	49 仮面	1998	襟、合成ゴム、モーター、電気ドリル・システム、サウンド・システム	306×1300×560	作家蔵	
	50 時の立方体	1998	コンピュータ、ビデオ・プロジェクター	(インスタレーション)	作家蔵	
曹龍信 & 尹愛永	51 ジョーク	1996	布、送風機	400×400×400	作家蔵	
	52 ファニー・ゲーム	1997	プラスチック・モデル	200×100×50	作家蔵	
	53 マザー	1998	FRP、ゴム	マザー:50×30φ ロリータ・ドール:170×40×25	作家蔵	
バイロン・キム	54 アデリーンを待ちながら	1998	テンペラ、麻のパネル	13×30.5	作家蔵	
	55 湾岸に	1998	ガッシュ、アクリル、麻	33×45.7	作家蔵	
	56 黒の絵画	1998	アクリル、麻	228.6×182.9	作家蔵	
	57 憂気楼	1998	ガッシュ、アクリル、紙	63.5×558.8	作家蔵	

山名文夫展 永遠の女性像・よそおいの美学

会期：1998（平成10）年12月1日～1999（平成11）年1月10日（30日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館

特別協力：株式会社 資生堂

協力：多摩美術大学

担当学芸員：矢内みどり

山名文夫（やまな・あやお 1897～1980年）は、広告デザインに大きな足跡を残し、昭和のデザインの礎を築いたデザイナーの一人です。また挿画家としても洗練された描線と色調で「日本のアール・デコ」と言われ、一時代を画しました。そして若い頃から詩人として才能を示し、字体のデザインにも独創的な仕事を残しました。本展では、作家のご遺族から資生堂企業資料館に寄贈された原画を含む作品・資料など約500点を中心に、油彩画約10点、装丁本約50点、『苦楽』『宝石』など関係雑誌を含め、総点数約770点により、山名の全体像を示しました。

関連催事：座談会「山名文夫の思い出」

詩の朗読とダンス「AYAOにもらった女心 山名文夫の創作詩の世界」

ギャラリーツアー

●カタログ

寸法：18.2×25.8

ページ数：224ページ

内容：あいさつ（目黒区美術館長 福永重樹）、山名文夫 永遠の女性像・よそおいの美学（同館主任学芸員 矢内みどり）、山名文夫における東西の出会い（チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン教授 渡辺俊夫）、図版、文学作品、作品目録、資料・文献、Yamana Ayao - Images of the Eternal Female, The Aesthetics Personal Adornment (Yanai Midori, Curator, Meguro Museum of Art, Tokyo)、Yamana Ayao - An East-West Encounter in Design (Watanabe Toshio)、年譜、biography

●ポスター

サイズ：B2縦 B3横

●チラシ

サイズ：A4

●主要関連記事

- ・「山名文夫展 “リッチ” なデザイン」中村誠
月刊美術 サン・アート 1998年12月
- ・「美術 山名文夫展 軽妙な美の世界を構築」中村隆夫
東京新聞 1998年12月25日
- ・「山名文夫展 永遠の女性像・よそおいの美学」矢内みどり
新美術新聞 美術年鑑社 1998年12月1日号
- ・「細線の美学 山名文夫の女たち」編集部
イラストレーション 玄光社 1999年1月号 (No. 115)
- ・「ニュースの考古学 365 『婦人』から『女性』へ、山名文夫が
解き放った『重荷』」猪瀬直樹
週刊文春 1999年1月14日号
- ・「山名文夫の創造性と作品成立のシステム」矢内みどり
研究紀要 おいでるみん vol.7
資生堂企業資料館 1999年4月20日



B2ポスター



会場風景



会場風景



会場風景

作品リスト

凡例：

番号

作家名

「作品・資料名」

素材・技法／年代／寸法（縦×横）cm

- I 山名文夫・著書
- II 山名文夫・出版（編集）物
- III 山名文夫・装幀
- IV 山名文夫・パンフレット
- V 山名文夫・雑誌等
- VI 山名文夫・原画・習作等
- VII 山名文夫・新聞広告
- VIII 山名文夫・ポスター
- IX 山名文夫・パッケージ
- X 山名文夫・ロゴ・文字
- XI 山名文夫・油彩
- XII 山名文夫・デッサン
- XIII 山名文夫・詩、日記
- XV 山名文夫のその他の作品資料
- XIV 山名文夫以外の作家作品
- XVI 写真、資料

I 山名文夫・著書

I-1

山六郎、山名文夫
「女性のカット」
プラント社
1928.3/22.5×15.2

山名文夫
「装幀、序詩」
山六郎
「扉絵」

I-2

「カフェ・バー・喫茶店広告図案集」
誠文堂
1930.7/30.2×22.4

I-3

「花の図案集」
衣裳研究所
1948/24.6×17.9

I-4

「Yamana-Ayao 装画集」
美術出版社
1953.1/箱25.5×19.0 本25.0×18.5

I-5

「漢字の話」
日本デザイナー学院出版部
1969.9/25.6×49.4 (見開き)

I-6

「広告のレイアウト」
ダヴィット社
1962.5/26.6×19.6

I-7

「山名文夫新聞広告作品集」
ダヴィット社
1963.12/31.4×26.4

I-8

「山名文夫イラストレーション作品集」
私家版
1971.1/29.8×21.0

I-9

「体験的デザイン史」
ダヴィット社
1976.2/箱22.0×15.4 本21.0×15.0

I-10

「唐草幻像」私家版
印刷/1973/29.8×21.0 (プレート)

I-11

「プロフィール」私家版
1973/1976/35.3×27.3 (カバー) /35.3×
27.0 (1ページ)

I-12

「BAALBEK」私家版
1970/20.5×18.0

II 山名文夫・出版(編集)物

II-1

「月刊揺籃叢書9 銀の小舟」
(編集、詩、装幀、挿画) 山名文夫
揺籃社
1922.2/18.0×12.7

II-1-1

「月刊揺籃叢書9 銀の小舟」(p.26 挿画原画)
水彩/1922頃/12.6×11.2

II-2

「月刊揺籃叢書10 鉛の兵隊」
(編集、詩、装幀、扉、挿画) 山名文夫
揺籃社
1922.4/18.0×12.7/p.40,155,157

II-2-1

「月刊揺籃叢書10 鉛の兵隊」(表紙原画)
水彩/1922頃/22.0×16.8

II-2-2

「月刊揺籃叢書10 鉛の兵隊」(扉絵)
1922頃/12.6×11.2

II-5

「チヨコレト」
(編集発行人) 山名文夫
(執筆) 原草太郎、柳澤健他
僧院社
1918.11.15/16.3×11.7

II-6

「チヨコレト」
(編集発行人) 山名文夫
(カフェ・ポリノの広告絵自画自刻) 南要吉
(執筆) 熊田精華他
僧院社
1919.1.18/16.3×11.7

II-7

「チヨコレト」
(編集発行人) 山名文夫 (扉絵) 南要吉
(執筆) 熊田精譚、南要吉他
僧院社
1919.5.1/23.6×16.4

II-8

「東邦」
(編集発行人) 山名文夫
(執筆) 山名文夫、熊田精華、森本佳成
東邦社
1925.10.10/24.6×18.4

II-10

「歌乃祭賛」
(編集発行人) 藤村雅光
(執筆) 山名文夫、藤岡春蟬他
1922.5.10/25.2×19.2

III 山名文夫・装幀

III-1

「陰獣、江戸川乱歩」
美和書房
1947/18.2×12.7

III-2

「陰獣、江戸川乱歩」
美和書房
1947/17.7×13.0

III-3

「獵奇の果、江戸川乱歩」
日正書房
1946/18.3×12.6

III-4

「獵奇の果、新刊、江戸川乱歩」
日本正学館
1948/18.2×13.0

III-5

「愛誦探偵小説集 上巻、江戸川乱歩」
岩谷書店
1947/18.0×12.6

III-6

「愛誦探偵小説集 下巻、江戸川乱歩」
岩谷書店
1947/18.0×12.6

III-7

「首吊船、横溝正史」
日正書房
1947/18.6×13.0

III-8

「怪異馬霊教、香山滋」
岩谷書店
1948/18.6×12.5

III-9

- 「オラン・ベンデク奇譚、香山滋」
岩谷書店
1948/18.5×12.8
- Ⅲ-10
「悪魔の黙示録、赤沼三郎」
熊谷書房
1947/18.0×12.6
- Ⅲ-11
「有尾人、小栗虫太郎」
日正書房
1947
- Ⅲ-12
「地下室の秘密、村山松風」
日正書房
1947/15.2×10.3
- Ⅲ-13
「血塗の裸女、甲賀三郎」
美和書房
1947/17.3×12.8
- Ⅲ-14
「魔法街、大下宇陀兒」
世界社
1947/18.4×13.2
- Ⅲ-15
「夢と秘密、城昌幸」
日正書房
1947/18.2×12.8
- Ⅲ-16
「探偵小説年鑑1952 探偵作家クラブ編」
岩谷書店
1952/18.2×12.9
- Ⅲ-17
「探偵小説年鑑1953 探偵作家クラブ編」
岩谷書店
1953/18.2×12.9
- Ⅲ-18
「奇態な天使 第一巻、エドガア・ポオ」
春陽堂書店
1941/18.8×13.5
- Ⅲ-19
「ジェルミナール 芽生えの月、エミール・ゾラ」
美紀書房
1946/18.0×12.7
- Ⅲ-20
「骨董室、オノレ・ド・バルザック」
曙出版
1946/18.6×13.2
- Ⅲ-21
「死の都、ブリウジュ、ロオデンハッハ」
春陽堂書店
1940/18.9×12.8
- Ⅲ-22
「マーテルリンク全集、マーテルリンク」
冬夏社
1920/20.2×14.8
- Ⅲ-23
「ロッセ歸りぬ 下巻、トーマス・マン」
新潮社
1941/19.0×14.0
- Ⅲ-24
「制服の處女、クリスタ・ウインスロウ」
新潮社
1933/19.6×13.8
- Ⅲ-25
「虹、ワンダ・ワシレーフスカヤ」
日本社
1946/18.4×13.0
- Ⅲ-26
「夢見るブルジョア娘 上巻、ドリユウ・ラ・ロッシェル」
新潮社
1940/19.4×13.1
- Ⅲ-27
「夢見るブルジョア娘 下巻、ドリユウ・ラ・ロッシェル」
新潮社
1951/18.6×13.1
- Ⅲ-28
「フィリップ全集 第一巻」
新潮社
1929/20.3×14.6
- Ⅲ-29
「フィリップ全集 第二巻」
新潮社
1930/20.3×14.6
- Ⅲ-30
「近代名作モデル事典、吉田精一」
至文堂
1960/18.1×11.8
- Ⅲ-31
「貞操問答、菊地寛」
矢貫書店
1947/18.2×13.0
- Ⅲ-32
「不壊の白珠、菊地寛」
文章社
1947/18.2×12.4
- Ⅲ-33
「妻を買ふ経験、里見弴」
苦楽社
1947/18.6×14.1
- Ⅲ-34
「四葉の苜蓿、里見弴」
プラトン社
1923/19.0×13.6
- Ⅲ-35
「私の短歌、五島美代子」
柴田書店
1957/21.5×15.4
- Ⅲ-36
「詩へのいざない、江間章子」
柴田書店
1957/21.5×15.4
- Ⅲ-37
「やがて五月に、岡本かの子」
近代社
1946/18.6×13.2
- Ⅲ-38
「木曜雑記、春山行夫」
林檎書院
1947/18.4×12.8
- Ⅲ-39
「近代の戀愛観、厨川白村」
苦楽社
1947/18.6×13.0
- Ⅲ-40
「大學、田村泰次郎」
美和書房
1947/17.8×12.6
- Ⅲ-41
「愛情の手帖、戸川エマ」
東都書房
1958/17.2×12.2

- III-42
「悩める魂、三上於菟吉」
薔薇社
1947/18.5×12.8
- III-43
「天体の話、野尻抱影」
講談社
1948.4/18.2×13.0
- III-44
「天体の話 新版、野尻抱影」
講談社
1948.7/18.2×13.0
- III-45
「現代の心理学、大規憲二」
労働文化社
1948/18.2×12.8
- III-46
「聖書物語 最初の二人、三宅恵子」
愛育社
1949/18.3×12.8
- III-47
「千夜一夜 第八巻」
中央公論社
1930/23.0×15.6
- III-48
「東方古典叢刊 論語・孟子、五十澤二郎」
竹村書房
1934/22.4×19.8
- III-49
「東方古典叢刊3 詩経、五十澤二郎」
竹村書房
1933/22.4×19.8
- III-50
「資生堂社史 資生堂と銀座のあゆみ85年」
株式会社資生堂
1957/26.4×18.5
- III-51
「やさしい辯證法的唯物論と唯物史観、徳増栄太郎」
労働文化社
1948.2/18.0×12.8
- III-52
「やさしい辯證法的唯物論と唯物史観改訂増補、徳増栄太郎」
労働文化社
1948.11/18.0×12.8
- III-53
「やさしい資本論、越村信三郎」
労働文化社
1947/18.0×12.6
- III-54
「賃金関係實務詳解、金子英雄」
労働文化社賃金調査部
1948/18.2×12.8
- III-55
「婦人公論大學 (予約募集)」
中央公論社
不詳/18.8×13.1
- III-56
「今上陛下を拝し奉りて」
大政翼賛会
1944/18.0×12.7
- III-57
「写真を語る、福原信三」
武蔵書房
1947/18.8×27.7
- III-58
「戦争の溜息、ドルジュレス」
新潮社
不詳/19.6×15.7
- IV 山名文夫・パンフレット
(都民劇場、表紙)
- IV-1
「第53回定期公演 歌劇フィガロの結婚」
1952.10/25.7×18.2
- IV-2
「第4回定期公演 アメリカ現代音楽演奏会」
1953.7/25.7×18.2
- IV-3
「第6回定期公演 ラザール・レヴィピアノ独奏会」
1953.1/25.7×18.2
- IV-4
「第8回定期公演 井口基成・巖本真理ジョイント・リサイタル」
1953.11/25.7×18.2
- IV-5
「第10回定期公演 ジャルメーヌ・ルルーピアノ独奏会」
1954.2/25.7×18.2
- IV-6
「第12回定期公演 近代ロシア音楽演奏会」
1954.3/25.7×18.2
- IV-7
「第68回定期公演 犀 (文学座)」
1961.6/21.0×14.8
- IV-8
「第15回定期演奏会 NHK室内楽団演奏会」
1954.6/25.7×18.2
- IV-9
「第16回定期公演 希望音楽会」
1954.7/25.7×18.2
- IV-10
「第17回定期公演 安川加寿子ピアノ独奏会」
1954.9/25.7×18.2
- IV-11
「第18回定期公演 リヒャルト・シュトラウスの夕」
1954.9/25.7×18.2
- IV-12
第20回定期公演 ジャニーヌ・アンドラードヴァイオリン独奏会」
1954.11/25.7×18.2
- IV-13
「第21回定期公演 ベルナル・フラヴィニーピアノ独奏会」
1954.12/25.7×18.2
- IV-14
「第23回定期公演 NHK交響楽団演奏会」
1955.2/25.7×18.2
- IV-15
「第24回定期公演 近衛管弦楽団演奏会」
1955.3/25.7×18.2
- IV-16
「第25回定期公演 園田高弘ピアノ独奏会」
1955.4/25.7×18.2
- IV-17
「第26回定期公演 東京交響楽団演奏会」
1955.5/25.7×18.2
- IV-18
「第28回定期公演 室内楽の夕」

- 1955.8/25.7×18.2
- IV-19
「第29回定期公演 田中希代子ピアノ独奏会」
1955.9/25.7×18.2
- IV-20
「第30回定期公演 歌劇売られた花嫁」
1955.9/25.7×18.2
- IV-21
「第93回定期公演 歌劇ききみみずきん」
1955.11/25.7×18.2
- IV-22
「第32回定期公演 ミサ・ソレムニス全曲
独奏会」
1955.10/25.7×18.2
- IV-23
「第33回定期公演 ドゥヴィ・エルリー
ヴァイオリン独奏会」
1955.12/25.7×18.2
- IV-24
「第34回定期公演 ハンス・カン ピアノ
独奏会」
1956.1/25.7×18.2
- IV-25
「第36回定期公演 東京フィルハーモニー
交響楽団演奏会」
1956.3/25.7×18.2
- IV-26
「第37回定期公演 ピアノ三重奏の夕」
1956.4/25.7×18.2
- IV-27
「第41回定期公演 ウィーン音楽演奏会」
1956.9/25.7×18.2
- IV-28
「第42回定期公演 原智恵子ピアノ独奏会」
1956.9/25.7×18.2
- IV-29
「第93回定期公演 歌劇薔薇の騎士」
1956.11/25.7×18.2
- IV-30
「第44回定期公演 サンソン・フランソワ
ピアノ独奏会」
1956.12/25.7×18.2
- IV-31
「第45回定期公演 大熊文子・松内和子ジョ
イント・リサイタル」
1957.1/25.7×18.2
- IV-32
「第46回定期公演 NHK交響楽団演奏会」
1957.2/25.7×18.2
- IV-33
「第50回定期公演 大西愛子ピアノ独奏会」
1957.7/25.7×18.2
- IV-34
「第51回定期公演 バレナン弦楽四重奏団
演奏会」
1957.8/25.7×18.2
- IV-35
「第100回定期公演 明智光秀ーマクベス
によるー (文学座)」
1957.8/25.7×18.2
- IV-36
「第55回定期公演 NHK交響楽団演奏会」
1957.12/25.7×18.2
- IV-37
「第105回定期公演 白鳥の湖 (西野バレ
エ団)」
1958.1/25.7×18.2
- IV-38
「第56回定期公演 公演ジャン・フルニエ
& ジャネット・ドワイヤン ジョイント・
リサイタル」
1958.2/25.7×18.2
- IV-39
「第57回定期公演 中山悌一独唱会」
1958.3/25.7×18.2
- IV-40
「第59回定期公演 ピアノ二重奏演奏会」
1958.5/25.7×18.2
- IV-41
「第61回定期公演 日本フィルハーモニー
交響楽団演奏会」
1958.8/25.7×18.2
- IV-42
「第63回定期公演 大橋国一バリトン独唱会」
1958.10/25.7×18.2
- IV-43
「第114回定期公演 第8回東京芸術祭オペ
ラ公演 歌劇セヴィラの理髪師 (二期会)」
1958.1/25.7×18.2
- IV-44
「第65回定期公演 シヤルル・レラマン
ピアノ独奏会」
1959.1/25.7×18.2
- IV-45
「第66回定期公演 東京フィルハーモニー
交響楽団演奏会」
1959.2/25.7×18.2
- IV-46
「第67回定期公演 外山滋ヴァイオリン独
奏会」
1959.3/25.7×18.2
- IV-47
「第69回定期公演 ヨゼフ・スーク ヴァ
イオリン独奏会」
1959.5/25.7×18.2
- IV-48
「第68回定期公演 アンドル・フォルデス
ピアノ独奏会」
1959.5/25.7×18.2
- IV-49
「第68回定期公演 アンドル・フォルデス
ピアノ独奏会」
1959.5/25.7×18.2
- IV-50
「第70回定期公演 歌劇三文オペラ」
1959.7/25.7×18.2
- IV-51
「第72回定期公演 歌劇トスカ」
1954.10/25.7×18.2
- IV-52
「第124回定期公演 金鶏 (バレエ)」
1959.11/25.7×18.2
- IV-53
「第74回定期公演 ジェラルド・スゼー
バリトン独唱会」
1959.12/25.7×18.2
- IV-54
「第75回定期公演 音楽コンクール特賞受
賞者演奏会」

1960.1/25.7×18.2

IV-55

「第76回定期公演 リチャード・バクスト
ピアノ独奏会」

1960.2/25.7×18.2

IV-56

「第77回定期公演 アカデミー弦楽四重奏
団演奏会」

1960.3/25.7×18.2

IV-57

「第127回定期公演 歌劇蝶々夫人 (藤原
歌劇団)」

1960.3/21.0×14.8

IV-58

「第78回定期公演 バガニーニ弦楽四重奏
団演奏会」

1960.5/25.7×18.2

IV-59

「第80回定期公演 NHK交響楽団演奏会」

1960.7/25.7×18.2

IV-60

「第133回定期公演 歌劇ホフマン物語
(二期会)」

1960.1/21.0×14.8

IV-61

「第81回定期公演 日本フィルハーモニー
交響楽団演奏会」

1960.9/25.7×18.2

IV-62

「第87回定期公演 歌劇リゴレット」

1961.3/21.0×14.8

IV-63

「第88回定期公演 アダム・ハラシェヴィチ
ピアノ独奏会」

1961.4/21.0×14.8

IV-64

「第89回定期公演 平井丈一朗チェロ独奏会」

1961.5/21.0×14.8

IV-65

「第90回定期公演 栗林義信バリトン独唱会」

1961.6/21.0×14.8

IV-66

「第159回定期公演 歌劇カルメン (藤原

歌劇団)」

1961.6/21.0×14.8

IV-67

「第141回定期公演 十二夜 (俳優座)」

1961.7/21.0×14.8

IV-68

「第91回定期公演 ポリショイ・バレイ団」

1961.8/21.0×14.8

IV-69

「第94回定期公演 歌劇昔新人買太郎兵衛/
音楽詩劇オンディース」

1961.11/21.0×14.8

IV-70

「第95回定期公演 フェラス&バルビゼ演奏会」

1961.12/21.0×14.8

IV-71

「第96回定期公演 NHK弦楽四重奏団演奏会」

1962.2/21.0×14.8

IV-72

「第97回定期公演 東京フィルハーモニー
交響楽団演奏会」

1962.3/21.0×14.8

IV-73

「第98回定期公演 アンドル・ナヴァラ
チェロ独奏会」

1962.4/21.0×14.8

IV-74

「第148回定期公演 女の一生 (文学座)」

1962.4/21.0×14.8

IV-75

「第99回定期公演 石井志都子ヴァイオリン
独奏会」

1962.5/21.0×14.8

IV-76

「第100回定期公演 歌劇真夏の夜の夢」

1962.6/21.0×14.8

IV-77

「第151回定期公演 歌劇領事 (藤原歌劇団)」

1962.7/21.0×14.8

IV-78

「第102回定期公演 日本フィルハーモニー
交響楽団演奏会」

1962.9/21.0×14.8

IV-79

「第104回定期公演 ガスパール・カサド&
原智恵子演奏会」

1962.11/21.0×14.8

IV-80

「第105回定期公演 山口和子ソプラノ独
唱会」

1963.1/21.0×14.8

IV-81

「第107回定期公演 NHK交響楽団演奏会」

1963.1/21.0×14.8

IV-82

「第157回定期公演 桜の園 (俳優座)」

1963.4/21.0×14.8

IV-83

「第110回定期公演 ジュリアス・ベーカー&
プロムジカ弦楽四重奏団演奏会」

1963.6/21.0×14.8

IV-84

「第113回定期公演 ヴェルディ(レクイエム)」

1963.1/21.0×14.8

IV-85

「第114回定期公演 伊藤京子ソプラノ独
唱会」

1964.1/21.0×14.8

IV-86

「第115回定期公演 和波孝禧ヴァイオリン
独奏会」

1964.2/21.0×14.8

IV-87

「第164回定期公演 三人姉妹 (文学座)」

1964.3/21.0×14.8

IV-88

「第117回定期公演 ハンス・ホッターバス
・バリトン独唱会」

1964.3/21.0×14.8

IV-89

「第117回定期公演 服部・島田バレエ団」

1959.3/21.0×14.8

IV-90

「第118回定期公演 シフラ ピアノ独奏会」

1964.4/21.0×14.8

IV-91

「第120回定期公演 歌劇 椿姫（二期会）」
1959.7/21.0×14.8

V 山名文夫・雑誌等

V-1

「女性（表紙）」第4巻第4号
1923.1/22.7×15.4

V-2

「女性（表紙）」第5巻第3号
1924.3/22.4×15.4

V-3

「女性（表紙）」第11巻第5号
1927.2/22.5×15.2

V-4

「女性（表紙）」
1924.9/22.5×15.2

V-5

「女性（扉絵）」
1927/16.5×10.4

V-6

「スクラップ（ブック）より1」
不詳/29.8×44.0（見開き）

V-7

「スクラップ（ブック）より2」
1920年代/29.8×44.0（見開き）

V-8

「スクラップ（ブック）より3」
1920年代/29.8×44.0（見開き）

V-9

「スクラップ（ブック）より4」
1920年代/29.8×44.0（見開き）

V-10

「スクラップ（シート）より1」
1923/1928/26.7×20.1（1シート）

V-11

「スクラップ（シート）より2」
1923/1928/26.6×20.0（1シート）

V-12

「スクラップ（シート）より3」
1923/1928/26.6×20.0（1シート）

V-13

「クラク（扉絵）」12月
不詳/19.1×12.1

V-14

「苦楽（名探偵酒啞六先生）山名文夫」
1927/22.0×14.5

V-15

「苦楽（名探偵酒啞六先生）山名文夫」
1927頃/7.5×10.5（カットサイズ）

V-16

「クラク（名探偵酒啞六先生）山名文夫」
1927頃/22.0×14.5（1ページ）

V-17

「クラク」9月
不詳/19.1×12.1

V-18

「苦楽（表紙）」第5巻第6号 プラトン社
1926.6/21.8×15.0

V-25

「苦楽（表紙）＜道化＞」
1940.2/23.9×15.7

V-26

「宝石（ラピリンズ）城昌幸」
1947.5/19.0×6.8（カットサイズ）

V-27

「宝石（楯円の肖像画）エドガー・アラン・ポウ」第2巻第7号p.3
1947.7/12.0×6.0（カットサイズ）

V-28

「宝石（春妖記）氷川瓏」第2巻第9号p.38
1947.9/12.0×11.5（カットサイズ）

V-29

「宝石（蜥蜴の島）香山滋」第3巻第1号
p.26,30,31,50,51,55
1948.1/21.0×13.8（1ページ）

V-30

「宝石（パノラマ島綺譚1）江戸川乱歩」
第3巻第3号
1948.4/20.5×13.7

V-31

「宝石（パノラマ島綺譚2-6）江戸川乱歩」
第3巻第3号
1948.4/20.5×27.4

V-32

「別冊宝石（月ぞ悪魔）香山滋」第1巻第3号
1949.1/9.0×24.5

V-33

「宝石（モロソの桃後編2）香山滋」第4
巻第3号p.90,96,97
1949.3/21.0×42.0

V-34

「宝石（薔薇屋敷）黒沼健」第4巻第10号
p.19,25,29,35
1949.11/21.0×39.0

V-35

「宝石（扉絵）」第7巻第7号
1952.7/18.3×12.5

V-36

「別冊宝石（海鰻荘後日譚）香山滋」42号
p.146
1954.11/21.0×13.3

V-37

「宝石箱（表紙）」
1949.1/18.0×12.8

V-38

「サンデー毎日（堤と心中する男）野口健二」
p.94
1935.5/25.8×18.7

V-39

「新青年（ちよろ・まれ・くらさい）伏見晃」
1939.2/21.8×13.5

V-40

「（樹にもたれる）」
1927/14.5×9.2

V-41

「（スペードの星とリリアンさん）」
不詳/13.9×10.7

V-42

「扉絵」
不詳/14.0×9.2

V-43

「平凡社現代大衆文学全集7、小酒井不木集」
右p.282 左p.283
1928.3/18.8×25.0

V-44

「平凡社現代大衆文学全集35（或る朝）川
田功」右p.310 左p.311
1938.12/18.8×25.0（見開き）

V-45

- 「モダン日本（大部屋の紳士達）小林正」 p.23
p.12 1948.2/21.1×28.0（見開き） p.197 左p.203
1934.7/26.2×18.0 不詳/26.2×18.5（1ページ）
- V-46 V-58 V-70
「モダン日本（怪獣YUME）三橋一夫」右 p.24 左 「（見知らぬ夫人と仮寝の一夜）白河敏」
p.42 左p.45 p.31 右p.72 左p.76
1950.2/26.0×34.2（見開き） 1948/21.0×17.4 不詳/22.1×27.0（見開き）
- V-47 V-59 V-71
「海兵の精神」p.64 「仮面（美貌の果て）小熊二郎」右p.30 「ルビー（夢見るホテル）渡部啓助」右
不詳/21.1×14 左p.19 p.60 中p.63 左p.65
1948.2/26.1×34.2（見開き） 不詳/25.8×17.5（1ページ）
- V-48 V-60 V-72
「海洋航空」p.50 「美貌（婦人警官捕物帖第4話）城昌幸」 「（雲雀少女）吉行淳之介」右p.33 左p.38
不詳/21.3×14.0 右p.26 左p.29 不詳/21.0×28.0（見開き）
- V-49 V-61 V-73
「海の生物座談会」p.46 「ロマン春秋（獣人ゴーラ）香山滋」右 「（踊り子アパート）サトウハチロー」右
不詳/21.3×14.8 p.58 左p.63 p.112 左p.117
1948.12/18.1×24.8（見開き） 不詳/22.0×26.8（見開き）
- V-50 V-62 V-74
「探偵よみもの（断層顔）海野十三」右p.4 「鏡（赤き死の仮面）エドガ・アラン・ポウ」 「（女心を歌う）サトウハチロー」右p.38
中p.7 左p.11 不詳/25.8×36.4（見開き） 左p.39
1947.1/25.7×17.3（1ページ） 21.7×25.3（見開き）
- V-51 V-63 V-75
「探偵読物（表紙）」 「鏡（赤き死の仮面）エドガ・アラン・ポウ」 「（女と装飾品）サトウハチロー」右p.40
1948/26.1×18.2 不詳/25.8×36.4（見開き） 左p.41
1948/26.1×18.2 21.1×26.7（見開き）
- V-52 V-64 V-76
「大都会」 「月刊西日本（青磁の花瓶）興梠忠夫」右 「（女についての唄）サトウハチロー」右
1948.4/14.0×11.7（カットサイズ） p.21 左p.23 p.68 左p.69
1948.6/26.0×34.6（見開き） 21.6×26.0（見開き）
- V-53 V-65 V-77
「蜘蛛（少年検事）海野十三」創刊号 右 「新読物、扉」 「（ユーモア長編小説 新婚は広告気球の
p.27 中p.29 左p.32 1948.7/25.8×18.2（1ページ） やうに）小此木礼助」p.135
1948.7/25.8×18.2（1ページ） 26.0×17.0
- V-54 V-66 V-78
「旬刊ニュース（青白き裸女群像）橘外男」 「（希望、目次）」 「傳記、目次」
（第4回） 不詳5月/25.8×17.1 1948/21.0×13.8（1ページ）
1948/27.0×13.8（変形）
- V-55 V-67 V-79
「旬刊ニュース（青白き裸女群像）橘外男」 「（朝食）長谷川伸」 「（探偵映画について）津村秀夫」
（第5回） 不詳/18.5×11.4 不詳/17.0×5.2（カットサイズ）
1949/29.6×41.5
- V-56 V-68 V-80
「婦人朝日（鷹の井戸）片山廣子」 「東京（天使と悪魔）林房雄」右p.14 左 「大阪の三越（五月のお庭）」
1948.8/26.0×35.7 p.15 不詳/25.7×34.4（見開き） 不詳/25.7×18.7
- V-57 V-69 V-81
「ロック（月魄）那珂川透」右p.20 左 「神秘小説 姿見鏡の裏 清見白楊」右

「少女の友、目次絵」3月目次 4月目次 1947/20.6×13.3 (1ページ)	V-94 「レコード (扉絵)」第2巻第3号 1931.3/18.4×11.8	V-108 「火焰 (表紙) 161号」 1950.5/21.3×15.3
V-82 「赤トンボ (かみきり虫) のがみあきら」 右p.16 左p.17 1947-48/20.8×15.0 (1ページ)	V-95 「レコード (表紙)」第2巻第5号 1931.5/22.2×14.8	V-109 「火焰 (表紙) 163号」 1955.7/21.3×15.3
V-83 「赤トンボ (雪詩集) 百田宗治」右p.24 左p.25 1947-48/20.4×14.5 (1ページ)	V-96 「レコード (表紙)」第2巻第6号 1931.6/22.2×14.8	V-110 「火焰 (表紙) 168号」 1956.1/21.3×15.3
V-84 「赤トンボ (春のうた) 草野心平」右p.24 左p.25 1947-48/20.6×14.4 (1ページ)	V-97 「婦人公論 (表紙)」7月号 1930.7/22.2×15.1	V-111 「火焰 (表紙) 171号」 1956.4/21.3×15.3
V-85 「広告界 (ネオロココ派 創作帯陳列会) ポスター」 1929/26.1×17.6	V-98 「女性線 (表紙)」Vol.12 No.4 1947.1/21.2×15.0	V-112 「火焰 (表紙) 172号」 1956.5/21.3×15.3
V-86 「広告界 (コンパスの抒情)」 1930/25.6×17.8	V-99 「女性線 (表紙)」Vol.2 No.5 1947.11/21.2×15.0	V-113 「火焰 (表紙) 173号」 1956.7/21.3×15.3
V-87 「広告界 (ポスター)」 26.0×17.1	V-100 「女性線 (表紙)」Vol.3 No.5 1948/21.2×15.0	V-114 「火焰 (表紙) 178号」 1957.1/21.3×15.3
V-88 参考作品「作品」 1938	V-101 「女性線 (表紙)」Vol.3 No.9 1948/21.2×15.0	V-115 「火焰 (表紙) 183号」 1957.7/21.3×15.3
V-89 「レコード (表紙)」第1巻第3号 1930.11/22.2×14.8	V-102 「女性線 (表紙)」Vol.3 No.10 1948.1/21.2×15.0	V-116 「火焰 (表紙) 184号」 1957.8/21.3×15.3
V-90 「レコード (表紙)」第1巻第4号 1930.12/22.2×14.8	V-103 「女性線 (カット) <女流画家>三岸節子」 1946/1948/21.0×12.2	V-117 「火焰 (表紙) 186号」 1957.1/21.3×15.3
V-91 「レコード (表紙)」第2巻第1号 1931.1/22.2×14.8	V-104 「女性線 (カット) <環ニナッテ>江間明子」 1946/1948/21.0×27.2	V-118 「火焰 (表紙) 188号」 1957.12/21.3×15.3
V-92 「レコード (表紙)」第2巻第10号 1931.1/22.2×14.8	V-105 「女性線 (カット) <美しい想念>丸山薫」 1946/1948/20.8×26.8	V-119 「火焰 (表紙) 220号」 1960.12/21.3×15.3
V-93 「レコード (表紙)」第2巻第3号 1931.3/22.2×14.8	V-106 「レビュー時代 (表紙)」第1巻第1号 1931.5/22.2×14.8	V-120 「火焰 (表紙) 221号」 1961.1/21.3×15.3
	V-107 「火焰 (表紙) 160号」 1955.4/21.3×15.3	V-121 「火焰 (表紙) 224号」 1961.6/21.3×15.3

- V-122
「NIPPON No.1」
1934.10/37.5×26.5
- V-123
「NIPPON No.3」
1935.4/37.5×26.5
- V-124
「NIPPON No.5」
1935.11/37.5×26.5
- V-125
「NIPPON No.6」
1936.3/37.5×26.5
- V-126
「NIPPON No.8」
1936.8/37.5×26.5
- V-127
「NIPPON No.9」
1936.11/37.5×26.5
- V-128
「NIPPON No.12」
1937.7/37.5×26.5
- V-129
「NIPPON No.13」
1937.10/37.5×26.5
- V-130
参考図版
「NIPPON No.4」
1935.7/37.5×26.5/p.52
- V-131
「No.8 目次、資生堂広告」
1936.8/37.5×26.5
- V-132~V-134
「NIPPON No.9 p.12,13,18,19,24,25」
1936.11/37.5×26.5
- V-135
「美容婦人 (表紙)」
1933.12/26.0×18.5
- V-136
「アイデア (表紙)」 No.17
1956/30.2×21.7
- V-137
「花椿 (表紙)」
1938.1/26.3×19.1
- V-138
「花椿 (表紙) <春愁夢>」
1939.3/26.3×19.1
- V-139
「花椿 (表紙) <秋風>」
1939.1/26.3×19.1
- V-140
「ホームカレンダー (表紙)」
1931/19.0×13.0
- V-141
「新化粧 (表紙)」
1932/18.8×13.0
- VI 山名文夫・原画・習作等**
- VI-1
「チョコレート (口絵原画)」
墨/1917/17.8×14.2
- VI-2
「チョコレート (口絵原画)」
墨/1917/11.4×7.5
- VI-3
「チョコレート (口絵原画)」
水彩、墨/1918/13.2×12.8
- VI-4
「チョコレート (口絵原画)」
水彩、墨/1918/13.2×12.8
- VI-5
「チョコレート (口絵原画)」
1919/16.0×11.8
- VI-6
「女性 (扉絵原画)」
水彩、墨/1924-1925/20.7×13.7
- VI-7
「女性 (扉絵原画)」
水彩、墨/1925/21.6×15.2
- VI-8
「女性 (扉絵原画)」
水彩、墨/1926/23.8×15.3
- VI-9
「女性<ここちよき死>堀口大学 (挿画原画)」
水彩/1928/20.5×34.5
- VI-10
「挿画原画」
墨/1926/17.5×11.2
- VI-11
「苦楽 (表紙原画)」
水彩/1927.1/22.8×15.3
- VI-12
「苦楽 (表紙原画)」
水彩/1927.11/18.0×14.8
- VI-13
「苦楽 (表紙原画)」
水彩/1927.12/12.0×14.9
- VI-14
「苦楽 (表紙原画)」
水彩、墨/1928.1/22.0×15.0
- VI-15
「苦楽 (表紙原画)」
水彩/1928.2/22.2×15.0
- VI-16
「苦楽 (表紙原画)」
水彩/1928.3/18.8×15.0
- VI-17
「苦楽 (扉原画)」
水彩、墨/1927.1/20.0×13.0
- VI-18
「苦楽 (扉原画)」
水彩、墨/1927/19.0×22.0
- VI-19
「苦楽 (習作)」
不詳/19.5×13.0
- VI-20
「サンデー毎日<恋愛新風景> (挿画原画)」
水彩、墨/1930.1/27.2×19.0
- VI-21
「サンデー毎日<本牧娘仁義>北林透馬 (挿画原画)」
水彩、墨/1932/29.5×21.5
- VI-22
「挿画原画」
1928頃/14.0×9.5
- VI-23
「挿画原画」

- 1928頃／12.0×9.0
- VI-24
「挿画原画」
水彩／1928頃／13.0×12.8
- VI-25
「挿画原画」
水彩、墨／1928頃／14.7×8.5
- VI-26
「NIPPON（扉画原画）」
水彩／1934／36.2×19.0
- VI-27
「宝石＜海鰻叢樹奇譚＞香山滋（原画）」
水彩、墨／1947／27.2×19.0
- VI-28
「宝石＜海鰻叢樹奇譚＞香山滋（原画）」
水彩／1947／19.0×27.2
- VI-29
「宝石（扉絵原画）」
水彩、墨／1949／27.3×19.0
- VI-30
「宝石（扉絵原画）」
水彩／1949／25.0×17.7
- VI-31
「宝石（扉原画）」
水彩／1949.11／26.0×17.4
- VI-32
「宝石（扉原画）」
水彩／1949／27.2×19.0
- VI-33
「宝石（扉原画）」
水彩、墨／1950.8／20.0×24.0
- VI-34
「宝石（扉原画）」
水彩／1953.4／19.3×13.0
- VI-35
「宝石（扉絵原画）」
水彩／1953.5／19.3×13.0
- VI-36
「宝石（扉絵原画）」
水彩／1953.6／19.3×13.32
- VI-37
「宝石（扉絵原画）」
水彩／1953.7／19.3×13.2
- VI-38
「宝石（扉絵原画）」
水彩／1953.11／19.3×13.3
- VI-39
「宝石（扉絵原画）」
水彩、墨／1955.1／27.0×19.0
- VI-40
「挿画原画」
水彩／1946／24.5×23.0
- VI-41
「イラストレーション作品集（扉絵原画）」
水彩／1939／7.6×6.2（紙サイズ）
- VI-42
「東京（双炎）香山滋（原画）」
水彩／1948／35.5×27.2
- VI-43
「Petite Exposition d'Ayao II」
水彩／1939／19.8×15.5
- VI-44
「Petite Exposition d'Ayao IV」
水彩／1939／15.4×11.7
- VI-45
「唐草幻像（原画）」
水彩／1972-1973／20.5×12.5
- VI-46
「唐草幻像（原画）」
水彩／1972-1973／19.8×14.5
- VI-47
「唐草幻像（原画）」
水彩／1972-1973／19.0×13.7
- VI-48
「唐草幻像（原画）」
水彩／1972-1973／25.1×17.8
- VI-49
「プロフィール（原画）I」
水彩／1974／35.2×27.0
- VI-50
「プロフィール（原画）II」
水彩／1974／28.2×23.7
- VI-51
「プロフィール（原画）III」
水彩／1974／35.2×27.2
- VI-52
「プロフィール（原画）IV」
水彩／1975／35.4×26.4
- VI-53
「酒と酒場」
水彩、墨／1951-1970／35.0×27.0
- VI-54
「酒と酒場（習作）」
水彩／27.2×18.7
- VI-55
参考図版「酒と酒場（習作）」
水彩／不詳／154.0×109.2
- VI-56
参考図版「酒と酒場（習作）」
水彩／104.9×74.0
- VI-57
「寄席」
水彩／1952／35.3×27.3
- VI-58
「粧ひ（原画）」
水彩／1931／16.7×24.8
- VI-59
「粧ひ（原画）」
水彩／1932／19.0×14.0
- VI-60
「粧ひ（原画）」
水彩／1932／19.0×14.0
- VI-61
「粧ひ（原画）」
水彩／1932／19.0×13.0
- VI-62
「粧ひ（原画）」
水彩／1932／18.7×15.0
- VI-63
「資生堂石鹸（原画）」
水彩／1937／35.0×18.0
- VI-64
「資生堂化粧品（原画）」
水彩／1937／19.3×15.7

VI-65
「資生堂化粧品（原画）」
水彩／1938／18.0×16.0

VI-66
「花椿（表紙原画）」
水彩／1938／22.9×188.8

VI-67
「資生堂広告（原画）」
水彩／1938／16.0×11.4

VI-68
「作品」
水彩／1936／8.9×8.2

VI-69
「作品」
水彩／1936／5.5×5.5

VI-70
「作品」
水彩／1946／19.7×15.3

VI-71
「資生堂広告イラストレーション（原画）」
水彩／1950頃／24.3×51.2

VI-71-2
「資生堂化粧品」
1950頃／24.3×51.2

VI-72
「資生堂広告（原画）」
水彩／1959／14.5×21.5

VI-73
「資生堂広告イラストレーション（原画）」
水彩／1951／16.0×13.5

VI-74
「資生堂広告（原画）」
水彩、鉛筆／1957／17.5×19.0

VI-75
「資生堂広告イラストレーション（原画）」
水彩／1952／18.0×40.0

VI-76
「資生堂広告（原画）」
水彩／1953／19.5×13.3

VI-77
「花椿（表紙原画）」
水彩／1953／32.4×23.0

VI-78
「資生堂広告イラストレーション（原画）」
水彩／1954／20.8×28.0

VI-79
「資生堂広告（原画）」
水彩／1955／19.4×90.0

VI-80
「資生堂広告（原画）」
水彩／1958／24.0×24.4

VI-81
「資生堂化粧品（原画）」
水彩／1955頃／40.0×22.5

VI-82
「資生堂カレンダー（原画）」
水彩／1955.12.5／39.5×54.8

VI-83
「資生堂化粧品（原画）」
水彩／1955-70／28.3×24.5

VI-84
「資生堂広告（原画）」
水彩／1956／27.8×21.4

VI-85
「資生堂広告（原画）」
水彩、墨／1958年代／30.0×24.2

VI-86
「作品」
水彩、墨／1957／17.8×19.8

VI-87
「資生堂広告（原画）」
水彩、墨／1958／29.4×22.5

VI-88
「資生堂広告（原画）」
水彩／1961／26.8×19.0

VI-89
「資生堂広告（原画）」
水彩、墨／1951／18.3×23.0

VI-90
「資生堂広告（原画）」
水彩／1958／18.2×21.5

VI-91
「資生堂広告（原画）」
水彩／1960／30.0×39.5

VI-92
「資生堂広告（原画）」
水彩、墨／1959／35.4×26.0

VI-93
「資生堂広告（原画）」
水彩／1959／27.8×31.0

VI-94
「資生堂広告（原画）」
水彩、墨／1959／24.7×25.2

VI-95
「資生堂広告（原画）」
水彩／1958／20.0×23.7

VI-96
「資生堂広告イラストレーション（原画）」
水彩／1960／25.8×39.2

VI-97
「習作」
水彩／1960／26.4×18.5

VI-98
「資生堂広告（原画）」
水彩／1952／25.0×24.5

VI-99
「資生堂広告（原画）」
水彩、墨／1960／34.3×23.7

VI-100
「資生堂広告（原画）」
水彩／1960年代／27.4×22.2

VI-101
「習作」
水彩／1960／28.5×23.7

VI-102
「作品」
水彩、墨／1960-1970／22.5×20.5

VI-103
「資生堂広告（原画）」
水彩／1960／38.0×27.8

VI-104
「資生堂広告イラストレーション（原画）」
水彩／1970

VI-105
「資生堂創業百周年記念イラストレーション（原画）」

水彩／1972／25.4×17.6	「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-133 「習作」 水彩／1954／27.0×20.7
VI-106 「習作」(1953年の個展から) 水彩／1950／26.8×20.8	VI-120 「習作」 水彩／1950／27.0×20.7	VI-134 「習作」 水彩／1954-70／30.0×21.0
VI-107 「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-121 「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-135 「習作」 水彩／1955／33.4×24.0
VI-108 「習作」(1953年の個展から) 水彩／1950／26.8×20.8	VI-122 「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-136 「習作」 水彩／1962／26.4×19.0
VI-109 「習作」 水彩／1950／26.5×30.4	VI-123 「習作」 水彩／1950／26.8×20.8	VI-137 「習作」 水彩／1960-70／35.0×27.2
VI-110 「習作」(1953年の個展から) 水彩／1950／27.0×21.0	VI-124 「習作」(「山名文夫展1953年」) 水彩／1950／26.8×21.0	VI-138 「習作」 水彩／1962／24.5×19.0
VI-111 「習作」 水彩／1950／27.0×21.0	VI-125 「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-139 「習作」 水彩／1963／30.4×21.8
VI-112 「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-126 「習作」 水彩／1950／21.0×30.0	VI-140 「習作」 水彩／1963／35.0×27.0
VI-113 「習作」 鉛筆／1950／30.0×22.0	VI-127 「習作」 水彩／1950／26.8×20.5	VI-141 「習作」 水彩／1963-70／35.2×27.3
VI-114 「習作」 水彩／1950／27.0×20.7	VI-128 「習作」 水彩／1952／26.8×20.8	VI-142 「習作」 水彩／1965／30.8×21.8
VI-115 「習作」 水彩／1950／22.0×12.3	VI-129 「習作」(1953年の個展から) 水彩／1952／26.3×20.7	VI-143 「習作」 水彩／1970／35.0×27.0
VI-116 「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-130 「習作」(1953年の個展から) 水彩／1952／26.7×20.7	VI-144 「作品」 鉛筆／1972／25.2×18.0
VI-117 「習作」(1953年の個展から) 水彩／1950／27.0×20.5	VI-131 「習作」 水彩、鉛筆／1952頃／28.7×20.7	VI-145 「作品」 水彩／1980／27.0×19.0
VI-118 「習作」 水彩／1950／30.0×21.0	VI-132 「習作」 水彩／1953-54／30.0×21.0	VI-146 「Commercial Japan 扉絵(原画)」 水彩、墨／1936／34.7×25.0
VI-119		

VI-147
「広告界（イラストレーション原画）」
水彩／1939／16.8×13.0

VI-148
「Mannequin II（原画）」
水彩／1927／19.2×6.7

VI-149
「作品」
水彩／1930／21.8×14.6

VI-150
「習作」
水彩／1938

VI-151
「広告界（イラストレーション原画）」
水彩／1937／29.0×22.0

VI-152
「作品」
水彩／1939／19.7×15.2

VI-153
「習作」
水彩／1941頃／17.0×14.0

VI-154
「習作」
鉛筆／1951／27.5×19.8

VI-155
「作品」
鉛筆／1951／27.3×19.8

VI-156
「作品」
鉛筆・着色／1951／19.8×27.3

VI-157
「作品」
鉛筆／1952／27.5×19.8

VI-158
「習作」
鉛筆／不詳／22.8×22.0

VI-159
「作品」
水彩、墨／1928／24.2×15.2

VI-160
「作品」
水彩／26.4×19.0

VI-161
「作品」
水彩／1929／23.0×15.4

VI-162
「作品」
水彩／1929／23.2×17.0

VI-163
「作品」
水彩／1939／19.7×14.0

VI-164
「作品」
水彩／1959／23.4×17.9

VI-165
「作品」
水彩／1970／27.2×19.2

VI-166
「作品」
水彩／1970／26.7×19.0

VI-167
「作品」
水彩／1970／33.0×26.8

VI-168
「作品」
水彩／1970／26.7×24.0

VI-169
「作品」
水彩／1938頃／8.8×7.5

VI-170
「作品」
水彩／1938頃／15.0×13.7

VI-171
「作品」
水彩／1947／15.8×11.0

VI-172
「作品」
水彩／1947／15.8×11.0

VI-173
「作品」
水彩／1947／27.0×19.0

VI-174
「作品」
水彩／1950頃／19.2×13.8

VI-175
「作品」
トレーシングペーパー、水彩／1953／
30.0×21.0

VI-176
「作品」
水彩／1954／19.2×28.0

VI-177
「作品」
水彩、墨／1958／2.5×17.8

VI-178
「作品」
水彩／1938頃／15.6×10.03

VI-179
「作品」
水彩／不詳／17.3×28.8

VI-180
「作品」
水彩、墨／1934頃／18.3×11.7

VI-181
「イタリアの少女画家パメラ・ピアンコを
たたえて」
水彩／1939頃／24.5×15.3

VI-182
「作品」
水彩、墨／1950-70／35.4×27.2

VI-183
「作品」
水彩／1952／14.8×18.6

VI-184
「作品」
水彩／1928／24.0×18.5

VI-185
「習作」
水彩、鉛筆／1928／27.8×21.5

VI-186
「習作」
水彩／1928／27.8×21.5

VI-187
「習作」
水彩／1928／24.2×20.4

VI-188

- 「習作」
水彩／1928／27.8×19.0
- VI-189
「作品」
水彩／1929／24.7×18.5
- VI-190
「作品」
水彩、墨／1929／25.0×17.5
- VI-191
「作品」
水彩／1929／24.0×19.5
- VI-192
「作品」
水彩／1929／28.0×19.0
- VI-193
「習作」
水彩、鉛筆／1930／2.2×17.0
- VI-194
「習作」
水彩、鉛筆／1930／18.0×15.0
- VI-195
「習作」
水彩、鉛筆／1933／29.7×23.2
- VI-196
「習作」
水彩／1938／21.0×16.5
- VI-197
「作品」
水彩／1939／6.5×8.6
- VI-198
「習作」
水彩／1958／27.5×20.0
- VI-199
「作品」
水彩／1960／26.8×19.0
- VI-200
「作品」
水彩、墨／1960／36.0×26.7
- VI-201
「作品」
水彩／1960-70／35.0×27.2
- VI-202
「作品」
水彩、墨／1927／9.5×7.3
- VI-203
「作品」
水彩、墨／1928／9.8×10.0
- VI-204
「作品」
水彩／1928／21.5×7.8
- VI-205
「作品」
水彩／1938頃／19.8×15.4
- VI-206
「作品」
水彩、墨／1959／26.5×18.4
- VI-207
「作品」
水彩、鉛筆／不詳／19.0×27.7
- VI-208
「作品」
水彩／不詳／10.7×7.3
- VI-209
「作品」
水彩／不詳／10.7×5.7
- VI-210
「作品」
水彩／不詳／6.4×14.7
- VI-211
「広告原画」
水彩／不詳／5.4×8.0
- VI-212
「作品」
水彩／不詳／12.0×18.3
- VI-213
「作品」
水彩／不詳／8.8×8.0
- VI-214
「広告原画」
水彩／不詳／8.5×12.0
- VI-215
「広告原画」
水彩／不詳／5.8×8.0（変形）
- VI-216
「広告原画」
水彩／不詳／6.2×5.2
- VI-217
「広告原画」
水彩／不詳／5.0×5.5（変形）
- VI-218
「作品」
水彩／不詳／6.0×5.5
- VI-219
「作品」
水彩、墨／不詳／5.0×4.8（変形）
- VI-220
「作品」（年賀葉書イラストレーション）
水彩／1934／27.0×19.0
- VI-221
「作品」（クリスマスカードイラストレーション）
水彩／1936／10.0×12.0
- VI-222
「作品」（年賀はがき）
水彩／1957／23.2×18.2
- VI-223
「作品」（年賀はがきのためのイラストレーション）
水彩／1958／16.3×18.5
- VI-224
「作品」
水彩／1958／18.0×（12.5×2）2つ折
- VI-225
「作品」（年賀はがき）
水彩／1971／27.2×19.2
- VI-226
「作品」（年賀葉書イラストレーション）
鉛筆／1972／33.0×23.5
- VI-227
「作品」（自画像）
水彩／不詳／18.0×13.0
- VI-228
「作品」（蔵書票）
水彩／不詳／16.5×11.4
- VI-229

「作品」 (<新潮文庫>シンボル)
水彩／不詳／27.2×19.0

VI-230
「作品」 (資生堂ゾート化粧品マーク習作)
水彩／1928／14.5×9.0

VI-231
「燭台 (表紙原画)」
水彩、墨／1928／30.0×22.0

VI-232
「作品」 (「女性のカット」)
インク、鉛筆／1928／24.2×20.4

VI-233
「作品」 (詩誌のための表紙)
水彩／1928／24.7×15.5

VI-234
「装幀本<千夜一夜> (原画)」
水彩／1930／29.8×25.2

VI-235
「作品」
水彩／1937／23.5×19.0

VI-236
「習作」 株券デザイン
鉛筆、水彩／1940／20.5×28.5

VI-237
「習作」 (唐草模様化粧品箱デザイン・ドル
ックス粉白粉)
水彩／1951／22.0×15.7

VI-238
「習作」 (「イラストレーション作品集」扉絵)
水彩／不詳／36.4×26.0

VI-239
「女の顔 (習作)」
鉛筆、着彩／不詳／13.0×13.0

VI-240
「男の顔 (習作)」
不詳／10.4×7.2

VI-241
「夢声漫談 (習作)」
不詳／9.1×7.0

VI-242
「夢声漫談 (原画)」
水彩、墨／不詳／9.0×5.3

VI-243
「挿画 (習作) Osokunatta」
不詳／10.8×11.5

VI-244
「挿画 (習作) Miyamani」
不詳／13.7×16.7 (変形)

VI-245
「山名文夫著<名探偵酒呷六先生>挿画
(習作)」
不詳／12.5×17

VI-246
「挿画 (習作) 男と船」
不詳／8.3×11.1

VI-247
「挿画原画 (マリーローランサン)」
水彩／不詳／9.0×7.0

VI-248
「挿画原画 花のぼうし」
水彩／不詳／18.4×18.4

VI-249
「カレンダー原画」
水彩／1948／30.5×23.9

VI-250
「スタイルブック1」
水彩／不詳／28.6×19.0

VI-251
「スタイルブック2」
水彩／不詳／30.2×21.4

VI-252
「女性と被服 (表紙原画)」
水彩／26.1×18.2

VI-253
「新聞広告作品集マケット」
水彩／1963／30.3×51.8 (見開き)

VI-254
「習作」
鉛筆／不詳／32.2×26.7

VI-259
「習作」
鉛筆／不詳／33.6×23.4

VI-260
「習作」

鉛筆／不詳／33.6×23.5

VI-261
「習作」
水彩／不詳／29.7×21.0

VI-262
「習作」
水彩、鉛筆／不詳／26.0×18.6

Ⅶ 山名文夫・新聞広告

Ⅶ-1
資生堂新聞広告 (香水)
校正刷／1937／18.3×18.8

Ⅶ-2
資生堂新聞広告 (香水)
校正刷／1938／20.2×21.7

Ⅶ-3
資生堂新聞広告 (アルモンドミルク)
校正刷／1938／19.8×22.0

Ⅶ-4
資生堂新聞広告 (バニシングクリーム)
校正刷／1938／12.7×12.7

Ⅶ-5
資生堂新聞広告 (クリーム)
校正刷／1950／23.0×18.5

Ⅶ-6
資生堂新聞広告 (コールドクリーム)
校正刷／1950／26.8×18.2

Ⅶ-7
資生堂新聞広告 (ドルックス化粧品)
校正刷／1951／16.8×24.5

Ⅶ-8
資生堂新聞広告 (コールドクリーム)
校正刷／1952／22.8×15.0

Ⅶ-9
資生堂新聞広告 (香水)
校正刷／1953／23.4×24.7

Ⅶ-10
資生堂新聞広告 (コールドクリーム)
校正刷／1953／23.0×25.7

Ⅶ-11
資生堂新聞広告 (コールドクリーム)
校正刷／1954／23.0×25.0

- VII-12
 資生堂新聞広告（香水）
 校正刷／1954／15.8×45.3
- VII-13
 資生堂新聞広告（コールドクリーム）
 校正刷／1955／23.0×24.8
- VII-14
 資生堂新聞広告（ドルックス化粧品）
 校正刷／1955／23.2×25.0
- VII-15
 資生堂新聞広告（コールドクリーム）
 校正刷／1955／30.0×24.8
- VII-16
 資生堂新聞広告（コールドクリーム）
 校正刷／1955／24.2×16.0
- VII-17
 資生堂新聞広告（香水）
 校正刷／1955／23.0×24.5
- VII-18
 資生堂新聞広告（香水）
 校正刷／1956／23.4×25.0
- VII-19
 資生堂新聞広告（ドルックス化粧品）
 校正刷／1956／30.2×24.8
- VII-20
 資生堂新聞広告（ドルックス化粧品）
 校正刷／1957／30.3×44.6
- VII-21
 資生堂新聞広告（ドルックスコールドク
 リーム）
 校正刷／1957／30.0×44.2
- VII-22
 資生堂新聞広告（ドルックスコールドク
 リーム）
 校正刷／1957／23.2×24.8
- VII-23
 資生堂新聞広告（ドルックス化粧品）
 校正刷／1958／30.2×25.0
- VII-24
 資生堂新聞広告（ドルックス乳液）
 校正刷／1958／23.4×24.8
- VII-25
 資生堂新聞広告（ドルックス化粧品）
 校正刷／1958／23.4×24.8
- VII-26
 資生堂新聞広告（ドルックス乳液）
 校正刷／1958／23.0×24.8
- VII-27
 資生堂新聞広告（オードルックス）
 校正刷／1958／30.0×24.8
- VII-28
 資生堂新聞広告（オードルックス）
 校正刷／1958／23.1×24.3
- VII-29
 資生堂新聞広告（香水）
 校正刷／1958／23.0×24.8
- VII-30
 資生堂新聞広告（ドルックス乳液）
 校正刷／1958／16.4×44.0
- VII-31
 資生堂新聞広告（オードルックス）
 校正刷／1959／23.3×25.0
- VII-32
 資生堂新聞広告（ドルックスコールドク
 リーム）
 校正刷／1959／30.2×25.0
- VII-33
 資生堂新聞広告（オードルックス）
 校正刷／1959／30.0×25.0
- VII-34
 資生堂新聞広告（アストリンゼント）
 校正刷／1959／23.0×29.7
- VII-35
 資生堂新聞広告（ドルックス化粧品）
 校正刷／1959／30.0×44.0
- VII-36
 資生堂新聞広告（オードルックス）
 校正刷／1960／23.2×24.7
- VII-37
 資生堂新聞広告（オードルックス）
 校正刷／1960／30.4×25.2
- VII-38
 資生堂新聞広告（香水）
 校正刷／1960／23.2×43.2
- VII-39
 資生堂新聞広告（カーマインローション）
 校正刷／1960／30.2×24.7
- VII-40
 資生堂新聞広告（香水）
 校正刷／1960／30.4×24.8
- VII-41
 資生堂新聞広告（ドルックスレーデボーテ）
 校正刷／1960／30.0×24.8
- VII-42
 資生堂新聞広告（ドルックスコールドク
 リーム）
 校正刷／1961／0.7×25.2
- VII-43
 資生堂新聞広告（ドルックスレーデボーテ）
 校正刷／1961／30.7×25.4
- VII-44
 資生堂創業100年記念新聞広告（全15段）
 校正刷／1972／59.8×43.5
- VII-45
 資生堂新聞広告
 「私の美人像シリーズ 少年の私を引き込
 んでしまったピアズリーの妖しさ」
 校正刷／1979／44.0×11.5
- VIII 山名文夫・ポスター**
- VIII-1
 「酒と酒場」（第1回日本宣伝美術展）
 水彩／1951／144.0×103.0
- VIII-2
 「寄席（ミス・マリコマリコ レインコー
 トの踊り）」（第2回日本宣伝美術展）
 水彩／1952／144.0×103.0
- VIII-3
 「世界は一つ」（第5回日本宣伝美術展）
 水彩／1955／102.6×72.0
- VIII-4
 「核武装反対」（部分）（第10回日本宣伝美
 術展）
 水彩／1960／102.7×72.2
- VIII-5
 「東南アジア映画祭」
 水彩／1954／102.7×72.2
- VIII-6

「航空は人間の夢」 鉛筆／1940-1945／59.5×89.6	VIII-20 「第二次大戦関連ポスター」 1940/1945／72.0×51.0	参考図版「資生堂ドルックス化粧品パッケージ」
VIII-7 「Vamico-Cream」 鉛筆／不詳／65.9×49.0	VIII-21 「第二次大戦関連ポスター」 1940/1945／72.7×51.4	IX-8-1～8 「資生堂ドルックス化粧品パッケージ（習作原画）」 鉛筆／1932頃
VIII-8 「野村の投資信託（習作）」 水彩／不詳／26.5×18.5	VIII-22 「第二次大戦関連ポスター」 1940/1945／72.4×51.1	IX-8-1 ドルックス粉白粉キャップ意匠 19.0×16.5
VIII-9 参考図版「舞踏公演（マリコ・マリコ舞踏作品発表会）」（第1回日本宣伝美術展） 水彩／1957	VIII-23 「第二次大戦関連ポスター」 1940/1945／51.4×72.1	IX-8-2 ドルックス粉白粉容器 24.8×17.6
VIII-10 参考図版「化粧品（資生堂）」 水彩／1957	VIII-24 「第二次大戦関連ポスター」 1940/1945／42.6×59.4	IX-8-3 粉白粉容器 24.8×17.6
VIII-11 参考図版「オリーブ石鹸」 水彩／1958	VIII-25 参考図版「引揚者ニ衣類ヲ」 1945	IX-8-4 ドルックス粉白粉容器 24.8×17.6
VIII-12 参考図版「出版（おんな）」 水彩／1959	IX 山名文夫・パッケージ	IX-8-5 ドルックス粉白粉容器 24.8×17.6
VIII-13 「NIPPON」 1934／34.5×26.5	IX-1 「資生堂モダンカラー粉白粉」 1932／φ6.5×3.3	IX-8-6 ドルックス粉白粉容器 20.4×15.6
VIII-14 「東京広告美術家倶楽部第一回展覧会」 1935／53.8×38.5	IX-2 「資生堂ドルックス粉白粉」 1951／φ6.5×3.0	IX-8-7 クリーム、化粧水・水白粉、口紅 24.8×17.6
VIII-15 「コルゲンコーワ」 不詳／52.9×37.4	IX-3 「資生堂ドルックスコールドクリーム」 1951／φ7.0×4.5	IX-8-8 粉白粉容器 24.8×18.1
VIII-16 「電気通信記念日」 1952／72.5×51.5	IX-4 「資生堂プリアールクレンジング」 1961／φ8.0×4.0	IX-9 「紀ノ国屋、ショッピングバッグ」 1974／35.6×35.0×11.5
VIII-17 「白鳥の湖」 1958／72.3×51.1	IX-5 「資生堂プリアール香水」 1962.6／8.0×10×3.5	IX-10 「紀ノ国屋、ショッピングバッグ」 1974／35×40×16.5
VIII-18 「個展」 1935／37.0×52.3	IX-6 「資生堂ドルックスパニシング」 1973／φ7.0×4.5	IX-11 「紀ノ国屋、フルーツ用段ボール箱」 1974／32.9×22.0×21.0
VIII-19 「第二次大戦関連ポスター」 1940/1945／72.2×51.4	IX-7 「資生堂ドルックス粉白粉」 1951／8.5×8.5×3.5	IX-12 「紀ノ国屋、包装紙」 1974／35.4×77.6
	IX-8	

IX-13 「紀ノ国屋、包装紙」 1963/38.8×54	X-12 「日本宣伝美術会マーク」 1961	X-26 「数字 習作」 水彩/不詳/29.8×21.1
IX-14 「紀ノ国屋メルシャンワイン、ラベル (原画)」 1973頃/720ml瓶	X-13 「資生堂ドルックス化粧品、シンボルパターン」 1951	X-27 「漢字 版下」 水彩/不詳/17.4×24.8
IX-15 「紀ノ国屋メルシャンワイン、ラベル」 1973頃/720ml瓶	X-14 「資生堂プリオール化粧品、シンボルパターン」 1961	X-28 「アルファベット 習作」 水彩/不詳/27.5×19.7
IX-16 「紀ノ国屋メルシャンワイン、ラベル」 1973頃/12.0×10.5	X-15 「新潮文庫、シンボルマーク」 1950	X-29 「幻影唐草 習作」 水彩/不詳/25.0×17.6
X 山名文夫・ロゴ、文字	X-16 「平凡、ロゴタイプ」 不明	XI 山名文夫・油彩等
X-1~3 ロゴタイプ・レタリング (教材) 3点 不詳/51.0×38.6 (各シート)	X-17 「紀ノ国屋、ロゴタイプ」 1968	XI-1 「女・上半身」 油彩/1924/73.0×60.8
X-4 「しむほしおん社マーク」 1929	X-18 「苦楽ロゴ版下」 水彩/不詳/14.9×17.8	XI-2 「少女上半身」 木炭/不詳/97.7×146.1
X-5 「中央公論社版<千夜一夜>見出し」 1930	X-19 「Nippon、挿画版下」 水彩/不詳/22.8×30.1	XI-3 「少女全身」 油彩/不詳/72.8×60.5
X-6 「ブルーバード、資生堂ゾートス化粧品、 シンボルパターンとロゴタイプ」 1940	X-20 「婦人春秋、版下」 水彩、鉛筆/不詳/30.0×21.2	XI-4 「カップと本 (小)」 油彩/1924/33.2×45.5
X-7 「鐘紡ロゴタイプ」 1934	X-21 「漢字 習作」 水彩/不詳/30.1×21.2	XI-5 「カップと本 (大)」 油彩/不詳/45.5×53.0
X-8 「日本工房ロゴタイプ」 1930年代	X-22 「カタカナ 習作」 水彩/不詳/58.9×39.4	XI-6 「写真立てと本」 油彩/1925/60.5×72.7
X-9 「宣伝会議ロゴタイプ」 不詳	X-23 「ひらがな 習作」 水彩/不詳/17.0×15.5	XI-7 「静物 (カップと本)」 油彩/不詳/72.0×61.0
X-10 「資生堂ブラバス化粧品、ロゴタイプ」 1969	X-24 「漢字 版下」 水彩/不詳/19.8×27.4	XI-8 「私達がリーザと呼んでいた薔薇の女」 (第2回主情派美術展) 油彩/1929/73.0×61.0
X-11 「日本宣伝美術会、印、試作」 1951	X-25 「漢字 習作」 水彩/不詳/29.7×21.1	XI-9 「金髪的女性」 油彩/1930/65.0×53.0

XI -10
「横たわる女性」
油彩／1930／61.0×72.7

XI -11
「赤縞の服」
油彩／不詳／33.0×24.0

XI -12
参考図版「風景」(No X I -11の裏面)
油彩／不詳／24.0×33.0

XI -13
参考図版「裸婦」
油彩／1936／91.0×60.5

XI -14
参考図版「女性横顔」
油彩／1932頃／56.5×49.0

XII 山名文夫・デッサン

XII -1
「スケッチブック (OMORI SANNO
Dec.18,34)」
鉛筆／1934／18.6×24.8

XII -2
「スケッチブック (at Uehommachi march
8-24,1923)」
鉛筆／1923／15.0×21.8

XII -3
「スケッチブック (Ja no.20-28,34)」
鉛筆／1934／28.6×24.5

XII -4
「酒家 november 23」
鉛筆／1919／12×15.8

XII -5
「酒席瑞興居、支那街にて DEC V」
鉛筆／1919／12×15.8

XII -6
「DEC 11」
鉛筆／1919／12×15.7

XII -7
「支那街にて、DEC V」
鉛筆／1919／12×15.7

XII -8
「dec 25,1919」
鉛筆／1919／12×15.7

XII -9
「AT KOBE 11AUG 19」
鉛筆／1919／14.4×21.1

XII -10
「釋王寺不貳門八月二十五日」
鉛筆／1919／14.1×21.1

XII -11
「december 6」
鉛筆／1919／12×15.6

XII -12
「DECEMBER 11」
鉛筆／1919／12.1×15.7

XII -13
「元山支那街或る料理店 DEC V 1919」
鉛筆／1919／12.0×15.7

XII -14
「DEC 21」
鉛筆／1919／12×15.7

XII -15
「December,5th 1919 at the Chinese
Street in Ganzan」
鉛筆／1919／12.1×15.8

XII -16
「aftera snow Dec 31」
鉛筆／1919／14.3×21.3

XII -17
「The winter field Decenber 13th」
鉛筆／1919／14.2×21.2

XII -18
「女性横顔」
鉛筆／不詳／17.8×19.9

XII -19
「眠る猫」
鉛筆／不詳／30.2×21.4

XII -20
「女性 7/14 '47 ayao」
鉛筆／1947／36.4×25.8

XII -21
「横座りの女性 7/14 '47 ayao」
鉛筆／1947／25.8×36.4

XII -22
「女性 7/14 '47 ayao」

鉛筆／1947／25.8×36.4

XII -23
「トルソ、ayao 1950」
鉛筆／1950／36.8×24.2

XII -24
「椅子の上の猫」
鉛筆／不詳／35.7×25.4

XII -25
「あくびする猫」
鉛筆／不詳／30.8×19.5

XII -26
「女性の顔」
鉛筆／不詳／30.5×22

XII -27
「布を被る女性の顔」
鉛筆／不詳／27.8×19.9

XIII 山名文夫・詩、日記

XIII -1
「涙痕」
不詳

XIII -2
「いろは唄抄」
不詳

XIII -3
「緑衣」
1927

XIII -4
「ふるさとの町をうたう」
不詳

XIII -5
「母をみとりて」
不詳

XIII -6
「春雨哀慕」
不詳

XIII -7
「春秋抄」
不詳

XIII -8
「恋愛春夏秋冬」
不詳

XIII-9
「夢」
不詳

XIII-10
「ブラックアンドホワイト」
不詳

XIII-11
「情妖抄」
不詳

XIII-12
「ブルメンフェルドの女体」
不詳

XIII-13
「1920年の日記より」
不詳

XV 山名文夫のその他の作品資料

XV-1
「写真壁画（習作）」
1939／各28.0×21.0

XV-2
Nippon Kobo「レターヘッド」
28.2×21.7

XV-3
Nippon Kobo「レターヘッド」
28.2×21.7

XV-4
「うちわ（絵）」
1932／36.1×19.8

XV 山名文夫以外の作家作品

XV-1
「ガゼット・デュ・ボン・トン第3号 プ
レートNo.29 ジョルジュ・ルパーズ画」
ポショワール版画／1914.3／24.5×19.2

XV-2
「ガゼット・デュ・ボン・トン第5号 プ
レートNo.40 ジョルジュ・バルビエ画」
ポショワール版画／1921.5／23.9×19.0

XV-3
「ガゼット・デュ・ボン・トン第9号P.284
P.285」
1913.7／24.4×19.0

XV-4
「ガゼット・デュ・ボン・トン第10号 プ
レートNo.III」
ポショワール版画／1913.7／24.5×19.3

XV-5
「ガゼット・デュ・ボン・トン第10号 プ
レートNo.IV」
ポショワール版画／1913.8／24.5×19.3

XV-6
「ガゼット・デュ・ボン・トン第10号 プ
レートNo.77 アンドレ・マルティ画」
ポショワール版画／1922.12／23.8×18.5

XV-7
「ガゼット・デュ・ボン・トン第11号表紙」
ポショワール版画／1913.9／25.0×19.5

XV-8
「ガゼット・デュ・ボン・トン第11号 プ
レートNo.V ジョルジュ・ルパーズ画」
ポショワール版画／1913.9／24.9×19.3

XV-9
「ガゼット・デュ・ボン・トン第11号 プ
レートNo.VI」
ポショワール版画／1913.9／24.9×19.3

XV-10
「ガゼット・デュ・ボン・トン第11号 プ
レートNo.VIII」
ポショワール版画／1913.9／24.9×19.3

XV-11
「ガゼット・デュ・ボン・トン第12号 プ
レートNo.III」
ポショワール版画／1913.10／24.5×19.3

XV-12
ユリウス・クリンガー
参考図版「ラ・ジョエラ（踊り子）」
リトグラフ／1912／p.120

XV-13
参考出品「ガゼット・デュ・ボン・トン
第11号 プレートNo.IX」
ポショワール版画／1913.9／24.9×19.3

XV-14
「ガゼット・デュ・ボン・トン第12号 プ
レートNo.II」
ポショワール版画／1913.10／24.5×19.3

XVI 写真、資料

XVI-1
「ニューヨーク・サンフランシスコ万国博
覧会出品写真壁画、パンフレット」
1939

XVI-2
「ニューヨーク・サンフランシスコ万国博
覧会出品写真壁画、日米修交の部 写真
壁画（部分）」
1939

XVI-3
「ニューヨーク・サンフランシスコ万国博
覧会出品写真壁画、蚕糸の部 写真壁画
（部分）」
1939

XVI-4
「ニューヨーク・サンフランシスコ万国博
覧会出品写真壁画、会場風景」
1939

XVI-5
「ニューヨーク・サンフランシスコ万国博
覧会出品写真壁画、会場の山名文夫」
1939

XVI-6
「青旗社展覧会図録 1921年」
1921／17.0×13.0

XVI-7
「青旗社展覧会図録 1922年」
1922.11／19.3×13.0

XVI-8
「青旗社展覧会図録 1925年」
1925／18.5×13.2

XVI-9-1～10
「主情派美術展覧会 第1回目録」
1928／17.6×13.2

XVI-10
「主情派美術展覧会 第2回目録」
1929／27.0×39.0

XVI-11-1～2
「Yamana Ayao個展 目録」
（昭和28年10月10-14日 東京・銀座・資生
堂企業資料館ギャラリー 大阪会場11月4-
7日 淀屋橋 トツパンセールズ2階）
1953.10／18.2×26.2

XVI-12-1~2

「Yamana Ayaoを語る（デザイン生活30
年記念）（商業デザイナー山名文夫をねぎ
らう会）」

1953.1/20.6×29.0

XVI-13-1~3

「装画展（わが女たちの肖像）」

（1970年7月13-18日・資生堂ギャラリー）

1970.7/16.5×11.6

XVI-14

「装画集発売案内パンフレット

（MCMXXIII MCMLIII）」

（Yamana-Ayao装画集発売の案内）

1953/18.2×26.2

めぐろの子どもたち展

平成10年度目黒区立幼稚園、
小・中学校連合展覧会

会期：1999（平成11）年1月16日～1月31日（14日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ 区民ギャラリー

主催：目黒区美術館、目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立心身障害学級設置校長会、目黒区教育会、目黒区教育委員会

担当学芸員：館長 福永重樹

同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展、中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展

本展は、目黒区立の幼稚園・小学校・中学校（心身障害学級を含む）の幼児・児童・生徒が平成10年度に授業中に創作した作品を展示し、区立学校における美術教育の成果を区民の方々に紹介するとともに、この観賞を介して子どもたちの情操を陶冶することを目的に開催した。

また、同時期に区民ギャラリーにて、北京市崇文区の児童・生徒書画作品展、米国ジョージア州チェロキー郡の児童・生徒絵画展も開催した。

●リーフレット

寸法：A3（縦長四つ折）

内容：ごあいさつ（主催者）／幼稚園／中国北京市崇文区児童・生徒書画作品展／米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画展／心身障害学級／小学校・園工／小学校・書写／中学校・美術／中学校・書写／展示案内

●ポスター

サイズ：B3

●出品数：3653点

（内訳…幼稚園：137点、小学校：1820点、中学校：985点、身障学級：581点、米国：50点、中国：80点）



B3ポスター

目黒区のアート・ブック1998

会期：前期 1999（平成11）年2月13日～2月21日（8日間）

後期 1999（平成11）年2月25日～3月7日（10日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー エントランスホール ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：正木 基

目黒区に在住・在勤の美術家・書家の方々が、1998年1年間に制作され、発表された作品で構成。前期に油彩・水彩・版画・日本画約100点、後期に書・工芸・彫刻約70点を出品いただき、目黒区に関する美術家・書家の方々が、それぞれの分野で活躍されている成果を紹介した。

関連催事：講演会《「書体と調和」考》

●出品目録

サイズ：A4

ページ数：16 ページ

内容：ごあいさつ／出品リスト

●ポスター

サイズ：B3

●チラシ

サイズ：B5

●案内葉書

出品作家名列記



B3ポスター



会場風景



会場風景

出品リスト

No.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
●油彩					
1	相原 吉夫	朝陽	油彩/キャンバス	額装 90.9×116.7 (F50)	アトリエ展 (1998.8.1~8.20) 目黒区青葉台1-17-2
2	青木 邦子	希望の丘	油彩/キャンバス	額装 140.0×170.0 (F100)	第51回示現会展 (1998.4.6~1998.4.21) 東京都美術館
3	青山 光治	海胆を売る夫婦	油彩/キャンバス	額装 79.5×98.0 (F30)	都展 (1998.12.3~12.9) 東京都美術館
4	青山 孝	宙の華	油彩/キャンバス	額装 162.0×162.0	独立展 (1998.10.16~10.30) 東京都美術館
5	赤穴 桂子	さまよう詩心	油彩/キャンバス	額装 97.0×145.5	赤穴宏・桂子二人展 (1998.6.5~6.10) 新潟県長岡大和デパート
6	赤穴 宏	薄明かりの中へ	油彩/キャンバス	額装 130.0×130.0	第62回新制作展 (1998.9.18~10.3) 東京都美術館
7	浅見 千恵子	まどろみ	油彩・コラージュ/ キャンバス 額装	194.0×164.0	第94回太平洋展 (1997.5.20~) 東京都美術館
8	渥美 澄子	想	油彩/キャンバス	額装 146.2×113.7	示現会展 (1998.4.6~4.21) 東京都美術館
9	天野 政雄	新宿午後六時	油彩/キャンバス	額装 162.0×130.3	第70周年記念新構造展 (1998.6.12~6.22) 東京都美術館
10	一柳 幸	アンコール・トム南大門	油彩/キャンバス	額装 131.0×194.0	新日美展 (1997.12.10~12.16) 東京都美術館
11	井上 早枝子	室内	油彩/キャンバス	額装 162.0×112.5 (P100)	個展 (1998.10.25~10.30) 自由が丘もみの木画廊
12	井上 慎	4500年の回帰	油彩/キャンバス	額装 113.0×161.0 (F100)	杜人展 (1998.10.12~10.18) 東京銀座画廊美術館
13	上間 尚子	望郷 (沖組)	油彩/キャンバス	額装 130.3×162.0 (F100)	第12回日洋展 (1998.6.27~7.6) 上野の森美術館
14	牛込 眞智子	旅の空から	油彩/キャンバス	額装 162.1×130.3 (F100)	新芸術展 (1998.11.25~12.1) 東京都美術館
15	内田 千代子	relation-C c	アクリル・ミクストメディア /木製パネル その他	193.9×162.1	第72回国展 (1998.4.23~5.31) 東京都美術館
16	越後 瑤子	午後	油彩/キャンバス その他	108.0×148.0	第70周年記念新構造展 (1998.6.12~6.22) 東京都美術館
17	太田 冬美	小舟	アクリル絵具/キャンバス 額装	112.0×162.0	太田冬美洋画展 (1998.6.16~6.21) 日本橋三越本展6F特選 画廊
18	大塚 莊治	爛漫	油彩/キャンバス	額装 116.8×91.0	太平洋美術展 東京都美術館
19	大淵 繁樹	長崎港夜景	油彩/キャンバス	額装 162.0×130.3	日展 (1998.11.2~11.24) 東京都美術館
20	岡田 美年子	ショウウィンドウに釘づけ	油彩/キャンバス	額装 148.0×112.0	旺玄展 (1998.5) 東京都美術館
21	小河 美智子	静物 (カサブランカ)	油彩/キャンバス	額装 129.0×92.0	第74回白日会展 (1998.3.26~4.4) 東京都美術館
22	荻野 藤枝	月彩	油彩/キャンバス	額装 130.3×162.1	日輝展 (1998.12.10~12.16) 東京都美術館
23	長部 朝子	春	油彩/キャンバス	額装 90.9×116.7 (F50)	
24	小野 のり子	花	油彩/キャンバス	額装 130.3×97.0	東光会展 (1998.4.21~5.7) 東京都美術館
25	香取 栄次郎	駒沢通り遊歩	油彩/キャンバス	額装 116.8×91.0	新構造展 (1998.6.12~6.22) 東京都美術館
26	河内 光	人・人	油彩/銅板 額装	162.0×194.0	第62回新制作展 (1998.9.18~10.3) 東京都美術館
27	桑川 清	埴輪	油彩/キャンバス	額装 130.3×162.1 (F100)	第60回記念一水会展 (1998.9.18~10.3) 東京都美術館
28	小園 ケイ子	いのちの樹-MYSTERE-23	油彩/麻キャンバス	額装 116.7×90.9	日仏現代美術博 (1998.8.8~8.10) パシフィコ横浜
29	小堀 幸子	月夜	油彩/キャンバス	額装 116.7×90.9	第33回一期会展 (1998.8.20~8.30) 東京都美術館
30	後藤 秀雄	愁韻	油彩/キャンバス	額装 130.3×97.0 (F60)	現創展 (1998.12.10~12.16) 東京都美術館
31	斎藤 勤也	像	油彩/キャンバス	額装 162.1×130.3 (F100)	自由美術協会展 (1998.10.15~10.31) 東京都美術館
32	佐藤 徳一	五月のエミリア	油彩/キャンバス	額装 149.0×180.0	第36回全展 (1997.8.20~8.30) 東京都美術館
33	佐野 美喜男	渚	油彩/板 額装	97.0×130.3	
34	佐野 雪枝	晩夏	油彩/キャンバス	額装 160.1×130.3	一織展 (1998.10.3~10.15) 東京都美術館
35	澤野 水纓	緋色の中に	油彩/キャンバス	額装 127.0×152.5	花のペール個展 (1998.5.14~7.12) 国立女性芸術美術館 (ワシントンD.C.)
36	柴野 純子	終焉・そして始まりの刻	油彩/キャンバス	額装 162.2×162.2	東京二紀展 (1998.5.18~5.24) 池袋芸術劇場
37	柴原 雪	木蘭船	油彩/キャンバス	額装 145.5×112.1	第一回現代女流美術展 (1998.11.20~12.4) 上野の森美術館
38	進藤 幹弘	松韻	油彩/キャンバス	額装 162.2×130.3	示現会展 (1998.4.6~4.21) 東京都美術館
39	菅野 利彦	どうぞ ベティ・ブープへ	油彩/キャンバス	額装 74.8×108.0	目黒美術家協会展 (1998.5.19~5.24) 目黒区美術館区民 ギャラリー
40	杉山 栄吉	廃屋	油彩/キャンバス	額装 162.1×130.3 (F100)	一水会展 (1998.9.18~10.3) 東京都美術館
41	瀬川 智貴	天龍 I	油彩/キャンバス	額装 130.3×162.0	第3回「天竜川」絵画公募展 (1998.11.10~11.29) 天竜市立 秋野不矩美術館
42	瀬谷 貴久枝	p l a y	油彩/キャンバス	額装 162.0×162.0	女流画家協会展 (1997.5.21~5.30) 東京都美術館
43	芹澤 恭子	おまつり	油彩/キャンバス	額装 110.0×90.0	第67回朔日会展 (1998.5.9~5.19) 東京都美術館
44	染谷 栄里	一の倉沢初冬	油彩/キャンバス	額装 162.0×194.0	
45	高山 彩花	秋	油彩/キャンバス	額装 116.7×90.9	現代洋画展 (1998.6.4~6.7) ほんきん西武
46	田口 正子	ラ・メールシリーズより(その25)	油彩/キャンバス	額装 162.0×130.5	二科展 (1998.9.1~9.16) 東京都美術館
47	種房 ひさ子	華	油彩/キャンバス	額装 160.0×132.0	日展 (1998.11.2~11.25) 東京都美術館
48	田村 由利子	出漁	油彩/キャンバス	額装 151.0×180.0	一創会展 (1998.1.31~2.5) 東京都美術館

No.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
49	大聖寺 宏	太陽の楽園	油彩/キャンバス 額装	100.0×80.3	第18回彩玄展 (1998年.11.1~11.7) 東京交通会館 2 F ギャラリー (有楽町)
50	都竹 伸政	パリの娘	油彩/キャンバス 額装	60.0×45.0	
51	戸田 芳江	田園譜	油彩・ミクストメディア/板 額装	110.0×90.0	
52	土肥 朗	帰巢	油彩/キャンバス 額装	181.1×150.3(額サイズ)	第30回日展 (1998.11.2~11.24) 東京都美術館
53	中井 幸一	レクイエム	アクリル/キャンバス 額装	100.0×218.4	モダンアート協会展 (1998.4.6~4.23) 東京都美術館
54	中村 邦子	グラナダの時を越えて	油彩/キャンバス 額装	90.0×111.0 (F50)	五人展 (1998.8.18~8.23) 三興画廊
55	梨谷 昭	裸婦	油彩/キャンバス 額装	130.3×162.1	光陽会展 (1998.5.9~5.19) 東京都美術館
56	成井 弘	ラブラタ河畔	油彩/キャンバス 額装	80.3×116.7	第51回二紀展 (1997.10.16~10.31) 東京都美術館
57	西 大記	迷路	アクリル/キャンバス 額装	162.0×162.0	個展 (1998.11.26~12.1) ギャラリームサン
58	西川 加耶子	サモワールと	油彩/キャンバス 額装	97.0×130.3	第74回白日展 (1998.3.26~4.4) 東京都美術館
59	入海 佐世子	Nostalgia	油彩/キャンバス 額装	165.0×135.0	第70周年記念新構造展 (1998.6.13~6.22) 東京都美術館
60	芳賀 力	林の中の散歩	油彩/キャンバス 額装	130.3×97.0	無花果展 (1998.10.1~10.7) アムティギャラリー
61	橋本 百合子	馬と女人	油彩/キャンバス 額装	112.1×145.5	
62	長谷川 政子	緑蔭	油彩/キャンバス 額装	112.1×145.5	第50回記念立軌展 (1998.2.10~2.22) 東京セントラル美術館
63	原 正明	秋のライン河畔	油彩/キャンバス 額装	127.0×96.0	
64	張替 秀起	愉快な仲間たち	油彩/キャンバス 額装	132.0×164.0	新構造展 (1998.6.12~6.22) 東京都美術館
65	平松 譲	わたつみの譜	油彩/キャンバス 額装	112.1×145.5 (F80)	第74回白日展 (1998.3.26~4.4) 東京都美術館
66	深谷 堯子	イスタンブールの街角で	油彩/キャンバス 額装	162.1×130.3	都展 (1998.12.3~12.9) 東京都美術館
67	福島 義通	むき出しの沈黙の切れ目	油彩/キャンバス 額装 (仮)	162.0×193.0	第38回蒼騎展 (1998.10.5~10.14) 東京都美術館
68	前田 さなみ	見透せぬ窓	アクリル・油彩/キャンバス 額装	162.0×130.0	第52回女流画家協会展 (1998.5.21~5.30) 東京都美術館
69	町田 厚子	エギナ島の教会	アクリル/キャンバス 額装	31.8×40.9	
70	松永 茂樹	花畑の見える風景	油彩/キャンバス 額装	112.1×145.5 (F80)	二紀展 (1998.10.16~10.31) 東京都美術館
71	丸毛 利久	ロッカ・マジョーレ	油彩/キャンバス 額装	158.0×123.0 (F80)	第94回太平洋美術展 (1998.5.20~5.30) 東京都美術館
72	宮坂 栄一	爽	油彩/キャンバス 額装	130.3×89.5	第25回季風会展 (1998.4.14~4.19) ロイヤルサロンギンザ
73	村上 弥生	リサイクル	油彩/キャンバス 額装	145.5×112.1	第34回都展 (1998.12.3~12.9) 東京都美術館
74	森田 万樹	風の軌跡	油彩/キャンバス 仮縁	162.1×130.3	モダンアート展 (1998.4.6~4.21) 東京都美術館
75	柳瀬 俊泰	an annual affair-small affair	油彩/キャンバス 額装 (仮)	130.3×194.0 (F120)	第12回委員による春の日洋展 (1998.4.7~4.12) 東京セントラル美術館
76	山内 恵美子	織りなすもの'98	油彩/キャンバス 額装なし	162.0×162.0	第52回女流画家協会展 (1998.5.21~5.30) 東京都美術館
77	山中 真貴子	Annunciazione-受胎告知1998	油彩/キャンバス 額装	193.9×259.1	新制作展 (1998.9.18~10.3) 東京都美術館
78	山本 道子	アトリエの女たち	油彩/キャンバス 額装	162.0×130.3	日洋会展 (1998.6.24~6.29) 東京都美術館
79	若松 芳明	洋酒	油彩/キャンバス 額装	72.7×91.0	個展 (1998.11.2~11.27) さくら銀行洗足支店ロビー
●水彩					
80	秋本 不二春	アムステルダムの運河	水彩/紙 額装	57.0×70.0	成美会 (1998.10.8~10.15) 京橋レイ画廊
81	板津 陽子	猫	水彩/紙 額装	97.0×130.0 (F60)	近代日本美術協会 (1998.11.25~12.1) 東京都美術館
82	水谷 仁美	風に躍る	水彩/紙 額装	136.0×136.0	第57回水彩連盟展 (1998.3.26~4.4) 東京都美術館
83	宮本 和也	太陽のめぐみ-生きるもの	ペン・インク/ワトソン紙 額装	70.0×100.0(額材S)	目黒区美術家協会展 (1998.5.19~5.24) 目黒区民ギャラリー
84	安田 清一	疏水アーチ	水彩/紙 額装	97.0×130.0	第38回蒼騎展 (1998.10.5~10.14) 東京都美術館
●版画					
85	赤穴 桂子	ボードレール 黒線	エッチング/紙 額装 (追悼出品/1983年)	40.0×29.9	赤穴 宏・桂子二人展 (1998.6.5~6.10) 新潟県長岡大和 デパート
86	大野 妙美	花の神	エッチング/紙 額装	150.0×120.0	日本版画協会 (1998.4.6~4.22) 東京都美術館
87	長 はるこ	B-cushion-4	NEKO/ネパールロケラ紙 額装	91.0×117.0 (F50)	個展 (1998.11.23~11.28) 銀座モリスギャラリー
88	土屋 正男	喜鬼痴狂	和楽用型紙による糊版版画 (合羽版) 楮紙 額装	84.0×49.0	第48回板院展 (1998.6.11~6.22) 東京都美術館
89	船坂 芳助	My Space and My Dimension -M237	木版/シルクスクリーン /紙 額装	59.0×56.0	日本版画協会展 (1998.4.6~4.21) 東京都美術館
●日本画					
90	元藤 郁子	ただよう	シルクスクリーン/紙 額装	60.0×90.0	自由美術協会展 (1998.10.16~10.31) 東京都美術館
91	赤井 春水	ピエロの人形	紙本彩色 額装	100.0×80.3	遊々会 (1998.11.30~12.5) 銀座ギャラリー花の木

No.	作家名	作品名	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴
92	荒井 華秋	白杵の石仏	紙本墨彩 額装	130.3×162.0	第38回日本南画院展 (1998.3.14~3.24) 東京都美術館
93	岩田 染華	山湖	紙本墨彩 額装	130.3×97.0 (F60)	日本水墨院展 (1998.7.17~7.21) 朝日生命ギャラリー
94	岩本 美代子	青い景	アクリル・岩絵具 キャンバス 額装	162.1×162.1	日本画院展 (1998.5.8~5.19) 東京都美術館
95	加々路 伸子	黄葉	和紙/ボード 額装	98.0×78.0	パピルスグループ展 (1997.9.30~10.5) 三興画廊
96	澤井 白陽	明けゆく黄山	紙本墨彩 額装	130.3×194.0	第37回日本南画院展 (1997.3.14~3.24) 東京都美術館
97	菅田 渡	春の石橋	紙本彩色 額装	194.0×130.3 (F120)	第45回新美術協会展 (1998.6.1~6.10) 東京都美術館
98	杉浦 千秋	花	紙本彩色 額装	53.0×45.5	
99	橘 熙子	時の行方	紙本墨彩 額装	145.5×97.0 (P80)	
100	田中 玉紅	喜久桜 (菊桜)	純金泊絹本 額装	73.0×90.0 (額サイズ)	カトリック美術展、精華会展 (1998.5.1~5.6 1998.5.25~5.30) 有楽町朝日ギャラリー-東銀座ギャラリー・アムティ
101	土屋 あづみ	木影	紙本着彩 額装	145.5×145.5	第34回都展 (1998.12.3~12.9) 東京都美術館
102	中島 善子	白いマフラ	紙本着彩 額装	163.0×130.0	第34回都展 (1998.12.3~12.9) 東京都美術館
103	西村 和子	盛夏	紙本着彩 額装	145.5×112.1	第34回都展 (1998.12.3~12.9) 東京都美術館
104	羽田 愛子	花菖蒲	紙本着彩 額装	92.5×64.5 (額サイズ)	
105	山井 梅代	晩夏	紙本着彩 額装	90.9×65.1	
106	横溝 由貴	陽だまり	紙本着彩 額装	80.3×100.0 (F40)	女流画家展 (1998.2.26~3.3) 日本橋高島屋
107	吉田 米子	峻	和紙/パネル 額装	98.0×78.0 (額サイズ)	パピルスグループ展 (1997.9.30~10.5) 京橋三興画廊
●彫刻					
108	ミノ アケタ	Chicksophone Alto F NO.19981	ブロンズ 額装	43.0×13.0×30.0	
109	阿部 昌義	Forever-永遠の想い	石膏 額装	165.0×80.0×50.0	第83回二科展 (1998.9.1~9.16) 東京都美術館
110	小林 達也	あいま	黒御影石 額装	47.0×47.0×20.0	一陽会東京支部展 (1998.7.17~7.19) 東京芸術劇場展示 ギャラリー
111	竹村 よし子	芽ばえ	ブロンズ・セラミックス	85.0×38.0×38.0	
112	二ノ宮 裕子	旅の途中	ブロンズ 額装	165.0×120.0×95.0	第83回二科展 (1998.9.1~9.16) 東京都美術館
●工芸					
113	平山 隆也	Kの胸像	大理石 額装	65.0×45.0×25.0	日美彫刻研究会展 (1998.6.16~6.20) MSBサロンギンザ ギャラリー
114	雨山 智子	TABA 0 5.0 6	染織・捺染布/木製 パネル パネル仕様	180.0×60.0×2点	素材を追って-繊維によるこころみ' 98 (1998.6.9~6.14) 世田谷美術館区民ギャラリー
115	有賀 則子	MY COLLECTION Cotton (染色)	額装	105.0×73.0	リボン・アラ・カルト-有賀則子と染色グループ展 (1998.11.5~11.11) 銀座松坂屋美術画廊
116	井高 帰山	黄玉磁壺 (1.250℃)	飛鳥井黄 壺	35.0×35.0	個展 (1998.2.18~2.23) 小田急新宿本店工芸サロン
117	今井 慶子	海に遊ぶ	七宝 七宝焼	84.0×46.0	勤労者美術展 (1998.12.3~12.9) 東京都美術館
118	加藤 清	一字金輪仏	紙/はり画 額装	110.0×75.0	
119	加藤 秀峰	草原	染織 衣桁	170.0×170.0	
120	加藤 秀佳	茜色の夕日	染織 衣桁	170.0×160.0	
121	桑原 静香	淡き花	石塑粘土 立体	25.0×30.0×25.0	美術人形天会展 (1998.10.29~11.3) 銀座松坂屋画廊
122	小山 弘治	紅彩薔薇文壺	白磁 陶芸	27.0×26.0×26.0	小山弘治作陶展 (1998.5.12~5.17) 新宿三越南館
123	玉井 豊	THE FIRST STEP	照明スタンド (ゴム積層ベース金属ジャバラ管等)	35.0×10.0×27.0 (2台)	オゾンクラフトフェスティバル (1998.5.3~5.5) 床置きオゾンリビングセンター
124	中村 清	夢ときめき	桐木彫・布貼り・胡粉 ・仕上彩色 台	29.0×10.0×8.0	新構造展 (1998.6.12~6.22) 東京都美術館
125	野瀬 富士子	天使になった男	パート・ド・ヴェール (ガラス) 花器	38.2×28.3×27.3	野瀬富士子パート・ド・ヴェールの器展 (1998.5.13~6.2) 新宿高島屋8F美遊房
126	松平 由紀子	ジュエリー・ネックレス	ステンレス・シルバー K18 額装	①15②15③15④15⑤15× 8.5×1⑥7×1	胸もとを飾る展 (1998.7.22~7.29) ギャラリーおかりや
127	村田 知子	ブローチ11点	銀 額装	①~③4φ ④~⑥4×4 ⑦ ~⑨5×3 ⑩6φ ⑪6.5×4	胸もとを飾る展・クラフト展 (1998.22~7.29) ギャラリーおかりや・銀座松屋
128	安河内 敦子	プレアデス45シリーズ	ガラス・金属/壁画・ 壁面造形パネル パネル	45.5×45.5×2.0 (4枚組み)	MARVELOUS MINIATURES (1998.12.10~12.24) U.S.A. N.Y. CORTLAND JESSUP GALLERY
129	横澤 雅子	野の花「萩」	銅板打出・銀七宝 額装	28.0×28.0	秋のおもてなし展 (1998.10.27~11.2) 日本橋三越本店

No.	作家名	作品名	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴
●書					
130	青木 瑞苑	寒香解夜醉	篆刻 額装	39.5×30.5	毎日書道展 (1998.7.14~7.17) 東京都美術館
131	天野 白陽	自作短歌	額装	240.0×90.0	瑞雲書道展 (1998.7.1~7.6) 東京都美術館
132	飯島 華窓	小林一茶の句	軸装	167.0×47.0	'98日書画代表作家展 (1998.5.14~5.19) 銀座松坂屋カトレヤサロン
133	飯田 玲菊	静中見得天機妙 閑裏回觀路難	軸装	60.0×240.0	毎日書道展 (1998.7.8~7.17) 東京都美術館
134	池田 少雲	玉臺觀 (杜甫詩)	額装	240.0×60.0	毎日書道展 (1998.7.14~) 東京都美術館
135	石田 久絃	地の棘	額装	121.0×91.0	第50回毎日書道展 (1998.7.8~7.12) 東京都美術館
136	石部 菁鳳	平家物語	額装	173.0×171.0	同文展 (1998.6.24~6.29) 東京都美術館
137	宇田 漢香	夕焼け雲	額装	175.0×60.2	読売書法展 (1998.8.13~8.19) 東京都美術館
138	内田 達唱	蝸牛	額装	95.0×57.0	
139	江澤 遠雲	賓客主恭	額装	54.0×38.5	読売書法展 (1998.8.13~8.19) 池袋サンシャインシティ文化会館
140	大野 調子	あかねさす	額装	60.0×180.0	
141	大場 菁流	秋二題 額	額装	70.0×182.0	書道同文会展 (1998.6.24~6.29) 東京都美術館
142	荻須 耕陽	漢詩 (七言二句)	篆刻 額装	123.0×46.0	日本書道院選抜展 (第15回) (1998.4.28~5.3) 鳩居堂画廊
143	小野 桂甫	萩の原	軸装	200.0×43.0	独立書神奈川支部展 (1998.8.13~8.19) 神奈川市民ギャラリー
144	影山 房子	託馬野	額装	242.0×61.0	毎日書道展 (1998.7.8~7.17) 東京都美術館
145	金子 恭子	うの花	額装	240.0×60.0	日展 (1998.11.2~11.24) 東京都美術館
146	河村 和子	高山波	額装	3.0×95.0	第16回東雲会書展 (1998.1.20~1.25) 鳩居堂画廊
147	北島 菁丘	夢殿	額装	182.0×182.0	神奈川県美術展 (1998.5.7~5.12) 神奈川県美術館
148	木下 聖湖	冬枯れて	額装	180.0×60.0	毎日展 (1998.7.8~7.17) 東京都美術館
149	栗田 扇永	董其昌 木晦於根	小楷扇 額装	175.0×93.5	扇永書法研究会'98展 (1998.12.8~12.10) 扇永書法研究所
150	佐々木 恵美	夕寒き	額装	240.0×60.0	独立書展 (1998.1.11~1.19) 東京都美術館
151	佐藤 克巳	求則得之	額装	39.0×30.0	第15回読売書法展 (1998.8.13~8.19) 池袋サンシャインシティ文化会館
152	佐藤 鳴鳳	箱根の山	軸装	148.0×63.0	日本書道教育学会展 (1998.1.4~1.10) 東京都美術館
153	首藤 佳泉	面壁九年	額装	180.0×60.0	第34回創玄展 (1998.3.8~3.13) 東京国際フォーラム
154	鈴木 翠石	鏡起詩 (闕下贈裴舎人)	軸装	300.0×60.0	日本書道院展 (1998.6.24~6.29) 東京都美術館
155	鈴木 般山	飲酒全其神・醉仙	篆刻/石印材 額装	39.0×30.0	第30回日展 (1998.11.2~11.24) 東京都美術館
156	銭場 英子	はるすぎて なつきにけらし	額 額装	60.0×180.0	毎日書道展 (1998.7.8~7.17) 東京都美術館
157	高橋 華舟	教育漢字楷書千字以上	額装	95.0×186.0	産経国際書会 (1998.7.25~7.30) 池袋サンシャイン文化会館4F
158	田中 赤城	漢字五言句	軸装	197.0×50.5	北城書道展 (1998.6.6~6.12) 上野の森美術館
159	田中 葉玉	春	軸装	136.0×35.0	
160	田淵 観齋	梅雪	額装	69.5×135.0	日書画展 (1998.11.26~12.1) 東京都美術館
161	田淵 祥玉	登岳陽樓	額装	225.0×53.0	日書画展 (1998.11.26~12.1) 東京都美術館
162	丹治 思郷	養拙	額装	173.0×70.0	個展 (1998.9.17~9.30) ETIENNE DE CAUSANS PARIS(コロン画廊)
163	續木 湖山	寒梅發	額装	300.0×90.0	第34回創玄展 (1998.3.7~3.12) 東京都美術館
164	鶴岡 雪湖	野艾抽花碧 山茄帶葉紅	額装	182.0×61.0	毎日書道展 (1998.7.14~7.17) 東京都美術館
165	中野 徹	七言絶句	額装	167.0×47.0	慶山会展 (1998.8.28~9.1) 銀座松坂屋別館カトレヤサロン
166	中山 紅雪	菜根譚より	軸装	198.0×45.5	晨風会展 (1998.4.2~4.5) 桜木町おおシティゴールデンギャラリー
167	野田 春華	祇園精舎	額装	85.0×39.0	華心会 (1997.4.18-4.22) かねまつホール
168	服部 虚舟	慧雲旦衆	篆刻/石 篆刻 (軸装)	21.0×5.3	全日本篆刻連盟上海展 (1998.10.9~10.15) 中国上海美術館
169	林 達溪	雪の宴	額装	45.5×166.7	
170	林 典子	木がくれで	額装	60.0×180.0	毎日書道展 (1998.7.8~7.12) 東京都美術館
171	深澤 芝仙	臨 粘葉木倭漢朗詠集 "春"	卷子本	30.0×300.0	東京国際書展 (1998.1.11~1.17) 東京都美術館
172	堀田 小葉	夏麻ひく	額装	60.0×180.0	毎日書道展 (1998.7.8~7.12) 東京都美術館
173	持田 春翠	花 (吉原幸子の詩)	額装	90.0×70.0	現代の詩歌 - 近代詩文書作家協会25周年記念 (1998.6.2~6.7) 東京セントラル美術館
174	森田 菁堂	四季の香	額装	173.0×171.0	同文展 (1998.6.24~6.29) 東京都美術館
175	矢口 扇朱	游少林寺	額装	180.0×53.0	毎日書道展 (1998.7.14~7.17) 東京都美術館
176	山崎 方石	瀧心去欲	篆刻 石	53.0×38.0	日展 (1998.11.2~11.24) 東京都美術館
177	山田 春華	桜・萩 (萬葉集)	軸装	156.0×60.0	北城書社展 (1998.6.6~6.12) 上野の森美術館
178	吉田 清翠	五言句	額装	270.0×53.0	第47回日本書道展 (1998.6.24~6.29) 東京都美術館
179	米本 光露	秋桜子俳句	額装	180.0×60.0	創玄現代書展 (1998.11.3~11.8) 東京セントラル
180	渡辺 三代子	万葉のうた	屏風	147.5×122.0	三余会かな書展 (1998.1.28~1.31) 上野の森美術館
181	和田 司周	妙法蓮華経法師品第十	軸 軸装	232.5×100.0	第20回日本書展 (1998.7.29~8.4) 東京都美術館

所蔵作品展 目黒流美術の楽しみ方

会期：1999（平成11）年3月13日～4月11日（26日間）

会場：展示室A B C 展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：家村珠代、佐川夕子

これまで、テーマによっては、当館の所蔵作品に限定することなく、外部から積極的に作品を借用し、所蔵作品の位置づけを明らかにすることが、当館の所蔵作品展のひとつのありかたであった。

第12回を迎える本展は、あえて所蔵作品だけで、次の二つを柱とし開催した。

ひとつは、準備室時代の昭和58年から平成9年度までの15年間に、他の美術館あるいは機関に貸出しの多かった作品、いわば目黒区美術館における人気作品を紹介した。そしてもうひとつは、貸出し回数は多くはないものの、デッサンや版画さらには板絵、ガラス絵、パステル画などいままでも展覧会にあまり出品されてこなかった小品を中心に、目黒区美術館ならではの作品を展示し、作品収集の成果を問うた。

●ポスター

サイズ：B2

●チラシ

サイズ：A3

●主要関連記事

・常設展がおもしろい 不景気な時こそ活躍 館藏品であれこれ工夫 日本経済新聞 1999年3月30日（夕刊）



B2ポスター

会場風景



会場風景



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
<第一部>					
1	飯田善國	戦争A-鎮魂歌-思い出す人々	1955年	油彩・キャンバス・コラージュ	162.7×130.0
2	飯田善國	戦争B-文明の没落	1955年	油彩・キャンバス・コラージュ	162.7×130.0
3	海老原喜之助	蹄	1936年	油彩・キャンバス	111.2×144.7
4	岡鹿之助	信号台	1926年	油彩・キャンバス	45.7×53.2
5	岡本唐貴	先端にたつ女三態	1930年	水彩・紙	26.0×19.6
6	岡本唐貴	都会	1930年	水彩・紙	27.9×21.2
7	鹿子木孟郎	自画像	1894年	油彩・紙	32.0×24.0
8	鹿子木孟郎	アブニューオッシュ	1916～17年	油彩・キャンバス	50.1×61.0
9	川村清雄	水差し	1875年	鉛筆・紙	29.5×48.0
10	北川民次	女	1935年	油彩・パーティクルボード	61.9×45.7
11	草間彌生	鏡の部屋-愛は永遠にNo.3	1964年	布, 綿, 塗料, 木, 鏡, 電球他	75.0×75.0×170.0
12	国吉康雄	風景	1918年	油彩・キャンバス	48.6×58.7
13	国吉康雄	風景	1929年	油彩・キャンバス	50.8×76.5
14	児島善三郎	窓からの風景	1925～28年	油彩・キャンバス	60.6×45.5
15	児島善三郎	丘の見える村	1925～28年	油彩・キャンバス	60.6×72.5
16	児島善三郎	フランス風景	1927年	油彩・キャンバス	65.3×80.4
17	坂田一男	浴室の二人の女	1928年	油彩・キャンバス	100.1×81.0
18	里見勝蔵	雪景	1925年頃	油彩・キャンバス	65.4×80.6
19	里見勝蔵	女	1930年	油彩・キャンバス	80.3×116.7
20	清水登之	肉屋	1926年	油彩・キャンバス	80.0×65.2
21	鈴木良三	クラマールの寺院	1931年	油彩・キャンバス	80.5×65.0
22	須山計一	自画像	1926年	油彩・キャンバス	50.3×41.0
23	須山計一	素描 御用学者・御用芸術家・反動学生	1928年	インク・水彩・紙	35.2×45.2
24	須山計一	素描 暴力団・軍資金	1928年	インク・水彩・紙	36.2×46.4
25	須山計一	自画像	1942年	油彩・キャンバス	41.0×32.0
26	高島達四郎	少年青帽	1927年	油彩・キャンバス	116.9×72.9
27	高島達四郎	食卓	1927年	油彩・キャンバス	80.9×99.8
28	田中保	金髪の裸婦	1920～30年頃	油彩・キャンバス	88.5×91.2
29	中村義夫	ブルターニュの女	1921～26年頃	油彩・キャンバス	146.2×97.0
30	野田英夫	車中の少女	1932年	油彩・パーティクルボード	37.4×35.4
31	三上誠	作品	1964年頃	木・顔料	151.6×151.3
32	安井曾太郎	パリの公園	1911年1	油彩・キャンバス	33.2×41.0
33	矢橋六郎	ボン・サン・ミッシェル	1931年	油彩・キャンバス	80.4×100.0
34	矢橋六郎	アルルカン	1933年	油彩・キャンバス 油彩・キャンバス	92.2×65.5
<第二部>					
35	浅野弥衛	無題	1966年	油彩・キャンバス	72.7×90.9
36	浅野弥衛	無題	1967年	油彩・キャンバス	72.0×90.5
37	小作青史	「バリエーション A」(25点)	1974年	リトグラフ・紙	40.0×36.8
38	柄沢斎	「肖像シリーズ」より アルブレヒト・デューラー	1981年	木口木版・紙	15.1×10.1
39	柄沢斎	「肖像シリーズ」より ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト	1981年	木口木版・紙	6.7×11.5
40	柄沢斎	「肖像シリーズ」より アルチュール・ランボー	1982年	木口木版・紙	19.5×14.6
41	柄沢斎	「肖像シリーズ」より ヨハン・セバスチャン・バッハ	1983年	木口木版・紙	16.8×13.0
42	柄沢斎	「肖像シリーズ」より フランツ・カフカ	1983年	木口木版・紙	18.3×13.4
43	柄沢斎	「肖像シリーズ」より マルセル・ブルースト	1983年	木口木版・紙	10.0×15.1
44	柄沢斎	「肖像シリーズ」より マティアス・グリューネヴァルト	1983年	木口木版・紙	9.9×16.9
45	柄沢斎	「肖像シリーズ」より ルカス・クラナツハ	1983年	木口木版・紙	19.9×13.1
46	柄沢斎	「肖像シリーズ」より 上田秋成	1983年	木口木版・紙	25.0×12.3
47	柄沢斎	「肖像シリーズ」より エドガー・アラン・ポー	1983年	木口木版・紙	22.0×6.2
48	柄沢斎	「肖像シリーズ」より シャルル・ボードレール	1983年	木口木版・紙	17.5×16.0
49	柄沢斎	「肖像シリーズ」より ジェームス・アンソール	1983年	木口木版・紙	16.6×11.3
50	川村清雄	幼児石膏習作	1873～81年頃	コンテ・紙	12.0×11.8
51	川村清雄	裸体習作	1873～81年頃	コンテ・紙	23.9×31.9

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
52	川村清雄	裸体習作	1873~81年頃	コンテ・紙	31.5×23.5
53	木下晋	シロ 1	1988年	鉛筆・ケント紙	50.0×99.8
54	木下晋	無-I	1992年	鉛筆・ケント紙	165.0×99.5
55	木下晋	無-II	1992年	鉛筆・ケント紙	165.0×99.5
56	木下晋	無-III	1992年	鉛筆・ケント紙	165.0×99.5
57	木下晋	旅立ち	1992年	鉛筆・ケント紙	190.0×100.0
58	清原啓子	鳥の目レンズ	1978年	エッチング・アクアチント・紙	32.7×44.4
59	清原啓子	リチャード・ダッドに	1978年	紙	36.9×28.8
60	清原啓子	Dの頭文字	1980年	エッチング・紙	49.9×39.9
61	清原啓子	雨期の後	1980年	エッチング・紙	53.1×41.5
62	清原啓子	後日譚	1980年	エッチング・紙	51.5×42.0
63	清原啓子	領土	1981年	エッチング・紙	49.1×40.7
64	清原啓子	魔都霧譚	1986年	エッチング・紙	47.9×30.9
65	清原啓子	孤島	1987年	エッチング・紙	36.3×34.2
66	国吉康雄	足をつかむ右向きの裸婦	1916~18年	エッチング・紙	7.6×10.2
67	国吉康雄	ベッドに横たわる裸婦	1916~18年	エッチング・紙	7.5×10.0
68	国吉康雄	抱き合う男と女	1916~18年	エッチング・紙	7.6×10.1
69	国吉康雄	一人が眠っている二人の裸婦	1916~18年	エッチング・紙	7.6×10.1
70	国吉康雄	パイプとテーブルのそばの抱擁	1916~18年	ドライポイント・紙	10.1×7.6
71	澤部清五郎	素描・スケッチブック他		ドライポイント・紙	
72	澤部清五郎	習作 (16点)	1911~13年	木炭, 水彩, 鉛筆他・紙	
73	高島野十郎	百合とヴァイオリン	大正時代頃	油彩・キャンバス	41.1×53.2
74	高島野十郎	牡丹花	大正時代頃	油彩・キャンバス	53.3×45.8
75	高松次郎	写真の写真 (45点)	1973~91年	写真・紙	45.5×55.7
76	武内鶴之助	風景 (10点)	1908~12年	パステル・紙	11.5×18.5~33.1×45.4
77	武内鶴之助	ガラス絵	1908~12年	油彩・ガラス	9.1×11.8
78	武内鶴之助	ガラス絵	1908~12年	油彩・ガラス	12.0×16.5
79	名井萬亀	素描 (5点)	1950~51年	鉛筆・紙	40.5×29.2
80	村上友晴	「Psalm 1.」	1979年	ドライポイント・紙	30.5×24.5
81	村上友晴	無題	1984年	油彩、アクリル・キャンバス	59.0×47.2
82	安原喜明	器花挿・種子の旅	1967年	陶器	径36.0×高30.0
83	安原喜明	器線彫文花生	1980年	陶器	径31.0×高27.0
84	安原喜明	器多口瓶花挿	制作年不詳	陶器	径20.0×高41.5
85	山本鼎	フランス風景	1913年頃	エッチング・紙	18.0×13.0
86	矢橋六郎	風景 コルシカ島にて-1	1930~31年	油彩・板	16.0×22.0
87	矢橋六郎	風景 コルシカ島にて-2	1930~31年	油彩・板	15.8×22.0
88	矢橋六郎	風景 ミューゼリリニー・パリ	1930~31年	油彩・ボード	24.0×33.0
89	矢橋六郎	風景 パリ・ルーブルにて	1930~31年	油彩・板	23.9×33.1
90	矢橋六郎	風景 トレド	1930~31年	油彩・板	22.4×27.0
91	矢橋六郎	風景 トレド・アルカンタラ橋	1930~31年	油彩・板	22.4×27.0
92	矢橋六郎	風景 ニース港	1930~31年	油彩・板	15.7×22.0

*このリストは作家名の五十音順で配列してあります。

II. 教育普及

1. ワークショップ

①三浦景生展／染色ワークショップ

シルクスクリーンで染める一色彩とかたちの饗宴

ア. 「染め」から「絵画」へー考える手

講師：市村富美夫(染色作家)

日時：6月19日、20日、21日

参加者：15歳以上17人

ビグメントカラーを利用したオープンスクリーン技法で、シルクスクリーンの上でさまざまな形を考えながら、「染め」を通じて絵画的な構成をめざして制作。

イ. 「ザ・メグロ・オリジナル」ープリントの魅力

講師：八幡はるみ(染色作家)

日時：6月27日、28日、7月4日、5日

参加者：18歳以上15人

一枚の紙を「たたむ」「おる」など、さまざまなあそびの中から「色」と「かたち」を見つけリピータ(繰り返し)を生かしたプリント模様をつくりあげ、浴衣地を制作。さらにひとりひとりの発見したかたちをアレンジして、一枚のプリント生地ー「ザ・メグロ・オリジナル」を制作。



②手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒ー静かな光の余韻」

* 展覧会についてはp. 17 参照

ア. 白と黒の顔料の不思議ーお話しと実験

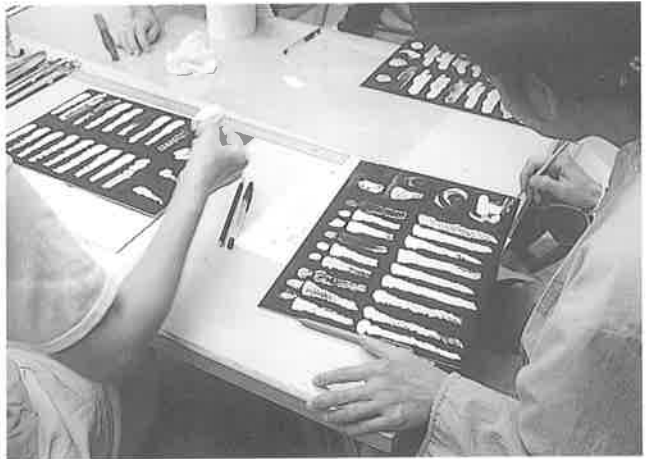
講師：植本誠一郎 (ホルベイン工業株式会社 研究室長)

日時：8月2日 13:30-16:30

参加者：高校生以上31人

シルバーホワイト、チタニウムホワイト、ジンクホワイト、胡粉など、絵を描くときに使う白い絵具にはさまざまな種類がある。見た目には同じような白い粉、シッカロールや小麦粉も、絵具として使えるのだろうか。現在日本画で使っている貝胡粉などは、油絵に使えるのだろうか。知っているようで、知る機会がない、絵具の科学の領域から、絵具として生産されている白と黒にはどのような性質があるのかを実験を交えたお話で体験していった。

普段は行わない、実験もあえて行い(シッカロールを油で練るなど)、絵具の仕組みをボードにつくっていった。



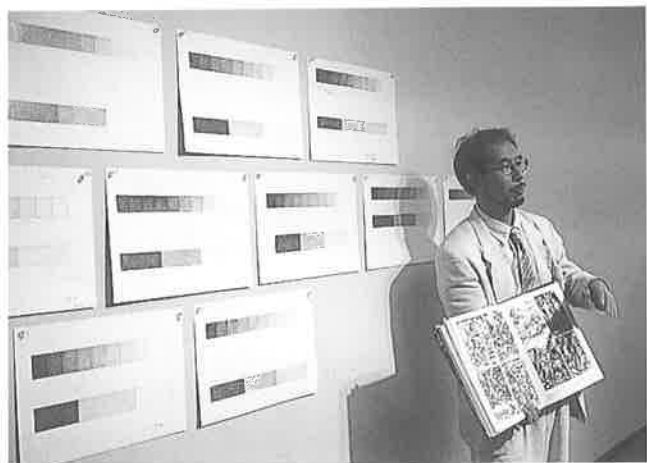
イ. 感性のトレーニング1ー【黒】の運動・構成・バリエーション

講師：小野皓一 (美術家)

日時：8月9日、16日、23日 全3日間

10:30-16:30

参加者：小学4年生以上19人



色彩として、素材感を持った黒のバリエーションの奥深さを体験するために、理論的な表現を展開する出品作家、小野氏に依頼

したコース。黒の色を体験するために鉛筆でグラデーションを作り他者と比べたり、静物を黒から白への段階で写生して、お互いの表現について話し合った。さらに大きさを決めたグリットの支持体に、さまざまな素材を絵具に混ぜたり、絵具のメディウムを替えて見たりしながら、黒のパーツを沢山制作してインスタレーションをした。黒と一口にいても、テクスチャー、メディウム、色味の違いによっての見え方が違うことを発見、それぞれの作品についても意見と感想を述べ合った。

ウ. 感性のトレーニング2ー [白]に出あう+ [黒]と出あう

講師：芝 章文 (美術家)

日時：8月15日、22日、23日 全3日間

10:30-16:30

参加者：小学5年生以上28人

色の両極端に位置するともいえる白と黒。その白と黒への接し方を、出品作家の芝章文氏とともに探っていった。作家と作品を“視る”ことから出発、展示室でのフィールドワークを繰り返すことから始まった。そして、「白から黒へ向かう」「黒から白へ向かう」「白と黒へ離れる」「白と黒を結ぶ」という、白と黒の画面と色材を使った4つのアプローチで、自分の中から出てきた白と黒にじっくり向き合い、表と裏のない作品を完成させた。さらに、100号の真っ白なキャンバスに、白の絵具と黒の絵具に参加者が別れて、お互いにキャンバス上でのせめぎあいによる描写を楽しんで、1枚の大作を仕上げた。



エ. イメージの身体表現ー白と黒の世界

講師：池宮中夫 (舞踏家)

協力：ダンスカンパニーnomado-s

日時：9月6日、12日、13日 3日間

10:30-16:30

参加者：小学4年生以上21人

『からだどと話そう』『からだど遊ぼう』につづく舞踏家・池宮中夫氏による身体のワークショップ。今回は「白と黒」の展示会を見て、感じたものを身体で表現してみた。ワークショップ中、常に白と黒を脳裏にイメージし、展示で気がついた事を述べあい、『私にとっての白と黒』を、身体を動かしながら確かめて行った。

十分に身体と脳をほぐした後、池宮氏の巧みなリードにより3グループでのパフォーマンスをショーアップして開催した。



オ. 墨・炭の楽描[らくがき]

講師：榎本寿紀 (ワークショップ・エディタクター)

日時：8月12日、13日 全2日間

10:30-16:30

参加者：小学校1年生以上4年生まで21人

絵を描くための“黒”を、自分たちで作り、それをもとに絵を描いた。墨を硯で擦る、葉っぱや木端を蒸し焼きにして木炭を作り、黒い色を得るための方法と苦勞も体験していった。





カ. 白と黒の1日ワークショップ

講師：榎本寿紀（ワークショップ・インテュケーター）

日時：8月7日、14日、21日

10:30-1:30

参加者：小学1年生以上31人

展示を見ることにウエイトをおいたコースで、1日を楽しく美術館で過ごすためのコースとして開催した。

○ 白黒探偵団・展示室に行く

事前に行った、プレ・ワークショップでは、原宿・表参道で、ファッションの中の白・黒を探した。続編のこのコースでは、展覧会を見に来ている人達に自分の感想を合わせて、直撃インタビューしまとめた。

○ 美術館スケッチ

展示室を自分の目で取材しながら、絵と文でスケッチした。



○ しましま墨流し

墨を丁寧に硯で擦り、薄い墨、濃い墨、にじみ・ぼかし・マーブリングなどを行った。

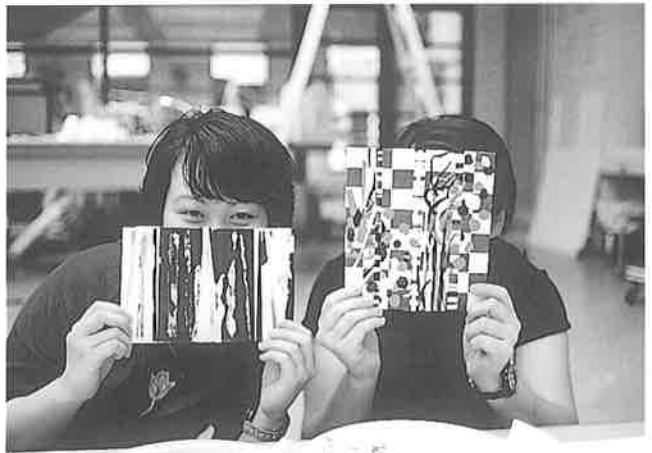


キ. <遊びの広場>シマシマ・チェック・カード

募集制のワークショップを開催していない日と土日に行う、誰でも参加出来る遊びの広場を開催した。この催しは、幼児や親子連れ、若者のカップルなどに人気があり、展示を鑑賞した後に楽しめるようになっている。今回は、白と黒の縞模様・格子模様のカードを基本形にして、オリジナルなビジュアルカードを作った。

参加者数：のべ504人

講師：ワークショップスタッフ



③チャールズ&レイ・イームズ／映像の世界・Ⅱ 及びワークショップ

ア. 映写会

目黒区美術館イームズ・フィルム・コレクションより
フィルムはすべて16mm、目黒区美術館蔵



【アートと科学の融合】

日時：3月20日 13:30-17:30

参加者：105名

- 1.Tops/(1969年)
- 2.Powers of Ten/(1978年)
- 3.Copernicus/(1973年)
- 4.Alpha/(1972年)
- 5.Exponents/(1973年)
- 6.Newton's Method/(1974年)
- 7.Computer Perspective/(1972年)
- 8.Westinghouse in ABC/(1965年)
- 9.Two Laws of Algebra/(1973年)
- 10.The National Fisheries Center and Aquarium/(1967年)

【モノへの視線】

日時：4月10日 13:30-17:30

参加者：170名

- 1.Parade/(1969年)
- 2.Toccata for Toy Train/(1957年)
- 3.Day of the Dead/(1957年)
- 4.Something about Photography/(1976年)
- 5.The Fiberglass Chairs/(1970年)
- 6.House/(1955年)

7.Two Baroque Churches in Germany/(1955年)

8.Clown Face/(1971年)

9.Tops/(1969年)

【プレゼンテーションのノウハウ】

日時：4月11日 13:30-17:30

参加者：160名

- 1.Atlas/(1976年)
- 2.A Communications Primer/(1953年)
- 3.SX-70/(1972年)
- 4.Something about Photography/(1976年)
- 5.Black Ship/(1970年)
- 6.The Fiberglass Chairs/(1970年)
- 7.Lounge Chair/(1956年)
- 8.The Expanding Airport/(1958年)
- 9.The National Fisheries Center and Aquarium/(1967年)
- 10.IBM at the Fair/(1965年)
- 11.Westinghouse in ABC/(1965年)

イ. 親子で見るイームズの短編映画ーマワレ・まわれ 世界のコマ

日時：3月26日 13:30-16:30

対象・定員：新1年生以上の小学生とその親12人

イームズ夫妻制作の映画の特徴の一つに、年齢に関係なく楽しめる映像とストーリーになっているところがある。今回は、親子や家族でイームズ映画と一緒に鑑賞するコースを設けた。世界中の美しく、工夫されたコマが回りだす『Tops』,宇宙のはてからDNAの核までを繋いだ時間の旅を15分で体験できる『Powers of Ten』を上映し、そのイメージを身体で表現してみた。



ウ. かたちのふしぎ・立体のふしぎー楽しい建築教室・II

講師：鈴木明（建築家）

日時：3月13日、14日、21日、22日 全4日間

10：30-16：30

参加者：小学校4年生以上24人

基本的な建築の考え方を、やさしく楽しく体験を元に学んでいくコースとして、第二回目を開催した。イームズ夫妻のモノについての視点を話し合いながら、今回は、多面体の見方と構造についてさまざまな素材を持って、その理解に挑戦した。多面体の「当たり前のこと」「知っているようで知らないこと」「隠れた面白さ」を、プラスチックの鉢、紙皿、自転車のチューブ、新聞紙の束、ペットボトルなど、身の回りの素材で、多面体を自分なりに発見していった。子供たちは、素早く多面体の構造を理解し、さまざまな多面体を生み出していき、大人たちを驚嘆させた。



エ. 鳥の目・虫の目・私の目ービジュアル・プレゼンテーション

講師：廣野敏之（デザイナー）

日時：3月27日、28日、4月3日、4日 全4日間

10：30-16：30

参加者：小学校4年生以上20人



一つのものも、意識しながら離れて見たり、近寄って見ると、さまざまな視点が存在することに気がつく。そして、自分なりの視点を明確に獲得できると、新しいことが沢山見えてくる。モノの見方に自らの視点を獲得するために開催したコース。導入では、目だけでなく耳も皮膚も全身を開放し、神経を集中させて、面白いこと・不思議なこと・気になることを、普段歩いている道や広場などで見つけて皆で話し合った。そして研ぎ澄ました五感で体感したものを、音・言葉・詩・写真・スライド映像など思い思いの表現手段と素材を用いて作品へと展開し、お互いに自分をプレゼンテーションした。それぞれの感じたものやコトが、作品に具体化され、そのオリジナリティーを楽しんだ。



オ. ザ・パレード-GOGOおもちゃ大行進

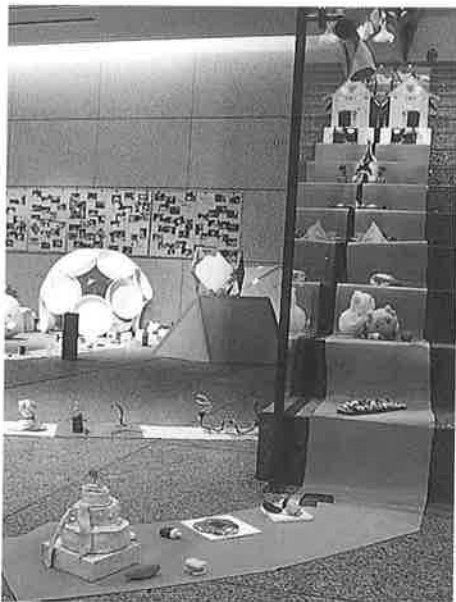
講師：榎本寿紀（ワークショップ・エディター）

日時：3月30日、31日、4月1日 全3日間

10:30-16:30

参加者：新1年生以上中学生まで33人

パレードは、行進する側も、それを見る観客も、楽しみを共有することができる。このコースでは、イームズのフィルム、『パレード』を教材にして集まって行進するストーリーをグループで作した。カーニバル、結婚式、仮装行列、野球や相撲の優勝など何のパレードか、グループでテーマを決めて、できるだけ長く、エントランスホールにのぼしていった。



2. 美術講座

①手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒—静かな光の余韻」

講演会：「白」の来た道・シルクロードの土を巡る旅—蠟燭から作る日本の白 「胡粉」

講師：中川 晴雄（ナカガワ絵具株式会社）

開催日：8月8日

参加者：73人



② 日韓現代美術展

ア. 基調講演 「韓国の近現代美術における近代と反近代との相反」

講師：金 英順

開催日：10月15日

イ. シンポジウム1 「日韓現代美術展—自己と他者の間—」

出席者：千葉 成夫（美術評論家、東京国立近代美術館主任研究官）

金 英順（美術評論家、韓国・大裕文化財団理事）

開催日：10月15日

参加者：ア、イ通して130人

ウ. シンポジウム2 「日韓ハプニング今昔」

出席者：中西 夏之（作家）

中ザワヒデキ（作家）

小沢 剛（出品作家）

千葉 成夫（美術評論家、東京国立近代美術館主任研究官）

金 英順（美術評論家、韓国・大裕文化財団理事）

家村 珠代（目黒区美術館学芸員）

開催日：10月18日

参加者：120人

3. ギャラリーツアー

「色の博物誌—白と黒」展等開催中に学芸員その他のスタッフの指導により各展示室にわかれてギャラリーツアーを実施した。

開催日：9月3日

参加者：大田区立久が原小学校 5年生 84人

目黒区立宮前小学校 5年生 39人

〃 4年生 48人

開催日：9月4日

参加者：目黒区立向原小学校 5年生 59人

開催日：9月9日

参加者：目黒区立五本木小学校 5年生 40人

〃 4年生 53人

開催日：9月10日

参加者：品川区立第二日野小学校 6年生 17人

開催日：9月11日

参加者：お茶の水女子大学附属小学校 1年生 117人

開催日：12月11日

参加者：目黒区立五本木小学校 6年生 37人

4. 展覧会関連事業

① 第8回 染・清流展

ア 列品解説

(7) 講師：三浦 景生（出品作家）

開催日：5月2日

参加者：延45人

(4) 講師：伊砂 利彦（出品作家）

開催日：5月5日

参加者：延40人

(ウ) 講師：麻田 脩二（出品作家）

開催日：5月10日

参加者：延40人

(ニ) 講師：福永 重樹（目黒区美術館長）

開催日：5月16日、23日、30日

参加者：延54人

(キ) 講師：上野 真知子（出品作家）

開催日：5月31日

参加者：44人

② 染めの詩 三浦景生展

ア. 列品解説

講師：三浦 景生（出品作家）

開催日：6月13日

参加者：40人

イ. 講演会—三浦芸術の深奥にあるもの

講師：西嶋 武司（染色作家）

開催日：6月14日

参加者：36人

③ ファルーク・ホスニ展

ア. 講演会 「エジプト美術の系譜—古代から現代」

講師：吉村 作治（早稲田大学教授）

開催日：10月3日

参加者：128人

④ 山名文夫展

ア. 座談会 「山名文夫の思い出」

出席者：土屋 耕一（コピーライター）

水野 卓史（アートディレクター・イラストレーター）

山下 勇三（イラストレーター・グラフィックデザイナー）

開催日：12月1日

参加者：60人

イ. 詩の朗読とダンス「AYA Oにもらった女心～山名文夫の創作詩の世界」

演者：アベ レイ（ヴォイス）

宮下 恵美子（ダンス）

石川 直子（ピアノ）

開催日：12月5日

参加者：60人

ウ. ギャラリーツアー

講師：矢内みどり

開催日：12月5日

12月12日

参加者：27人

⑤ 目黒区の美術・書—1998

ア 講演会 「書体と調和」考

講師：田淵 観斎（目黒区書作家協会会長）

開催日：2月27日

参加者：55人



Ⅲ. 入館状況

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	1日平均		
所蔵作品展=考 知られざる 刷り師・女屋勘左衛門と日本の パントゥル・グラヴールたち	10年3月7日～ 10年4月5日	5日間 (10年度分)	474人 (10年度分)	95人 (10年度分)	A,B,C,L	全期間26日間 1,381人
第35回記念 朝日陶芸展	10年4月11日～ 10年4月26日	14日間	3,374人	241人	A,B,C,E,L,W	
第8回 染・清流展	10年5月2日～ 10年6月7日	32日間	3,337人	104人	A,B,C,E,L,W	
染めの詩 三浦景生展	10年6月13日～ 10年7月12日	26日間	1,249人	48人	A,B,C,E,L,W	
色の博物誌 白と黒-静かな光の余韻	10年8月1日～ 10年9月15日	69日間	6,132人	157人	A,B,C,E,L,W	
ファルーク・ホスニ展 アレキサンドリアの記憶	10年9月22日～ 10年10月4日	12日間	1,014人	85人	A,B,C,L	
日韓現代美術展 自己と他者の間	10年10月15日～ 10年11月23日	35日間	4,979人	142人	A,B,C,E,L,W,G	
山名文夫展 永遠の女性像・よそおいの美学	10年12月1日～ 11年1月10日	30日間	3,677人	123人	A,B,C,E,L,W	
めぐろの子どもたち展	11年1月16日～ 11年1月31日	14日間	9,006人	643人	A,B,C,E,L,W,G	
目黒区の美術・書-1998	前期11年2月13日 ～2月21日 後期11年2月25日 ～3月7日	8日間 10日間	2,317人	129人	A,B,C,E,L,W	前期 油彩、水彩、 版画、日本画 後期 書、工芸、 彫刻
所蔵作品展 目黒流美術の楽しみ方	11年3月13日～ 11年4月11日	16日間 (10年度分)	577人 (10年度分)	36人 (10年度分)	A,B,C,L	全期間26日間 1,200人
合計		241日間	36,136人	150人		

昭和シェル石油現代美術賞展	10年7月8日～ 10年7月26日	17日間	1,514人	89人	G	
---------------	----------------------	------	--------	-----	---	--

注 A=展示室A、B=展示室B、C=展示室C、E=エントランスホール、L=展示ロビー、W=ワークショップ室、G=区民ギャラリー

IV. 作品収集

●目黒区美術館資料収集基本方針

目黒区美術館資料の収集については、優れた美術作品（以下「作品」という。）と、その理解を深めるうえで補助的な役割を果たし得る資料（以下「補助資料」という。）を、次の項目により計画的に収集する。

1. 近代から現代に至るわが国の美術の流れを体系的に理解するうえで有益な作品
2. 作品の成立する過程、素材および技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品および補助資料
3. その他、目黒区美術館の所蔵品としてふさわしい作品および補助資料

収集対象

作 品	平面（洋画、日本画、素描、版画、書など） 立体（彫刻、工芸など） 映像（写真、映画、ビデオなど）
補助資料	素材・工程・技法などに関わる補助資料 作品制作に関わる書簡、日記など 上記収集に関わる文献

●収蔵作品件数

年 度	平 面	立 体	映 像	工 芸	コレクション	計
昭和56～平成9	833	21	10	14	2	880
平成10	4	13	0	0	0	17
計	837	34	10	14	2	897

平成10年度 収蔵作品一覧

○寄贈作品

作 家 名	作 品 名	制作年	寸 法 (cm)	素 材 ・ 技 法
高野 三三男	白衣婦人	1939	91.2×65.1	油彩・キャンバス
高野 三三男	防空壕の中で	1940	91.0×73.0	油彩・キャンバス
三 浦 景 生	サクランボ 貝文	1994	20×15	布象嵌・染・顔料・絹布・額装
麻 田 脩 二	偶	1962	110×154	布・ステンシル
許 東 華 (ホ・ドンファ)	「作品」13点	1994～1998		木・金属・布

V. 作品等貸出

○作品貸出

作 品 名	作家名	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名
戦争A 鎮魂歌-思い出す人々 戦争B 文明の没落	飯田善國	10.4.8～10.7.31	名古屋市美術館	戦後日本のリアリズム1945-1960
笛を吹く男	南 薫造	10.4.23～10.6.28	広島県立美術館	南薫造展-イギリス留学時代を中心に-
『東京バック』原画 今年も同じ登場者 先端にたつ女三態 嗚呼、加州の邦人 さえない亭主 銀座はうつる 都会 ショーウィンドーからぬけて来た女	池田永治 岡本唐貴 寺内純一 下川凹天 下川凹天 三浦俊 安本亮一	10.5.1～10.7.15	神奈川県立近代美術館	モボ・モガ1910-1935展
ふたつのオレンジ色のかたち	桂 ゆき	10.7.7～10.9.25	茨城県近代美術館	桂ゆきの世界-絵画とコラージュにみる 女性画家のまなざし-展
信号台	岡鹿之助	10.7.28～10.9.28	京都国立近代美術館	生誕100年記念岡鹿之助展
少年青帽 雪景	高島達四郎 里見勝蔵	10.8.20～10.10.2	財団法人酒田市美術館	-1930年協会と小野幸吉-小野幸吉展
大砲のある静物	福沢一郎	10.9.1～10.11.1	富岡市立美術博物館 福沢一郎記念美術館	生誕100年記念福沢一郎展
窓からの風景 丘の見える村	児島善三郎	10.10.1～10.11.28	渋谷区立松濤美術館	児島善三郎 日本的油彩画の創造者展
螢	池田永治	10.10.1～10.11.30	田山花袋記念館	池田永治の世界展
アヴィニオンの廃跡 カナベの女 フランス・パリ郊外オーヴェル 男の肖像	伊原宇三郎 伊原宇三郎 伊原宇三郎 佐分 真	10.10.1～10.12.3	日立市郷土博物館	画家たちの巴里～伊原宇三郎・佐分 真 ・渡辺浩三展
白服のパリジェンヌ	高野三三男	10.10.6～10.12.12	徳島県立近代美術館	薩摩治郎八と巴里の日本人画家たち展
ルクサンブールの人形芝居 パリ市庁 アブニューオッシュ パリの公園	沢部清五郎 梅原龍三郎 鹿子木孟郎 安井曾太郎	10.10.20～11.1.27	京都市美術館	京都の100年・パリの100年展
黒い太陽 マンハッタンの太陽(9点) 東京の太陽(7点)	今井俊満 山中信夫 山中信夫	10.12.16～11.2.6	北海道立近代美術館	A☆MUSE☆LAND'99 SUN&MOON 太陽と月・アートで ものがたり展
人形を持ったパリジェンヌ	高野三三男	11.1.20～11.3.19	(財)横浜そごう美術館	薩摩治郎八と巴里の日本人画家たち展
裸婦1	高野三三男	11.3.9～11.5.8	(財)奈良そごう美術館	薩摩治郎八と巴里の日本人画家たち展

○教育普及用教材貸出

教 材 名	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名
画材の引き出し博物館 28点	10.12.17～11.1.21	東大阪市民美術センター	画材の引き出し博物館展

VI. 刊行

1 ピリエ（目黒区美術館ニュース）

目黒区美術館では、美術館活動の広報を目的に、美術館ニュース「ピリエ」を発行している。「ピリエ」(Piliers)は、フランス語で「柱、支柱」あるいは「支柱となる人、物」のことで、当館のエントランスホール正面にある4本の柱を意味している。

第16号

発行：1999年3月25日

サイズ：A4

ページ数：8頁

2 目黒区美術館年報 平成9年度

発行：1999年3月1日

サイズ：A4

ページ数：70頁



目黒区美術館年報 平成9年度

Ⅶ. 区民ギャラリー

展 覧 会 名	期 間	延日数(日)	入場者(人)
第9回CROQUIS&油彩展	4/7～4/12	6	400
えふけい水彩画展	4/14～4/19	6	700
第四回静学舎習作書展	4/21～4/26	6	450
緑が丘パステル画同好会展	4/21～4/26	6	460
第一回並河座展	4/28～5/5	8	222
施哲三油彩個展	5/12～5/17	6	260
第6回目黒区美術家協会展	5/19～5/24	6	400
Y,S,S.14	5/26～5/31	6	480
目黒イーゼル会展	5/26～5/31	6	350
第13回らゆう展	6/2～6/7	6	500
慶応義塾大学校外展	6/9～6/14	6	200
西山理恵展	6/16～6/21	6	130
羅針盤	6/23～6/28	6	300
さわらゑの会	6/23～6/28	6	196
グループ展『欲室』	6/30～7/5	6	241
鄭 暁紅展	6/30～7/5	6	118
第4回CAPPING展	7/29～8/2	5	240
第12回水耀会展	8/4～8/9	6	314
第9回翠粋酔展	8/11～8/16	6	130
自由アート展1998	8/18～8/23	6	350
橋本秋哇書道展・墨洋書道展	8/25～8/30	6	255
第16回萌画会展	9/1～9/6	6	482
第8回勤労者美術展	9/8～9/13	6	337
第36回自主グループ発表会	9/15～9/20	6	727
色もつせんい展	9/22～9/26	5	130
第41回ユネスコ美術展	9/27～10/4	7	385
華道茶道展覧会	11/27～11/29	3	564
むくの会・木曜会・みずゑの会水彩画合同展	12/1～12/6	6	450
第78回立正大学書道部学外書道展	12/8～12/13	6	300
はしもとやすあき展「空」	12/15～12/20	6	130
緑が丘写真クラブ第7回作品展	12/15～12/20	6	300
目黒区書作家協会展	12/22～12/27	6	518
自分らしさとの出会い	1/5～1/10	6	40
廬 莎 展 ・青木 絵里子展	1/5～1/10	6	353

展 覧 会 名	期 間	延日数(日)	入場者(人)
倉橋好美・花の写真展	2/9～2/14	6	255
七視点～多摩美術大学大学院日本画専攻作品展～	2/9～2/14	6	330
東京総合写真専門学校研究科展	2/16～2/21	6	119
DERE TO DO	2/23～2/28	6	90
出発点～それぞれの卒業制作～	2/23～2/28	6	294
TEXTILE ART EXHIBITON 1999 東京造形大学染・織コース卒業制作展	3/2～3/7	6	264
第2回 ゆうの会・徹彩会合同展覧会	3/9～3/14	6	556
彩美会展	3/9～3/14	6	355
PLATFORM FOR THE MISSION	3/16～3/22	6	109
第5回緑が丘パステル画同好会展	3/16～3/22	6	401
いけばな草月「はる・はな」展	3/24～3/28	5	300
碑文谷彫作品展（市邨富士子研究会）	3/24～3/28	5	410
アトリエ・エビス展	3/31～4/4	6	200
合 計		278	15,095

○本館と区民ギャラリーを同時に使用した展覧会は除いた。

VIII. ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきた。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくため、ボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ（喫茶コーナー）の運営、ワークショップや広報活動補助等を行うことを中心に、幅広い活動を目指している。

1. ボランティア数 71人

2. 活動内容

(1) ラウンジ運営-ラウンジ営業部

活動時間：午後0時30分から午後4時30分まで

（ラウンジ営業時間は午後1時から4時まで）

当番：原則として2人

(2) ワークショップ講座アシスタント-学芸部ワークショップ班

手と目の冒険広場「色の博物誌・白と黒」展

*ワークショップ・遊びの広場「W&B・チェック・カード」

日時：8月1日～9月15日の会期中、8月は休館日を除く毎日。

9月は金・土・日と最終日。

参加者：10人（延べ38人）

(3) チラシなどの発送作業-広報部広報班

年16回 延べ83人

(4) トイコレクション活動について-学芸部トイコレクション班

アウトリーチ活動・児童館（緑が丘、区民センター）、学童保育クラブ（大岡山）にでかけ、前年に引き続き、試験的に実施した。

「トイコレクションの日」を設定し、いままでの活動の成果をワークショップ室で発表した。

(5) その他

バスツアー、曜日別見学会実施

3. 年間活動記録

5月 2日 展覧会鑑賞会「第8回 染・清流展」

解説：三浦景生氏（出品作家）

参加者：8人

6月 13日 展覧会鑑賞会「三浦景生展」

解説：三浦景生氏（出品作家）

参加者：6人

6月 14日 展覧会鑑賞会「三浦景生展」

解説：西嶋武司氏（出品作家）

参加者：5人

8月 8日 東京都現代美術館ボランティアとの懇談会実施

参加者：5人（現代美術館ボランティアの参加者は13人）

11月 29日 バスツアー 山梨県クリスタルミュージアム

山梨県立美術館

参加者：27人

11年 3月20日 ボランティア会総会

参加者：38人



ラウンジ風景



トイコレクション活動



ラウンジ風景

Ⅸ. 美術館実習

学芸員資格取得単位習得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、検討の結果、平成8年度を初年度としてこれを受入れることとし平成10年度は3回目となる。

実習期間、実習内容等については担当学芸員との面接により決定する。

(提出書類) 履歴書、アンケート、学長からの依頼書等

平成10年度 ・実習生 12人

・実習期間 8日間～25日間

6月初旬～8月末

X. 名簿

(1) 財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同、平成11年3月31日現在)

役職	氏名	備考
理事	佐藤 良春	目黒区助役
〃	平尾 眞	目黒区教育委員会教育長
〃	田中 立久	(財)目黒区芸術文化振興財団事務局長
〃	市川 政憲	東京国立近代美術館次長
〃	加藤 玲子	目黒ユネスコ協会会長
〃	望月千世子	弁護士
〃	木村 高久	目黒区教育委員会生涯学習部長
〃	福永 重樹	目黒区美術館長
監事	松田 幸夫	目黒区工業団体連合会会長
〃	宮山 好兄	目黒区収入役

(2) 財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同、平成11年3月31日現在)

役職	氏名	備考
評議員	梅原 辰郎	目黒区議会議員
〃	下岡 興治	目黒区議会議員
〃	島崎 孝好	目黒区議会議員
〃	安井 純夫	目黒区議会議員
〃	清原 國雄	目黒区教育委員会委員
〃	工藤 豊太	目黒区立第一中学校長
〃	佐藤 幸信	目黒区立田道小学校長
〃	櫻井 康雄	都立芸術高等学校長
〃	赤穴 宏	洋画家
〃	岩壁富士夫	日本画家
〃	續木 敏郎	書作家
〃	安原 喜孝	陶芸家
〃	岡田 嘉子	目黒区子ども会連合会副会長
〃	米山 ちよ	目黒区婦人団体連合会会長
〃	谷田 泰司	目黒区住区住民会議連絡協議会
〃	望月 昇	目黒区文化団体連合会常任理事
〃	中村 春男	連合目黒地区協議会議長

(3) 目黒区美術館資料収集委員会

(順不同、平成11年3月31日現在)

役職	氏名	備考
委員長	細野 正信	山種総合研究所
委員	三木 多聞	東京都写真美術館長
〃	桑原 住雄	武蔵野美術大学教授
〃	長谷部満彦	福島県立美術館長
〃	真室 佳武	東京都美術館長

XI. 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号

地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区

敷地面積：2,012.79㎡

建ぺい率：67.14%

容積率：201.67%

構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造

地上3階・地下1階

建物高さ：17.89m

延床面積：4,059.21㎡

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕上げ

(乾式工法)

工期：着工昭和60年12月2日

竣工昭和62年3月31日

設計・監理：株式会社日本設計事務所

建築：株式会社竹中工務店東京本店

空調設備：株式会社朝日工業社本店

衛生設備：足立工業株式会社東京支店

電気設備：中国電気工事株式会社東京支店

昇降機設備：横浜エレベーター株式会社

●面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10㎡

展示室B：170.46㎡

展示室C：65.80㎡

展示ロビー：44.80㎡

ワークショップ：148.47㎡

廊下・階段・その他：203.17㎡

小計：951.8㎡

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡

控室：14.5㎡

区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡

小計：592.85㎡

研究調査

資料室：102.79㎡

修復室：46.09㎡

小計：148.88㎡

収蔵

収蔵庫A：408.36㎡

収蔵庫B：53.85㎡

前室：48.53㎡

荷解室：62.58㎡

搬出入口：56.57㎡

展示用具室：73.40㎡

エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡

小計：932.92㎡

管理

事務室：58.05㎡

館長室：32.47㎡

理事長室：24.58㎡

中央管理室：20.64㎡

休養室：24.29㎡

ワークショップ準備室：31.36㎡

映像準備室：14.40㎡

廊下・階段・その他：178.18㎡

小計：383.97㎡

ホール等

エントランス：169.85㎡

ラウンジ：55.84㎡

ベビーコーナー：5.27㎡

廊下・その他：343.58㎡

小計：574.54㎡

機械室等

機械室：277.14㎡

電気室：67.59㎡

エレベーター機械室・自家発電電気室・その他：129.52㎡

小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

Ⅻ. 沿革

昭和45年	長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
昭和54年 7月	長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定
12月	美術館開設準備室設置
昭和55年 3月	目黒区美術博物館建設検討委員会設置
4月	「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
昭和56年 1月	目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」
3月	目黒区美術博物館建設専門委員設置
4月	目黒区美術博物館（仮称）設置の方針策定
11月	目黒区立美術館（仮称）資料収集委員会要綱を制定
昭和57年 2月	博物館併設構想から美術館単独構想へ変更
3月	第一回資料収集委員会開催－資料収集を開始
10月	区制施行50周年記念事業に位置づけ
昭和59年 2月	目黒区美術館（仮称）基本構想策定（58年6月策定開始）
10月	目黒区美術館（仮称）基本設計策定
昭和60年 3月	目黒区美術館（仮称）実施設計策定
6月	目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
8月	目黒区美術館開設準備顧問就任 目黒区美術館マーク制作
11月	「プレビュー・目黒区美術館」展開催 (11/12-11/17)
12月	目黒区美術館（仮称）新築工事起工式(12/12)
昭和61年 7月	美術館管理運営の財団委託方針決定
9月	「プレビュー・目黒区美術館2」展開催 (9/9-9/15)
12月	目黒区美術館（仮称）新築工事定礎式(12/5)
昭和62年 3月	「目黒区美術館条例」公布
4月	目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
10月	財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
11月	目黒区美術館開館(11/15)

XIII. 案内

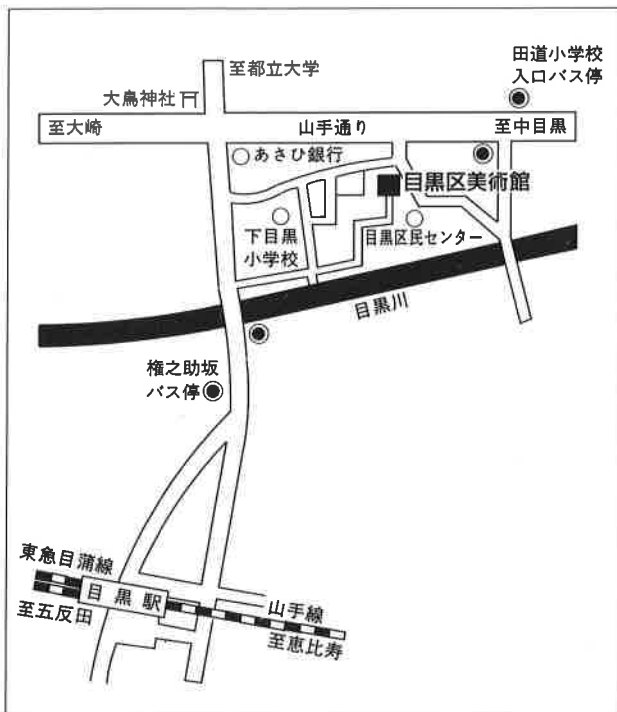
観覧時間：午前10時～午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）

年末年始

観覧料：展覧会ごとにその都度定める。



交通案内：

- JR山手線目黒駅（西口）、東急目蒲線目黒駅より徒歩10分
- バス、渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行、田道小学校入り口下車3分

目黒駅より、東急、都営

黒01-大岡山小学校行

黒02-二子玉川園行

黒06-三軒茶屋行

恵73-弦巻営業所行

東98-等々力操車場行

— 権之助坂下車
下車3分

平成10年度

目黒区美術館年報

2000年2月10日発行

編集・発行—目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

Tel. 03-3714-1201(代)

印刷——(株)大塚工芸